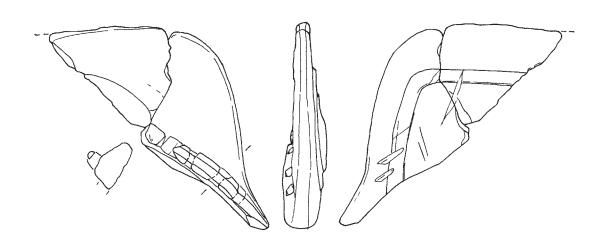
石川県 金沢市

# 畝田®寺中遺跡Ⅸ

-木曳野遺跡群 Ⅵ -



平成 26 年 3 月 (2014年)

金 沢 市 (金沢市埋蔵文化財センター)

石川県 金沢市

# 畝田·寺中遺跡IX

-木曳野遺跡群 W -

平成 26 年 3 月 (2014年)

金 沢 市 (金沢市埋蔵文化財センター)

## 例 言

- 1. 本書『畝田・寺中遺跡 IX』は、石川県金沢市寺中町、畝田西4丁目、桂町地内に所在する事業名:木曳野遺跡群(寺中B遺跡、桂町南遺跡、畝田・寺中遺跡)の発掘調査報告のうち、平成15年度に実施した畝田・寺中遺跡の調査の一部について報告するものである。
- 2. 本調査は金沢市木曳野土地区画整理組合による土地区画整理事業に伴い、平成15年度に金沢市埋蔵文化財センターが発掘調査を実施したものである。
- 3. 本報告にかかる現地調査は金沢市埋蔵文化財調査委員会(当時:会長橋本澄夫氏、谷内尾晋司氏、垣田 修児氏、横山方子氏)の指導の下で、出越茂和(文化財保護課担当所長補佐:当時)、向井裕知(文化財保 護課主事:当時)が担当した。
- 4. 本書の執筆・編集は景山和也(文化財保護課主査)が担当した。写真撮影は遺構を発掘調査担当者が行い、 遺物を景山が行った。
- 5. 本書の各図及び写真図版の指示は以下のとおりである。
  - (1)方位は全て座標北である。座標は世界測地系(第Ⅲ系)に基づき設定している。
  - (2)各図の縮尺は、遺物は $1/3 \cdot 1/6$ 、遺構は1/60が主であるが、各図に指示しているとおりである。
  - (3)遺物実測図の番号は通し番号とし、本文中、観察表、写真図版のそれと一致する。
  - (4)遺構名の略号は、SB=掘立柱建物、SE=井戸跡、SK=土坑跡、SD=溝・川跡、SX=落ち込み・ 土器だまり跡、P=ピットなどであるが、略号を用いず大河跡とした遺構がある。
  - (5) 土器については「壺」・「甕」・「高杯」・「器台」などと表記するが、用途を示すのではなく、形態による分類で、「壺形土器」などの略称である。
  - (6) 土器実測図の断面が黒色のものは須恵器を、その他のものは白抜きで示している。また、実測図内外面の目の粗いドットは黒色処理を、細かいものは赤彩処理を、細かな砂目状のものは灯明痕・焼痕を、50%アミ処理のものは漆塗膜を示している。
- 6. 本調査での出土遺物、記録資料は金沢市埋蔵文化財センターで保管している。

## 畝田・寺中遺跡IX 目次

第	1章	調	査箇所と報告の	内容	1
	第	1節	調査箇所と既往の	の報告内容	
	第2	2節	本書の報告につい	って	
<del>44</del>	0 <del>*</del>	<b>、</b>	ᇝᄼᆓᄝᇈᄪᆓ		_
弗					Э
		1節	地理的環境		
	第 2	2 節	歴史的環境		
第	3章	検	∷出遺構⋯⋯⋯⋯		7
	第	1 節	概要		
	第 2	2節	土坑・ピット		
	第:	3節	溝・川		
第	4章	遺	物	1	1
	第	1節	概要		
	第 2	2節	土坑・ピット		
	第:	3節	溝・川		
	第4	4 節	遺構外		
	第:	5節	補遺		
第	5章	樹	種同定記録	(㈱東都文化財保存研究所)6	5
	-				
笙	6章	絲	括	6	7

写真図版

## 第1章 調査箇所と報告の内容

#### 第1節 調査箇所と既往の報告内容

今回報告する畝田・寺中遺跡の発掘調査は、金沢市木曳野土地区画整理事業に伴い実施されたもので、 事業全体では平成14年度から平成16年度にかけて、約13,760㎡の発掘調査が行われている。遺跡の発 見から発掘調査へ至るまでの詳細な経緯は、既刊『木曳野遺跡群 I』を参照願いたい(金沢市2006)。

本事業による調査箇所は第1図のとおりである。調査時には、補助事業主体の名称として県費分A~  $C \boxtimes X$  道路名称によって主幹線  $1 \sim 5 \boxtimes X$  支線部などと呼称して調査を実施している。既刊報告書の報告内容との対応については第1表および第2図のとおりである。

木曳野遺跡群 I (以下 I 、Ⅱ等とする)では、調査に至る経緯や縮尺 1/300、1/100 遺構平面図版と共に植生や環境復元、木材・石材利用把握のための自然科学分析結果を掲載している。

Ⅱでは、寺中B遺跡と畝田・寺中遺跡内の桂・寺中遺跡として調査を実施した箇所の調査成果を掲載している。

Ⅲでは、桂町南遺跡と畝田・寺中遺跡の県費分A~C区の調査成果を掲載している。また、畝田・寺中遺跡の桂・寺中遺跡部分を除いた、縮尺1/500の畝田・寺中遺跡図版が別紙で用意されている。

IVでは、畝田・寺中遺跡の主幹線 1 区と 2 区のSD222、SD303(大河跡)の調査成果を掲載している。 Vでは、畝田・寺中遺跡の主幹線 3 区の調査成果と 1 区SD222、包含層、 2 区P20、SD222、 SD240、SD244、SD303、 4 区大河跡出土の墨書土器を掲載している。

VIでは、畝田・寺中遺跡の主幹線2区における遺構および土器・陶磁器、石製品について報告している。

紀要No.		書 名	内 容	発行年
231	木曳野遺跡群I	寺中B遺跡Ⅵ 桂町南遺跡Ⅰ 畝田・寺中遺跡Ⅲ	調査に至る経緯・経過、航空測量図版、自然科学分析	2006
239	木曳野遺跡群Ⅱ	1	寺中B遺跡〔報告完〕 桂·寺中(畝田·寺中)遺跡	2007
249	木曳野遺跡群Ⅲ	花川 南 黄芩   柳 田 • 元田 • 黄芩   /	桂町南遺跡〔報告完〕 畝田·寺中遺跡(県費A·B·C区)	2008
259	木曳野遺跡群IV	畝田·寺中遺跡VI	畝田·寺中遺跡(主幹線1区·2区SD222、SD303)	2010

畝田·寺中遺跡(主幹線3区·2区墨書土器[1区·4区含])

畝田·寺中遺跡(主幹線4区、主幹線2区木製品·金属製品)

畝田·寺中遺跡(主幹線2区土器·陶磁器·石製品)

2012

2013

2014

第1表 報告書の内容

279

288

293

#### 第2節 本書の報告について

木曳野遺跡群V

木曳野遺跡群VI

木曳野遺跡群Ⅵ

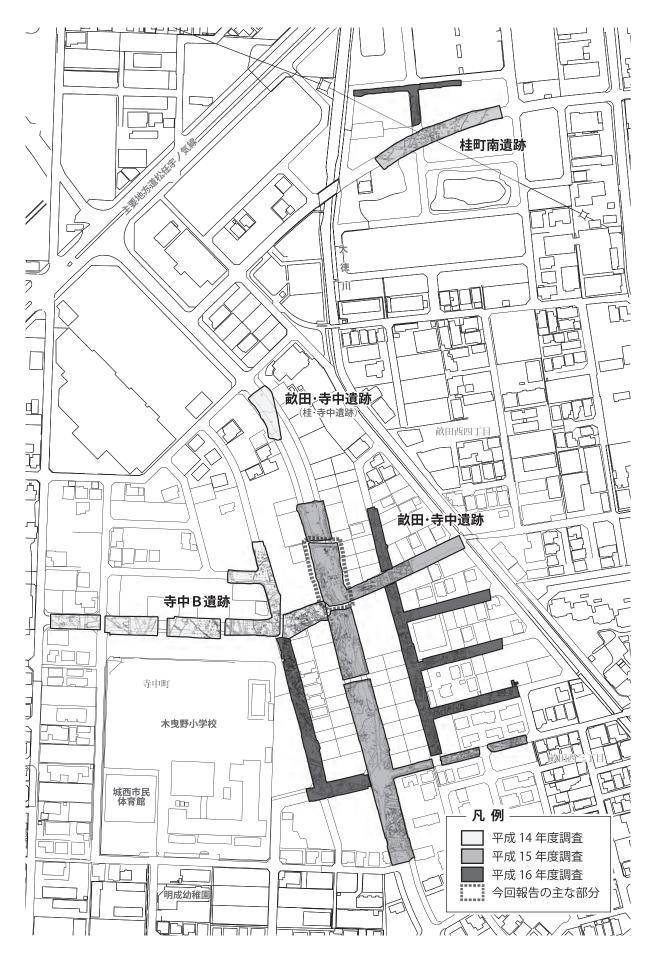
畝田·寺中遺跡Ⅵ

畝田·寺中遺跡Ⅷ

畝田·寺中遺跡Ⅸ

第1表および第2図のとおり、寺中B遺跡と桂町南遺跡の報告は終了しているが、調査面積が広く、遺物も大量に出土している畝田・寺中遺跡については、その多くが未報告となっている。これまでに県費分A~C区、主幹線 1 区、同 2 区、同 3 区が報告済みとなっている。本書は主幹線 4 区の遺構および遺物について報告するものであるが、既刊報告書にて掲載漏れのあった遺物、および木曳野遺跡群VIで掲載できなかった主幹線 2 区出土の木製品と金属製品についても補遺という形で掲載している。

なお、本書刊行後の未報告範囲は主幹線 5 区、支線部、西工区、東工区、鉱滓の自然科学分析、樹種同定分析となり、順次刊行していく予定である。



第1図 調査区位置図 [S=1/3,000]

## 第2章 遺跡の位置と環境

#### 第1節 地理的環境

畝田・寺中遺跡は石川県金沢市畝田町、寺中町地内に所在する。 石川県は日本海に突き出た能登地方とその南の加賀地方に分けられ、金沢市は加賀地方の北部に位置しているが、その西部は日本海に接し、南東部には海抜1,500mを越える山地をかかえる。この山地からは市域を西流する浅野川と犀川が流れ、両河川に挟まれた地域に市街地が形成されている。また、犀川を境として、北部平野と南部平野に分かれ、前者は犀川・浅野川やその北部を流れる金腐川・森下川によって形成された沖積平野であり、後者は手取川が形成する扇状地の北辺である。

本遺跡は市内の北西部、現在の海岸線からは約2km内陸側に位置しており、周辺は海岸線に沿って南北に延びる内灘砂丘の後背湿地を形成している。また、南側を西流する犀川からの分流が本地域を北流し、北側を西流する大野川へと流れ込むことから、ますます湿潤な環境を形成している。



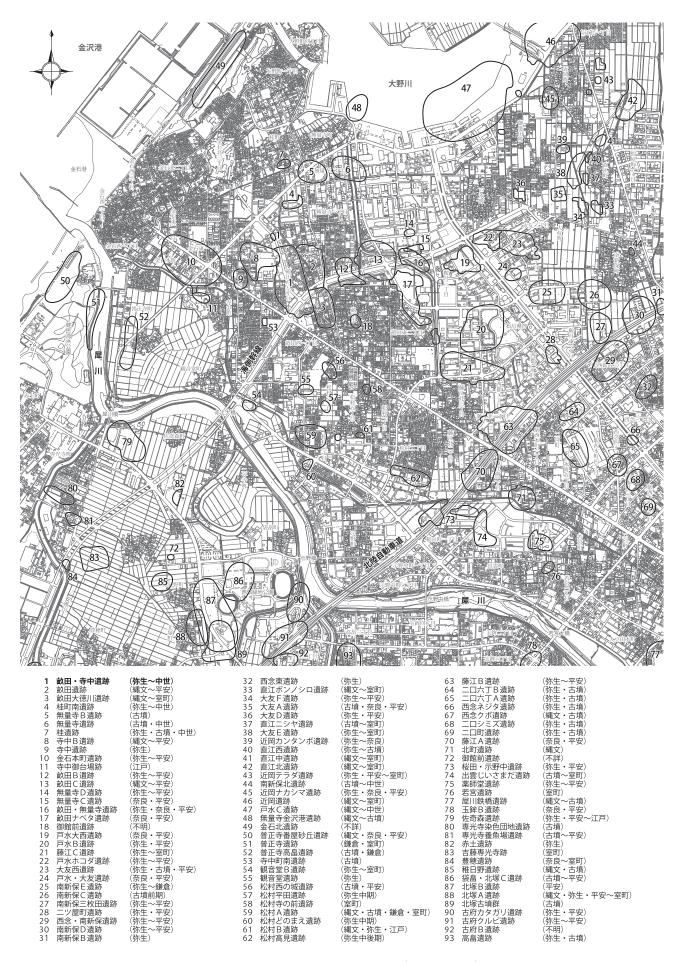
第3図 石川県と金沢市の位置

#### 第2節 歷史的環境

畝田・寺中遺跡の周辺に分布する遺跡を時代毎に概観すると、縄文時代には後期中葉と晩期後葉の松村 A遺跡(59)や晩期の土器・石器が出土する本遺跡があり、近岡遺跡(46)では昭和45年の調査で花粉分析から縄文晩期の農耕について話題になった。弥生時代は戸水 B遺跡(20)、戸水 C遺跡(47)、藤江 C遺跡(21)などで前期からの遺物が確認されており、畝田 C遺跡(13)などで遠賀川式土器が出土しているが、中期以降増加する傾向にあり、西念・南新保遺跡(29)のような後期へ繋がる拠点的集落も出現する。本遺跡においては中期から遺物が確認されている。古墳時代は弥生終末期の遺跡が継続されることが多いが、中・後期になると激減し、本遺跡の他、周辺では藤江 B遺跡(63)で確認できる。当該期の須恵器を多く確認している本遺跡や藤江 C遺跡などが中・後期の拠点的集落になる可能性があり、本遺跡に関しては弥生時代終末から7世紀代まで継続して確認できる稀有な事例である。

奈良・平安時代は再び遺跡が広く分布し、犀川や大野川河口周辺に津湊関連遺跡や官衙・荘園関連遺跡が出現する。本遺跡においても8世紀前半から中頃の大規模集落が確認され、遺構の規模や「津司」墨書土器から金石本町遺跡と一連の港湾関連遺跡と考えられている。また、石川県調査区から遺渤海使が帰国した「天平二年(730)」の記年銘墨書土器が出土しており、その際の饗応に使用された可能性が指摘されている。また、近隣の畝田ナベタ遺跡(17)からは大陸産とされる青銅金箔張の帯金具(巡方)が出土しており、具体的な大陸との交流を物語る遺跡群といえる。鎌倉・室町時代は、本遺跡も含めて当該期の遺跡が広く分布している。本遺跡では、堀で囲繞された方2町×1町半程度の空間が検出されている。南新保北遺跡(44)では銭の出納に関わる付札木簡が出土している。戸水C遺跡は古代以来の津湊関連遺跡と評価されている。

本遺跡は、大野荘湊を含む大野荘内 (一時期は富永御厨内か) に所在する。畝田地名の初見は日本霊 異記「大野郷畝田村」であり(金沢市1998)、平安時代にはその名が認められる。中世には「宇禰田村」、「宇 根田村」、「宇祢田村」、「うね田村」などとみえる。



第4図 遺跡の位置と周辺の遺跡分布図〔S=1/30,000〕

## 第3章 検出遺構

#### 第1節 概要

本遺跡では、掘立柱建物、竪穴系建物、布柱建物、柵列、井戸、土坑、区画溝、川跡などを検出しているが、本書で対象としている主幹線 4 区(以下、調査区)では土坑、ピット、溝、川を検出しており、主に古墳時代、奈良時代、平安時代、鎌倉時代のものがみつかっている。

#### 第2節 土坑・ピット

SK200 (第6図) 調査区中央西側に位置する土坑である。掘方は隅丸方形を呈し、SD203に切られる。 長軸約1.6m、短軸約1.4m、深さ約0.4m で、古墳時代前期の土器(1,2)が出土している。

SK201 (第6図) 調査区中央東側、大河跡と重複する形で検出した円形土坑である。直径約1.0m、深 さ約0.2mを測る。遺物は出土していない。

**P200 (第6図)** 調査区中央西側に位置する小穴である。掘方は南北に軸をとる楕円形状を呈し、長径約0.7m、短径約0.4m、検出面からの深さ約0.3m で、古墳時代前期に属するくの字甕(3)が出土している。

#### 第3節 溝・川

SD200 (第6図) 調査区中央西側に位置する、幅約1.5m、検出面からの深さ約 $0.2 \sim 0.3$ mを測る、北東 – 南西に軸をとる溝である。検出延長約8.0m、東側は大河跡と重複し、西側は調査区外へと延伸する。

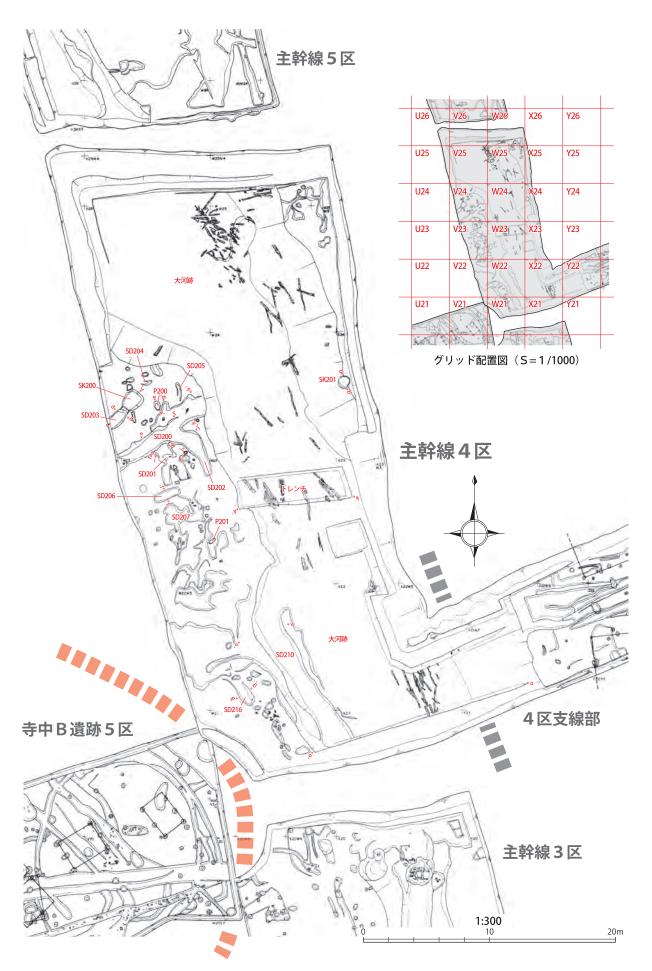
**SD201 (第6図)** SD200の南側に位置する溝状の落ち込みで、軸を南北方向にとる。幅約1.2m、深さは0.1mに満たない。SD200との切り合いは不明、検出延長約3.3m、南側で2条に分かれる。

**SD202 (第6図)** 軸を南北にとり、SD202近辺で合流するかのように屈曲する溝である。幅は約 $1.5m\sim0.6$ mとばらつきがあり、深さは約0.1mに満たない。検出延長は約4.3mである。

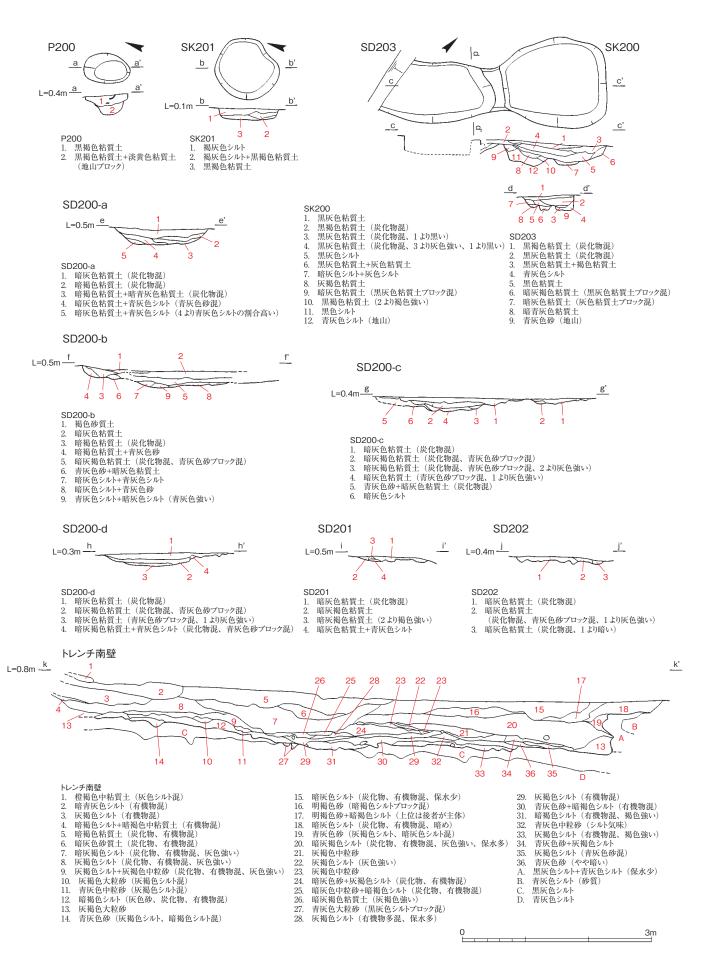
**SD206 (第7図)** SD200の南側に位置する浅い落ち込みである。軸を東西にとり、検出延長約2.2m、幅約0.8m、深さ約0.1m前後を測る。

SD210 (第7図) 調査区南西側、大河跡西岸と重複する形で検出した軸を南北方向にとる溝で、主幹線3 区のSD222と同一の溝である可能性が高い。検出延長約15.0m、幅約3.0m、検出面からの深さ約0.6m~0.9mを測る。11世紀~13世紀頃の遺物が出土している。詳細は既刊書(畝田・寺中遺跡V)に詳しい。SD216 (第7図) 調査区南西側で検出した溝状の落ち込みで、検出延長は約2.0m、幅約1.0m深さは約0.1m前後である。軸は北北西 - 南南東、北側は浅くなり消失する。

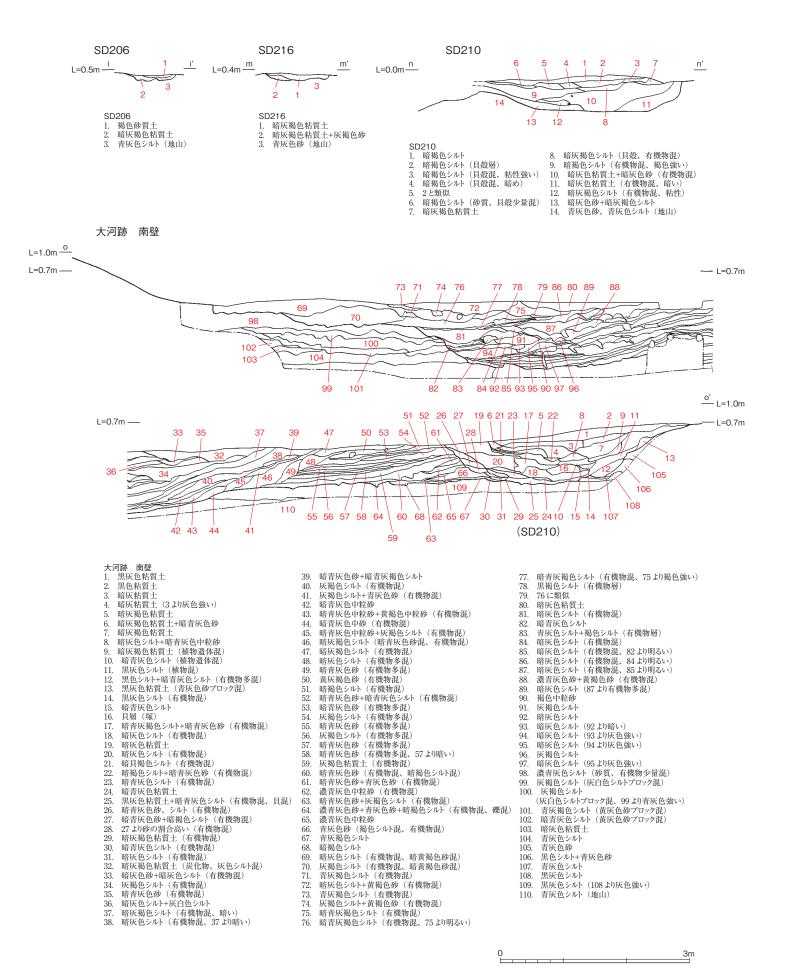
大河跡(第6・7図) 調査区東半を占める大規模河川である。主幹線 1 区 SD303、同 2 区 SD240・SD244、同 3 区 SD201と同じ川と考えられる。詳細は既刊書(畝田・寺中遺跡 V・VI)に詳しい。土層確認用にトレンチを設定し、併せて調査区南壁でも土層断面図を作成したが、作図途中の崩落によって土色の一部に不備があることをお詫び申し上げたい。



第5図 遺構全体図(主幹線4区)[S=1/300]



第6図 P200・SK200・SK201・SD200・SD201・SD202・SD203・トレンチ [S = 1/60]



第7図 SD206·SD210·SD216·大河跡 [S = 1/60]

## 第4章 遺物

#### 第1節 概要

本書で報告する出土遺物の大半は古墳時代前期~中期前葉のものであり、主に大河跡から出土している。第2節から遺構毎に報告する。大河跡出土遺物の図版は基本的にグリッド別・器種別となっており、説明については番号順に行うのでご了承願いたい。なお、グリッド配置については第5図を、遺物が属するグリッド、個々の遺物の法量や調整等は第3表~第5表を参照願いたい。同表遺構欄の「●区」は「主幹線●区」を示している。遺物取上時に錯誤のあったものは訂正して掲載しているのでご了承願いたい(Y25N4→W25)。また、文中の分類や年代観については、巻末の参考文献に記した各論考を参照願いたい。

#### 第2節 土坑・ピット

SK200 (第8図1・2) 1は土師器の甕で、有段口縁の内面に指頭圧痕、外面に擬凹線7条が確認できる。 2は高杯で、杯部が屈曲して広がり、脚裾部が強く屈曲外反する。田嶋分類(田嶋1986)のH類に相当する。 P200 (第8図3) 3は口縁端部が肥厚するいわゆる布留甕であり、古墳時代前期の範疇である。

#### 第3節 溝・川

4区 SD210 (第8図4~31、第29図400、第30図438~440、第32図451~464) 4・5 は土師器の蓋で、双方ミガキ調整が施される。6 は土師器の小壺、7・8 は甕である。いずれも古墳時代前期後葉のものであるが、この遺構は大河跡と重複して検出されており、これら遺物は混入品と考えられる。

9・10は須恵器の無台坏、11は灰釉陶器の碗、12は珠洲焼の鉢底部である。13は土師器の壺か。底部に糸切り痕が確認できる。14~24は土師器皿である。14・16・18・19・21・23・24がロクロ土師器皿、その他は非ロクロである。24は25とあわせて椀である可能性がある。26・27は内面黒色処理の施された台付椀で、26は高台外面に、27は底部に工具痕が顕著である。28・29は白磁碗で、それぞれ太宰府分類(太宰府市教育委員会2000)の白磁碗 II - 4a類、白磁碗 II - 1類であろうか。11世紀後半~12世紀代のものと考えられる。30・31は珠洲焼の鉢で、口縁部の形態から珠洲焼編年(吉岡1994)I 期の製品と考えられる。12世紀後半のものと考えられる。

石製品には400の撥形打製石斧があるが、混入品とみられる。金属製品では438・439の鉄製刀子、双方茎に目釘穴が確認できる。440は不明鉄製品で、飾り金具の可能性がある。451~464は木製品である。457・458は他の材との結束装置が認められ、雑具部材と考えられる。461・462は円形板で、桶か曲物の底板であろう。463は篦状に薄く加工されている。464は火鑽臼で6箇所の炭化した使用痕が認められる。

4区 大河跡(第9図~第28図、第29図401~419、第30図420~437・441~444、第31図、第32図465~490、第33図~第35図)32~42は土師器甕である。32は頸部で緩やかに外傾し、先端に向かって内湾する口縁部を持つ。33の口縁部は直線的に立ち上がり端部に面取りがみられる。34・35・37の口縁は緩やかに外湾する。36・38の口縁は直線的に外傾する。39は山陰系の大形甕で口縁下端に突帯ともいえる明瞭な稜が確認できる。40~42は小形の甕である。43~46は壺で、43は長めの頸部をもち、口縁部に6条の擬凹線が施される。44は有段の口縁を有する。45は外反する口縁部先端に内屈する口縁帯が付されている特徴的なもので、弥生時代中期前半のものと考えられる。条痕が施され、口縁外面に浮文・刺突文、口縁内面には波状文が確認できる。46は外反して延びる口縁部先端に断面三角形の口縁帯を作り出し、そこに棒状浮文が2条確認され、全面に赤彩処理が施されている。田嶋分類の下類に相当する。47は壺の体部である。48・49はミニチュアの土器で、48は甕形、49は壺形である。50・

51 は手捏土器である。 $52 \sim 54$  は小型壺で、田嶋分類F類に該当する。55 は装飾器台で、内面に一部赤彩が残る。56 は外面に赤彩の施された小型器台の脚部か。 $57 \sim 61$  は高杯で、57 の杯部は緩く内湾する。 $58 \sim 61$  は田嶋分類のH類に相当しようか。62 は有孔鉢の底部で、内外面ハケ調整が施されている。 $63 \sim 66$  は土師器鉢で、いずれも内面は丁寧にミガキ調整が施される。 $67 \sim 77$  は土錘である。78 は鞴羽口で、滓が付着している。

**79~92**は土師器甕で、**79~86**は口縁部が外反する甕、**87~88**は口縁端部が肥厚するいわゆる 布留甕で、古墳時代前期の範疇である。91は有段口縁で擬凹線が施されている。92は小型の甕で、口 縁外面に弱い段をもつ。93 ~ 100 は土師器壺である。93 ~ 95 は頸部から外反する長めの口縁を有す る。96は口縁部を欠損する壺の体部だが、頸径が小さく、長頸壺と考えられる。97は田嶋分類のF類 に相当する壺の口縁部で、棒状浮文が2条確認できる。98・99は壺の頸部で1条の突帯を巡らせ、突帯 上にキザミを施している。100は大形壺で、口縁部は段を持ち直線的に立ち上がり、口縁外面に棒状浮 文が2条確認できる。田嶋分類 H類に相当する。101 は肩部にキザミ突帯を巡らせる小型の壺であろう か。102は外面に黒漆を施す。101・102ともに精緻な作りではないが、装飾的要素が強く、特筆される。 103は杯状の土師器であるが、小型の高杯であろう。104は小型高杯の杯部、105は小型の高杯ないし 器台の脚で、ミガキ調整が施されている。106~124は土師器高杯の杯部で、106~112・114・115は 杯部が屈曲して広がる。113は碗形の杯底部と外反する口縁部をもつ。田嶋分類のBl類に分類される。 116は大きな杯底部から屈曲外反する口縁部をもち、弥生時代後期のものと考えられる。117 ~ 123 は 土師器高杯の脚部である。117は緩やかに広がる裾部をもち、透穴が3箇所確認できる。118~123は いずれも脚裾部が強く屈曲外反しており、田嶋分類のH類に相当する。古墳時代前期中葉〜後葉のもの である。124は碗形の杯部と透穴を有する八の字状の脚が付く。田嶋分類のG類である。125は台付鉢か。 鋭く開く裾部の先端は面をとる。126 ~ 135 は器台である。126・127 は小型器台で、碗状の受部と八 の字状に開く脚に透穴が確認できる。128・129は脚部で、裾部に段を有し透穴と装飾を加え、丁寧な ミガキ調整が施される。130は縦位に2孔1対の透穴を設ける脚部である。131は赤彩が施される有段の 脚部である。132は外反的に開く深めの受部を持ち、脚は透穴をもち緩やかに開く。 古墳時代前期中葉か。 133は装飾器台の受部下端、134は鼓形器台である。135は大形の器台で、裾部に透穴と4条の沈線によ る加飾が確認できる。136は壺か鉢の底部であろう。137は小振りで碗状の体部に直線的に開く口縁部 をもつ鉢である。138・139は鉢で、くの字状に屈曲し内湾する口縁部をもつ。139は平底である。140 ~ 143は蓋である。143は赤彩・加飾の状態から蓋としたが、鉢であるかもしれない。144・145はミニ チュアの土器で、144は甕形、145は鉢形で、双方精緻な作りである。146は小型の丸底壺、147・148 は手捏上器である。149・150は有孔鉢の底部で、151は小型の鉢か高杯の杯部であろう。152~157は 碗で、154は内湾する体部と外反する口縁部をもつが、他のものは内湾する口縁部を端部で丸くおさめ る。いずれもミガキ調整が施される。158・159はロクロ土師器の皿である。160は内面黒色処理の施さ れる有台椀、161は柱状高台をもつ椀であろう。162・163はロクロ土師器の椀である。164は台付壺の 脚部か。脚内部に指頭圧痕が認められる。165は柱状の高台をもつが、鉢であろうか。143に似る。168 ~ 172 は土錘である。172 は有孔土玉とするべきか。出土したロクロ土師器は大河跡と重複する SD210 からの混入であろう。

173~175 は縄文土器である。173・175 には対向玉抱き三叉文がみられ、晩期初頭御経塚式期であろうか。176~219 は土師器甕とした。176~181 は有段口縁をもつ。176 は口縁に波状文を巡らせ、177~181 は擬凹線である。182 は近江・東海系、183 は山陰系の口縁をもつ。184 は受口状の短い口縁部をもつ。185~193 は口縁端部が肥厚する布留甕である。189 は口唇に沈線状の調整がみられるほか、肩部にキザミを巡らせている。漆11 群、古墳時代前期後葉に該当すると考えられる。194~208 は土師器甕で、口縁部が屈曲し外反するタイプのものである。202・203 は小振りで、203 は特に粗い作りである。

209は大型の山陰系甕で、肩部に櫛描波状文が施される。210は同じく山陰系甕か、口縁の段は明瞭でな い。211 ~ 216 は甕類の底部である。217 ~ 219 は土師器甕だが一様に粗雑で、口縁に歪みがみられる。 218 は波状の口縁か微妙である。220 ~ 230 は土師器の壺である。220 は田嶋分類 F類、棒状浮文は3条 1対である。221は同じく2条1対の棒状浮文をもつが口縁端部の肥厚は認められない。223は円形スタン プ状の文様を口縁外面に巡らす。223は口縁外面に赤彩が施されている。224は直立する頸部からわずか な段を経て口縁部を形成している。225は直立した頸部に強く外反する口縁部をもち、頸部はキザミを もつ突帯で加飾される。226は大形の壺で、大きな有段口縁の外面に円形浮文が付く。227・228は櫛描 文が施されており、弥生時代まで遡る可能性があるが不明である。227は山形文、228は山形文と直線文 が確認できる。229・230は外面ハケ調整後に粗雑な櫛描文で加飾している。231 ~ 237は球状の体部か ら屈曲し直線的な口縁部を持つ土師器壺である。238は小型の壺で、外面に赤彩が施されている。239は 外面と口縁部内面に赤彩処理がなされる。240は無頸壺で、蓋装着用と思われる孔が確認できる。241は 外面赤彩された台付壺の体部、242は壺類の底部である。243は台付壺の脚であろう。244 ~ 246はミニ チュア土器で、244は壺形、245は台付鉢形で赤彩が施される。246は有孔鉢形であろうか、底部に穿孔 される。**247 ~ 252** は手捏土器である。**253** は内外面にミガキ処理の施された鉢である。**254** は椀で、同 様の調整が施される。255 は蓋である。256 ~ 262 は土錘で、257・261・262 は有孔土玉か。263 ~ 275 は球状の体部と直線的な口縁部を持つ土師器小壺である。274は田嶋分類のE1類、275はC類に相当す る。漆12群・古墳時代中期前葉のものであろう。**276 ~ 279** は土師器高杯の杯部、**280 ~ 285** は脚部で ある。276は口縁部まで内湾気味の粗雑な作りのものである。283は脚部に工具で横描の加飾を施してい る。286~300は土師器高杯である。287は直線的に開き端部を面取りする口縁部をもち、内外面に赤彩 が施される。289は碗状の受部から外反する口縁部をもち、丁寧なミガキが施される。田嶋分類のB2類 に相当する。293は杯部内面のミガキ調整を中央から放射状に行うことで加飾的な要素をもたせる。294 は丁寧なミガキの後、内外面に赤彩を施している。295は脚部であるが、頸部から直線的に開き、裾部 で短く屈曲する。298の杯部内面はハケ状工具で単位を区切って調整されており、加飾的要素と認識さ れる。300 は小型のもので、縦位2孔1対の透孔が認められる。 $301 \cdot 302$  は台付鉢とした。301 内面のミ ガキ処理は特徴的で、中心から弧を描く放射状に施されており、加飾的な要素が強い。302の内面も放 射状のミガキが施されている。303 ~ 308 は器台である。303 はいわゆる小型器台で、透孔は3箇所確認 できる。304は脚部に櫛描直線文を2条巡らせている。307は脚部と裾部の変化点に突帯をもつ。透孔は 2孔1対で3箇所確認できる。308も同様に突帯をもち、突帯上にキザミを施す。透孔は2孔1対2箇所に 確認できる。309は受部に透孔をもつ装飾器台である。310は鼓形器台である。311は須恵器횷で、細か な櫛描波状文が施されている。

312~319は土師器椀である。314は高台をもち、内面は黒色処理が施される。315~317はロクロ土師器椀で、317は柱状の高台をもつ。318・319は内面黒色土師器椀で、318は外面に赤彩処理がなされ、高台をもつ。320は内面黒色の鉢であろう。321はロクロ土師器皿である。322・323は白磁碗で、322は小片のためもう少し傾き太宰府分類II-1類、323はIIV-1a類に相当するか。ここで報告した土師器椀・皿・白磁類は重複する SD210 からの混入と考えられる。324~326は土師器甕としたが、325は口縁形態とキザミ、櫛描波状文による加飾から壺とすべきか。324は口縁外面に擬凹線を巡らせ、内面には指頭圧痕が認められる。326は甕で、体部は中央部で大きく張り出す。327・328は山陰系の壺か。口縁下端に弱い突出が認められる。

329 はミニチュアの土師器蓋である。330 は大型の有段甕で、12条の擬凹線が施されている。331 ~333 は土師器甕で、331 は直線的な頸部と受口状の口縁部を持つ。334 は甕か。浅い体部と短い口縁をもち、調整は粗い。335 は土錘である。336 は高杯の脚部を蓋として転用したもので、欠損断面が研磨されている。337 は壺としたが、形状から聴形土器の可能性がある。338 は高杯の杯部か。内面に丁寧なミガ

キ調整が施され、須恵器坏身の形状に似る。339は小型の器台で、透孔を4箇所確認できる。340は高杯で、裾部端に1条の沈線を巡らす。 $341 \sim 343$ は椀で、内外面ともにミガキ調整が施されている。

344 は装飾壺で、口縁部のみの出土だが、内外面に櫛状工具を使用した華美な装飾が施される。345 は 壺の口縁部で、口縁下端を断面三角形に拡張し、擬凹線を巡らせたのち円形浮文を貼り付けている。346 は土師器甕である。347・348 は高杯で、347 は厚手の器壁を有し、内外面をミガキ調整とする。348 は脚部で、透孔が3箇所確認できる。349 は装飾器台で、受部下端拡張部に擬凹線を施し、赤彩が施される。359 は器台の脚で、透孔は2孔1対3箇所に確認される。351 は鉢か。体部中央に1条の凹みを設け上部と下部を区分けし、上部に篦状の工具を用いた綾杉状刺突で加飾するが全容は不明である。352 は土師器の壺で、丁寧なミガキ調整が施されている。353 ~ 356 はグリッドから 3 区出土の可能性がある。353 は壺の肩部で、粗雑な櫛描波状文と直線文で加飾される。354・355 はミニチュア土器で、354 は壺形、355 は台付鉢で外面に線刻がある。356 は有孔鉢の底部であるが、高杯杯部の転用か。357 は須恵器蓋、358 は須恵器坏身で、いずれも和泉陶邑窯編年(田辺1981)のTK47 ~ MT15形式が想定される。359 は多孔の甑である。外面には粗いハケ調整、内面にはケズリが見受けられ、孔13個が残存する。グリッドから 3 区出土のものか。360 は土師器の甕である。厚手で、くの字状に外傾する口縁をもつ。361 は須恵器の甕で、タタキ目の分類については外面が内堀分類(内堀1989)平行線文a類、内面は同心円文b類である。

362 は器台とした。田嶋分類の壺F類と同様の口縁形態を持つが、口縁部が緩やかに内湾する。棒状浮文2条1対が確認できる。363 は同様の口縁形態をもつ壺である。364 は頸部にキザミ突帯を巡らす壺と判断した。弥生時代中期か。365 は壺の体部破片か。外面に線刻が確認でき、絵画土器の可能性がある。366 は土師器壺の口縁部で、端部を面取りし、綾杉状のキザミを巡らせる。367 は突帯上キザミをもつ壺の頸部である。368 は強く開く壺の口縁部で、キザミのある棒状浮文が2条確認できる。369 は土師器 聴形土器、370 は土師器小壺、371 は鉢である。371 は無頸壺で、蓋装着用と考えられる孔が2孔1対2箇所に確認できる。373・374 は土師器蓋で、丁寧なミガキ調整が施される。375 は竈類の支脚である。376 は高杯で、杯部と比して太い脚部である。377 は直線状に開く器台の脚部で、透孔は3箇所確認できる。杯部を結合、充填した後に再穿孔している。

378は布留甕で、379は口唇部肥厚がわずかに認められる土師器甕である。380・381は縄文土器で、御経塚式期に属する。381は前出174と同一個体と思われ、突帯と刺突文が確認できる。382は土師器甕で、粗い作りで口縁部は外反する。383は土師器の丸底壺、384は口縁に段をもつ小壺、385・386は小壺である。387は鉢で、底部内面は厚く、指頭圧痕が認められる。388は大型の壺である。389は土師器有孔鉢の底部、390~392は土師器高杯である。390は杯部内面のミガキ調整が中心から弧を描く放射状に施されており、加飾性が強い。391・392は田嶋分類のH類に相当する。

393 は直立気味の口縁に2条の沈線を巡らせる。弥生時代のものか。394 は青磁染付皿か、高台内に染付で「洪武年造」の記載がある。395 は龍泉窯系青磁碗で、太宰府分類のⅢ – 1Bに相当する。13世紀代のものか。396・397 は土師器小壺で古墳時代前期~中期、398 は須恵器無台坏、399 は瓦塔の屋蓋部である。方形の縁長押部、半裁竹管状工具で作り出した丸瓦部が2面に残存し、中央部に設けられた穴の一部が確認できる。孔径は不明だが、7cm前後と想定すれば、縁長押内法で約13cm前後となる。4 区大河跡からは当該期出土の遺物はほとんどなく、時期は不詳と言わざるを得ないが、既刊報告書(木曳野遺跡群Ⅳ~Ⅵ)で報告されている同一河川(主幹線1区SD303・同2区SD240・SD244・同3区SD201)からは田嶋編年(田嶋1988)Ⅲ期~Ⅳ期の遺物が多く報告されている。

401は粘板岩製の石庖丁か。402は蛇紋岩製の磨製石斧で、基部を欠損する。403は蛇紋岩製の磨製石斧で、基部から刃部にかけて幅広となる。404は全周に敲打痕の認められる敲石である。405は全面に使用痕のある流紋岩製の砥石である。406・407は施溝分割痕の残る変質流紋岩製の剥片である。408~410は凝灰岩製の打製石斧である。411は刃部を欠く磨製石斧、412は石英の剥片・413は変質流紋岩の

剥片である。414は変質流紋岩の石核、415は粘板岩の石核とした。416は擦痕から砥石としての用途が想定されるが、周囲全面に敲打痕が認められる。417は縄文時代の鰹節形石器で、粗い調整が施されており、未成品と考えられる。418は安山岩製の砥石、419は安山岩製の打製石斧で、撥形を呈する。420は玄武岩製の打製石斧で基部を欠く。421は石錘で、括部に使用痕が明瞭である。422は被熱した安山岩で煤が付着しており、炉石と考えている。423は変質流紋岩製の剥片としたが、鏃形石製品未成品の可能性もある。424は石錘で、括部に使用痕がある。425~427は砥石で、426・427は凝灰岩製で中央部に線状の擦痕が残る。428は石錘で、使用痕が顕著である。429は砥石か。431・432は変質凝灰岩製の管玉で、いずれも両面穿孔である。433は変質蛇紋岩製の勾玉、434は碧玉製の丁字頭定形勾玉で、頭部を欠くが、孔部周囲に5条の施溝が確認できる。435・436は滑石製の勾玉である。437は蛇紋岩製の勾玉で、両面穿孔である。

441は銅鏃で、有茎式である。442は鉱滓、443は鉄製であるが用途不明で鉄製品残欠とした。台付の円錐形を呈する。錘か。444は鉄製の角釘である。445はシカの右肩甲骨で、焼灼痕は認められない。計測箇所は青谷上寺地遺跡Ⅲの計測法 (井上2001)による。446はシカの右上腕骨で、445と同一個体と考えられる。447はシカか。448はイヌの頭骨である。中世犬、雌犬か。448の同定結果は既刊『木曳野遺跡群Ⅰ』に掲載しているのでそちらを参照願いたい。

木製品は449・450・465~579が出土している。時期的には漠然とではあるが大河跡出土土器が参考 になる。449は弓で、弭を突状に加工する。450は竪杵である。465は結歯式竪櫛で、黒漆で固められる。 466 ~ 479 は加工痕の残る板状・棒状の木製品である。467 は木皿か。477 は糸巻部材、479 は履物の可 能性がある。480 ~ 482 は弓で、480・482 には加工された弭が確認できる。494・495 は同一個体と思われ、 鍬であろうか。496は杓子状の木製品、500は薄い作りで篦状とした。508は棒状で、一端が薄く加工さ れており、杓子状か。511は工具等の柄である可能性がある。514は箸、522は櫂状を呈する。524は鍬 ないし楔であろう。525は桶の側板であると考えられ、上下を黒漆で装飾する。526は漆器の椀で、全面 に黒漆が塗られている。527は建築部材と考えられる。屋根材か。528は折敷底板である。530は平面楕 円形を呈し、槽とした。531は組合式の刀柄である。532は木錘である。533は弓で弭に造出が認められ る。**541~ 543** はナスビ形の平鍬である。**544** は舟形で、舳先に細かな加工がみられる。**545** は湾曲した 一材の両端を粗く削り、中央左右に抉りを加えてあるが、用途は不明である。546はタタリの基礎台部か。 547 ~ 563 は加工が認められる棒状・板状の木製品である。564 は竪杵で中央部で欠損している。559 は 表面に抉り加工が認められ、容器の未成品と考えられる。565は篦状木製品の残欠か。570・571は鞍である。 双方ともに馬挟に沿って突帯を設け居木結束のための装置である方孔を穿っている。570は断片のため詳 細は不明だが、571は後輪と考えている。573は平鍬であろうか。579は円形板で、桶か曲物の底板であ ろう。

#### 第4節 遺構外

遺構外(第30図430) 430は4区包含層出土遺物で、粘板岩製の石剣断片である。研磨により両面に 鎬部分を作り出す。刃部・基部の両端を欠損する。

#### 第5節 補遺

過年度に刊行した報告書に掲載できなかった遺物について併せて報告する。主に木曳野遺跡群VIで掲載できなかった木製品・金属製品であるが、その他のものもここで取り上げて報告する。出土した調査区・遺構等は第3表~第5表を参照願いたい。

寺中B遺跡、畝田・寺中遺跡 1 区・3 区・県費分C区(第36図580 ~ 587・589 ~ 593、第37図) 580 は土師器の甕で、くの字に屈曲する口縁部をもつ。581は無頸壺である。球胴で小さな底部をもつ。582は

柾目取りの木製盤。583は土師器高杯で、八の字状に延びる薄作りの脚部に透穴が認められる。584は高台をもつ須恵器壺の底部である。585は丸木に突帯を作り出した木製品で、栓か。586は高杯の受部を再加工した円盤状の土製品である。587は弓であろう。弭は突起を削り出し穿孔する。589は土器の注口部を再加工したものと考えられ、再研磨されている。590はガラス玉である。591は鉄製の柄付刀子である。刃部の蛍光 X 線分析結果によると、成分は Y (美)、Y (ス) (カルシウム)、Y (ルビジウム) から成り、濃度 (Y (Y ) 一標準偏差 - 強度 (Y ) (Y

**2区出土土製品・金属製品(第38図)** 608 ~ 626 は土錘で、625・626 は有孔土玉か。627 ~ 632 は鞴羽口。633 は鉱滓、634 は有茎の鉄鏃、635 は鉄製刀子の刃部。636 は元豊通宝、637 は皇宗通宝である。

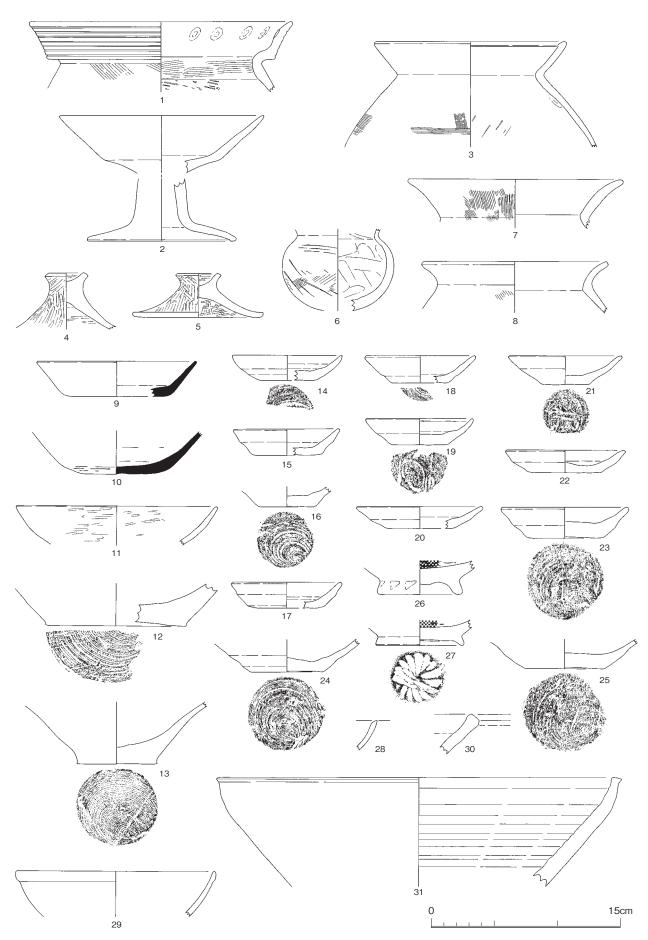
2区出土木製品(第36図588、第39図~41図)588は角材か。639は先端を円柱状に削り出し下端に2つの孔を設ける棒状の木製品で、柄であろうか。646は飾板か。647は下駄の歯である。648は折敷で、4枚が残存している。650~653は箸状で、SE251から出土した。658・661・662・665も箸状木製品である。671は飾板であろうか。672は折敷または円形板、637は横槌である。678は木沓と考えられる。680は漆器蓋か。断面は半楕円形を呈し、中央部に孔を設け、裏面と思しき面に黒漆が残存する。682は鍬であろうか。683・691・699は弓の可能性がある。700は弓で、弭を削り出して突帯状に作る。703は木沓であろうか。704は円形板で、外縁を削って段を設ける。桶の底板か。706は容器または椅子の用途が考えられる木製品である。707は杵または槌、708は何かの柄と考えられる。709はクヌギ材の多又鍬で、柄には2つの方孔が確認できる。泥除具装着装置か。710は火鑽臼で、使用痕は3箇所である。711~719は加工痕が確認できる棒状・板状の木製品である。720・721は雑具の部材であろう。722は漆器椀で、内外面黒漆である。732は農具の柄であろうか。733は紡織具部材、739は斎串である。741~743・745は円形板、744は曲物の側で、結束具としてサクラ類の樹皮が残る。742と同一か。749は井戸の側板と考えられる。

#### 再掲:鑑定対照表

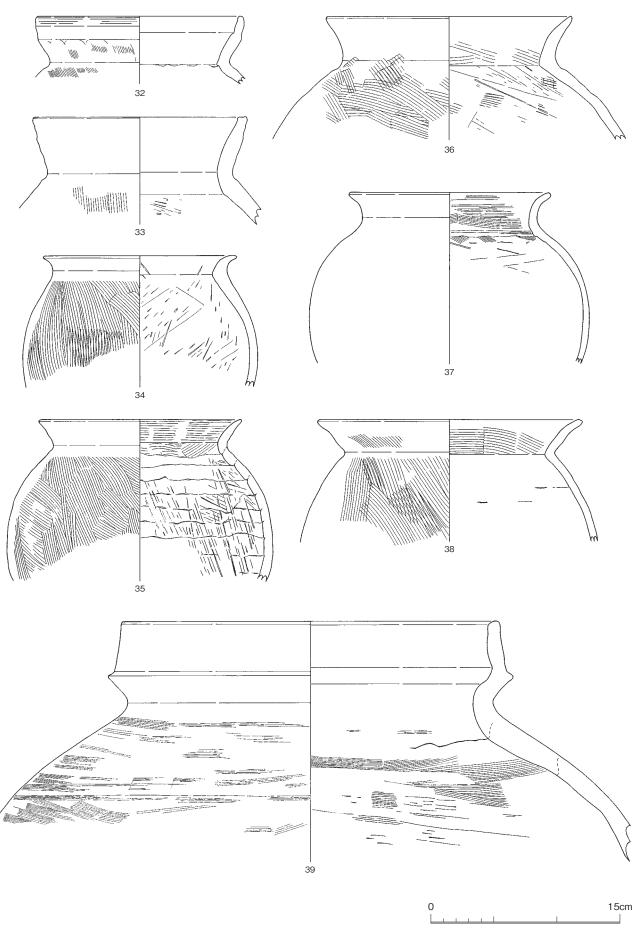
平成14年度~16年度にかけて行った木曳野遺跡群発掘調査において出土した貝類・骨類、石製品の一部について、パリノ・サーヴェイ株式会社に委託し肉眼観察による種・材の鑑定を行っており、今回報告した遺構からの遺物も含まれている(第1分冊P18~29)。今回報告文についてここに再掲し、第1分冊との対照を図ることとしたい。なお、詳細については第1分冊を参照願いたい。

笋り耒	继定划昭耒

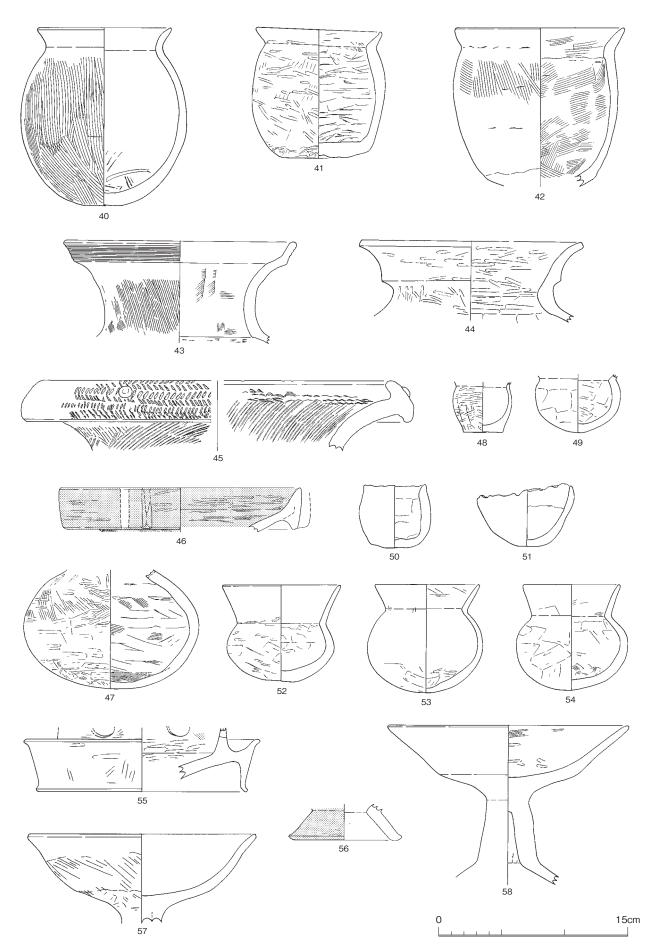
番号	器種	図版-番号	対照表-番号	鑑定	備考	実測 番号	番号	器種	図版-番号	対照表-番号	鑑定	備考	実測番号
1	管玉	第30図-431	表18-10	変質凝灰岩	4区 W23 大河跡	Y25	7	勾玉	第30図-437	表19-2	蛇紋岩	4区 X21 大河跡	A48
2	管玉	第30図-432	表18-12	変質凝灰岩	4区 W25 大河跡	G20	8	頭骨	第31図-448	表13~表15	イヌ	4区 W25 大河跡	N36
3	勾玉	第30図-433	表18-13	変質蛇紋岩	4区 W·X22 大河跡	G21	9	勾玉	第37図-594	表17-上段	滑石	寺中B遺跡 4-2区 排土	G15
4	丁字頭 定形勾玉	第30図-434	表18-6	碧玉	4区 W24 大河跡	A53	10	管玉	第37図-595	表17-中段	変質流紋岩	寺中B遺跡 4-2区 SD28	G22
5	勾玉	第30図-435	表18-7	滑石	4区 W24 大河跡	Y24	11	管玉	第37図-596	表17-中段	変質流紋岩	寺中B遺跡 4-2区 SD28	G23
6	勾玉	第30図-436	表18-11	滑石	4区 W23 大河跡	N17	12	勾玉 未成品	第37図-597	表17-下段	翡翠	寺中B遺跡 4-2区 SD28	N18



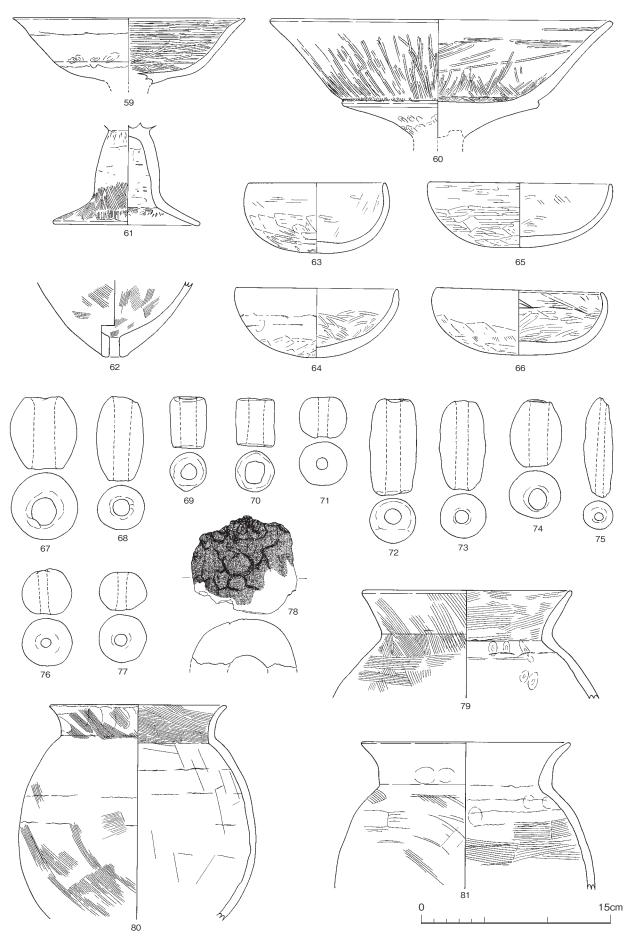
第8図 SK200·P200·SD210出土遺物 [S = 1/3]



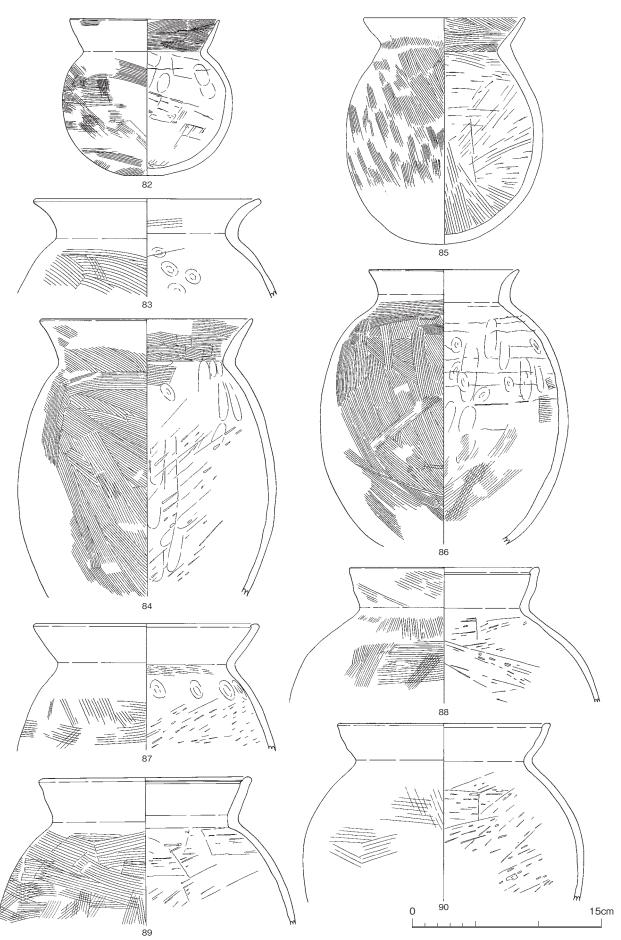
第9図 大河跡 (W25) 出土遺物 [S = 1/3]



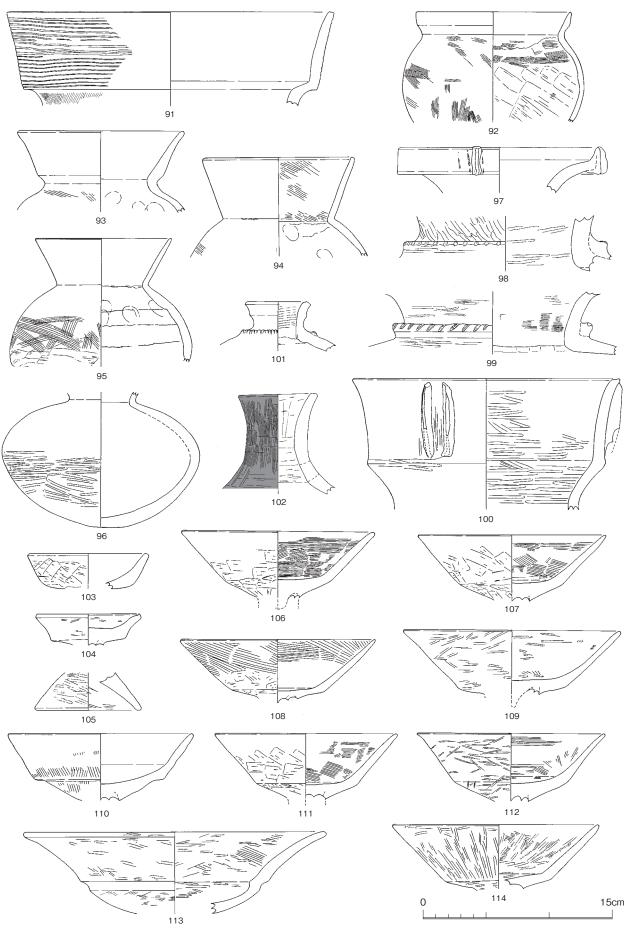
第 10 図 大河跡(W25)出土遺物〔S = 1/3〕



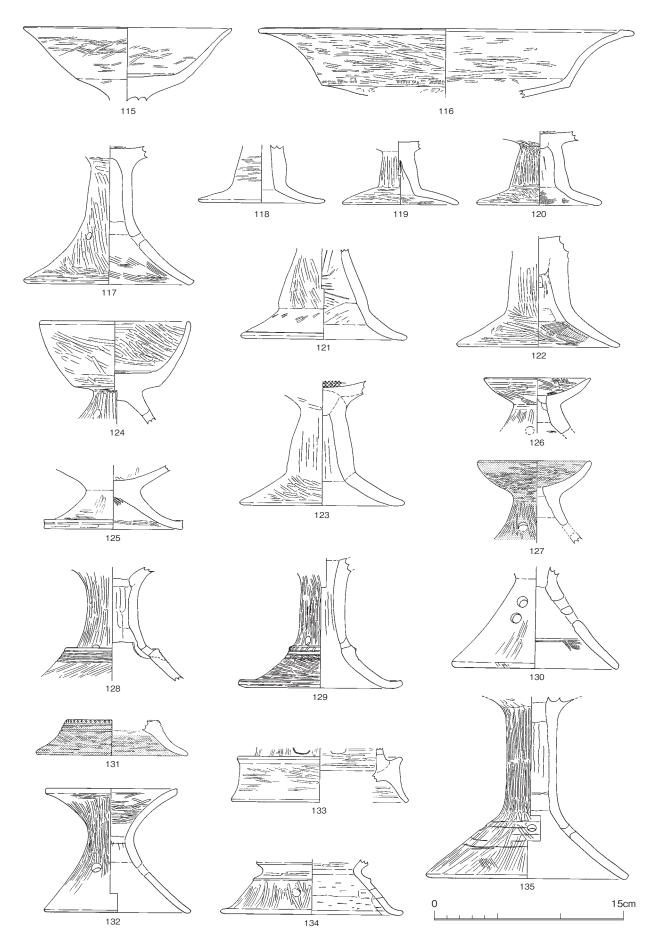
第 11 図 大河跡(W25・W24)出土遺物〔S = 1/3〕



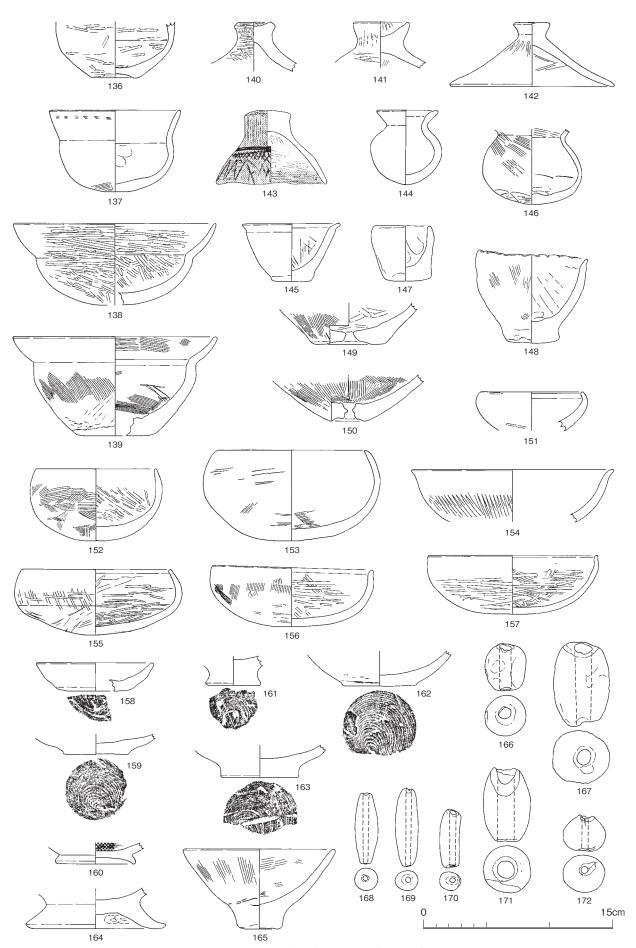
第 12 図 大河跡 (W24) 出土遺物 [S = 1/3]



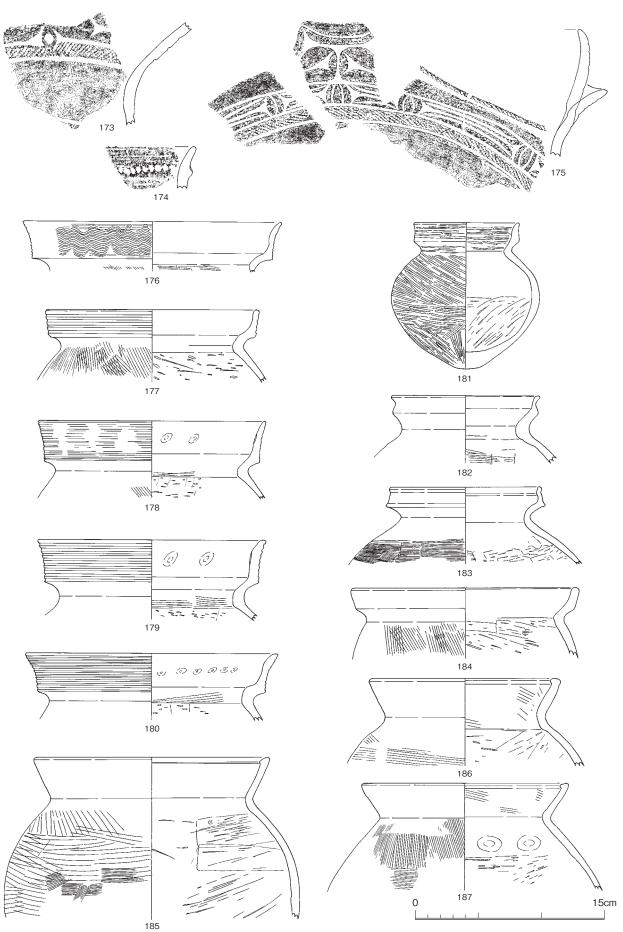
第 13 図 大河跡 (W24) 出土遺物 [S = 1/3]



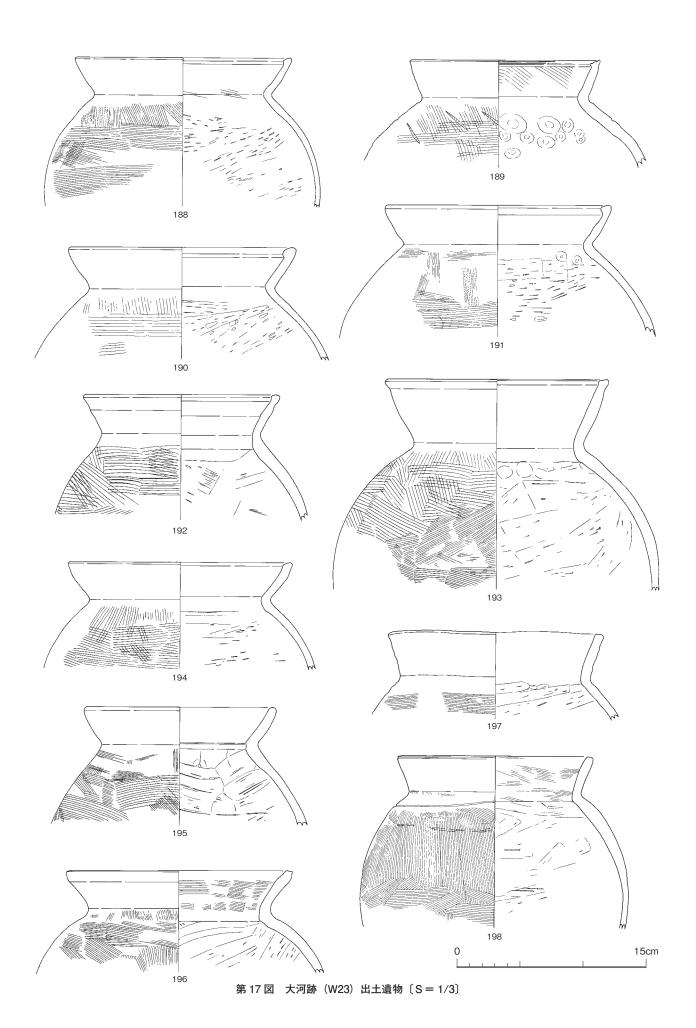
第 14 図 大河跡 (W24) 出土遺物 [S = 1/3]



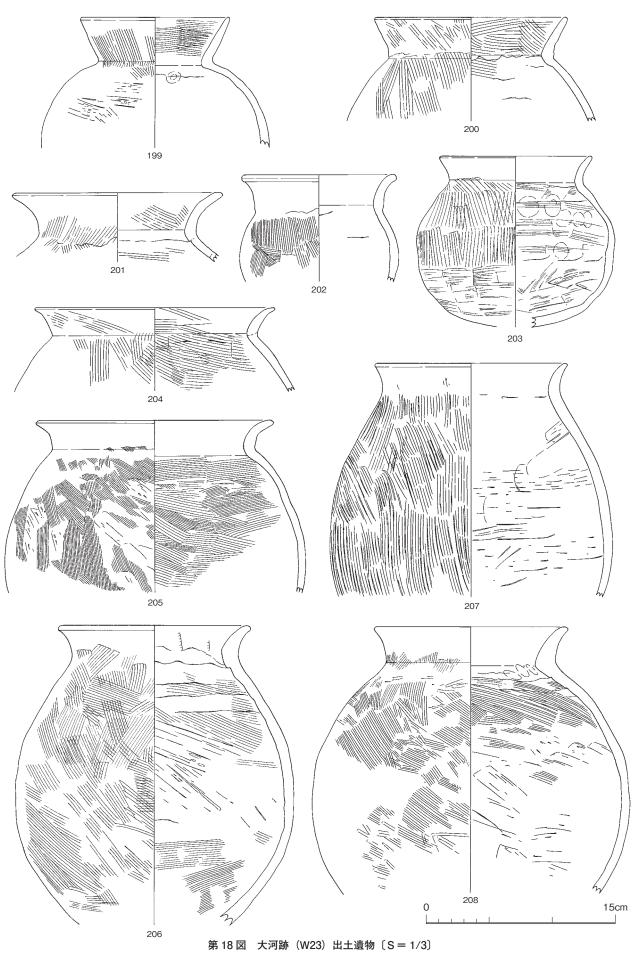
第 15 図 大河跡 (W24) 出土遺物 [S = 1/3]

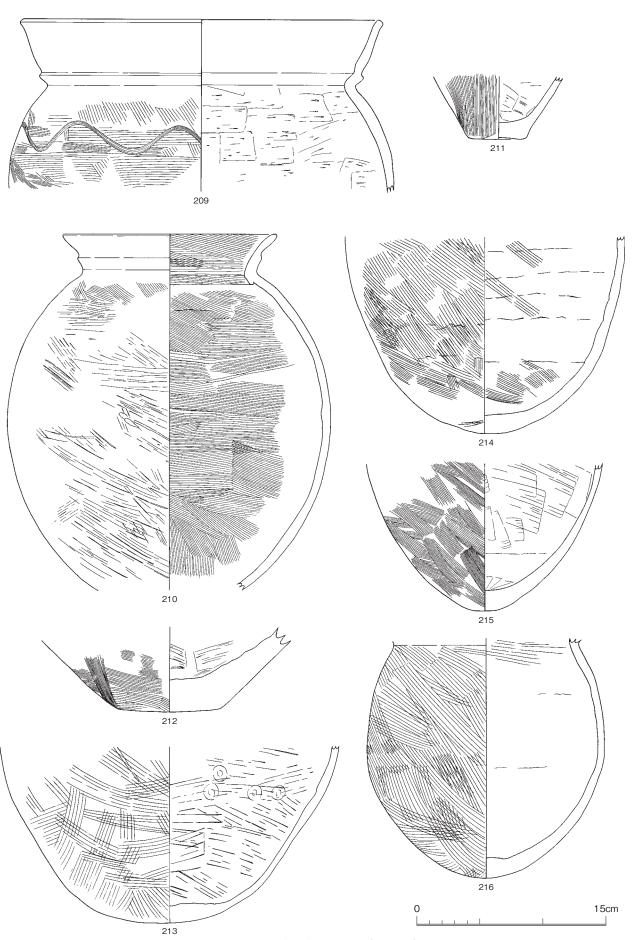


第 16 図 大河跡 (W23) 出土遺物 [S = 1/3]

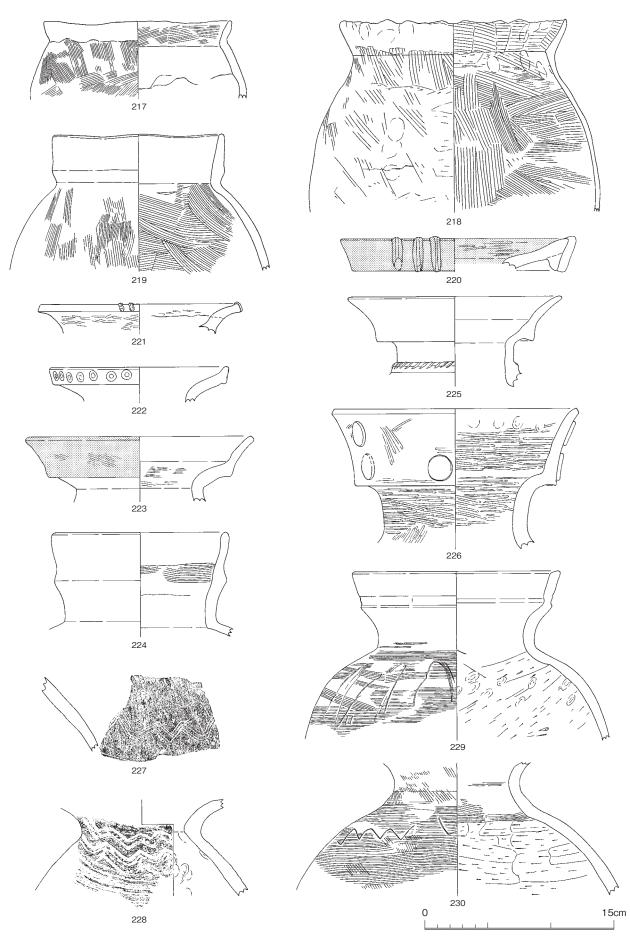


– 26 –

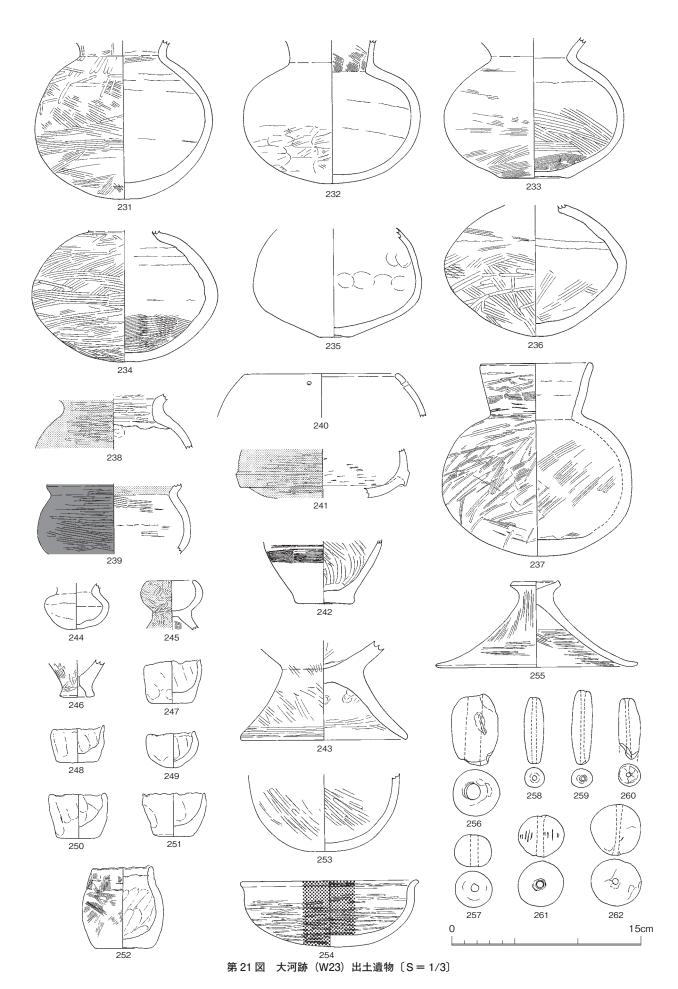


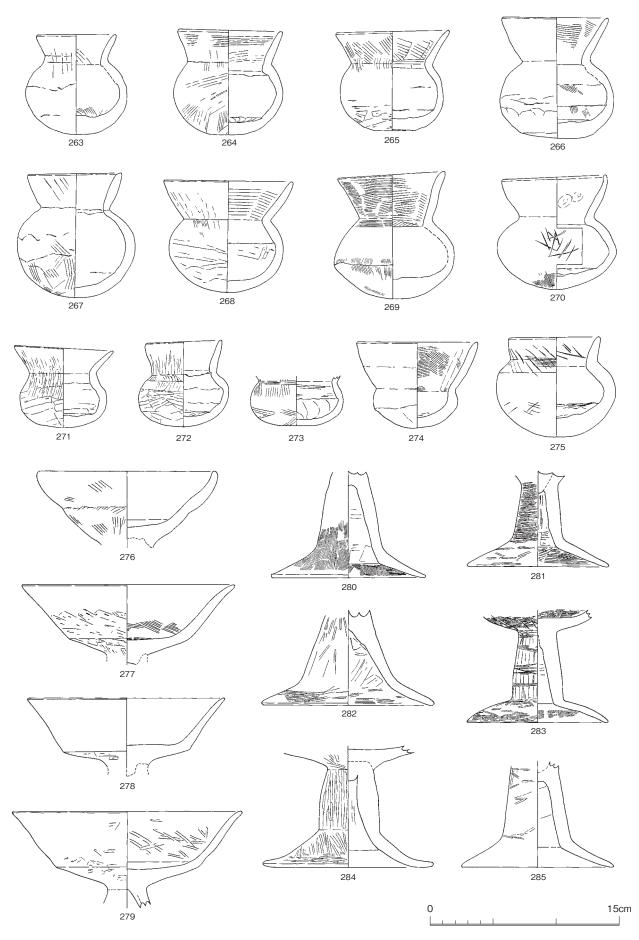


第 19 図 大河跡(W23)出土遺物〔S = 1/3〕

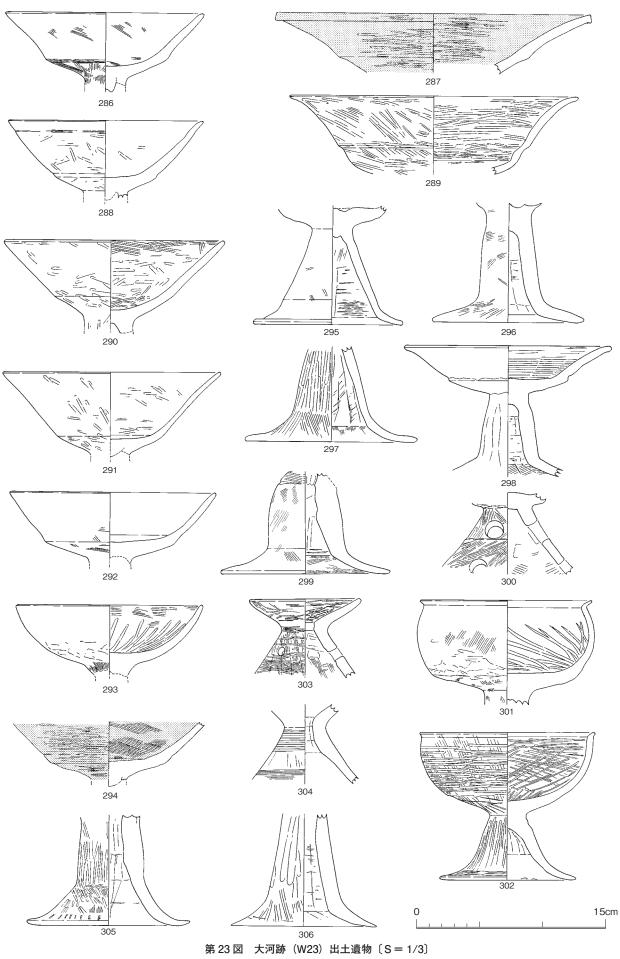


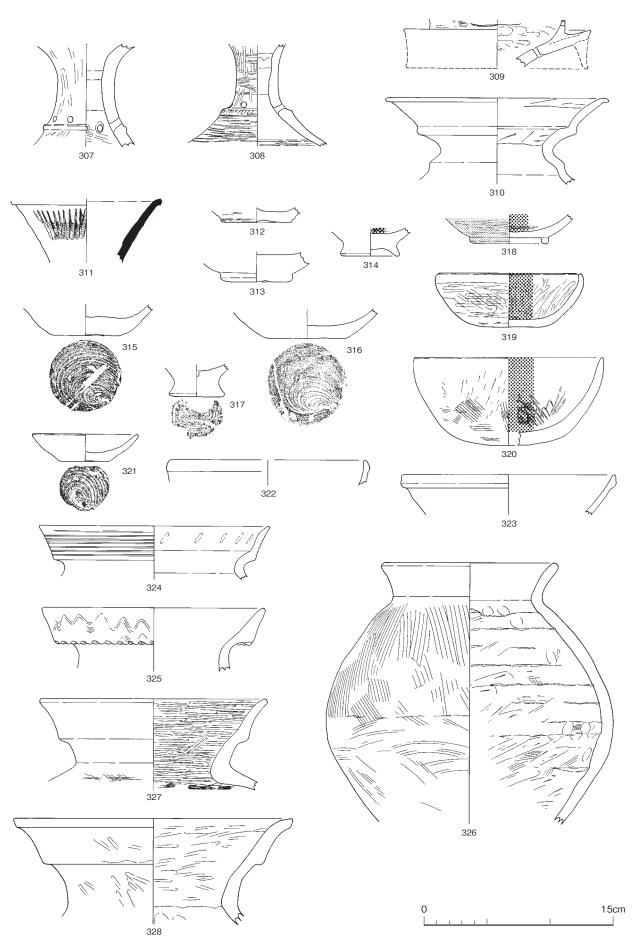
第 20 図 大河跡 (W23) 出土遺物 [S = 1/3]



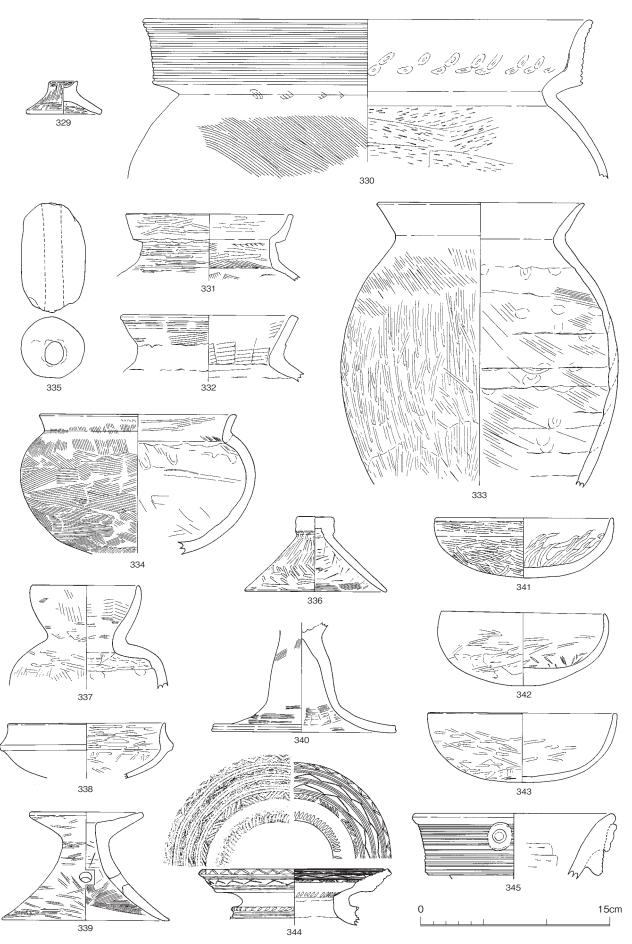


第 22 図 大河跡 (W23) 出土遺物 [S = 1/3]

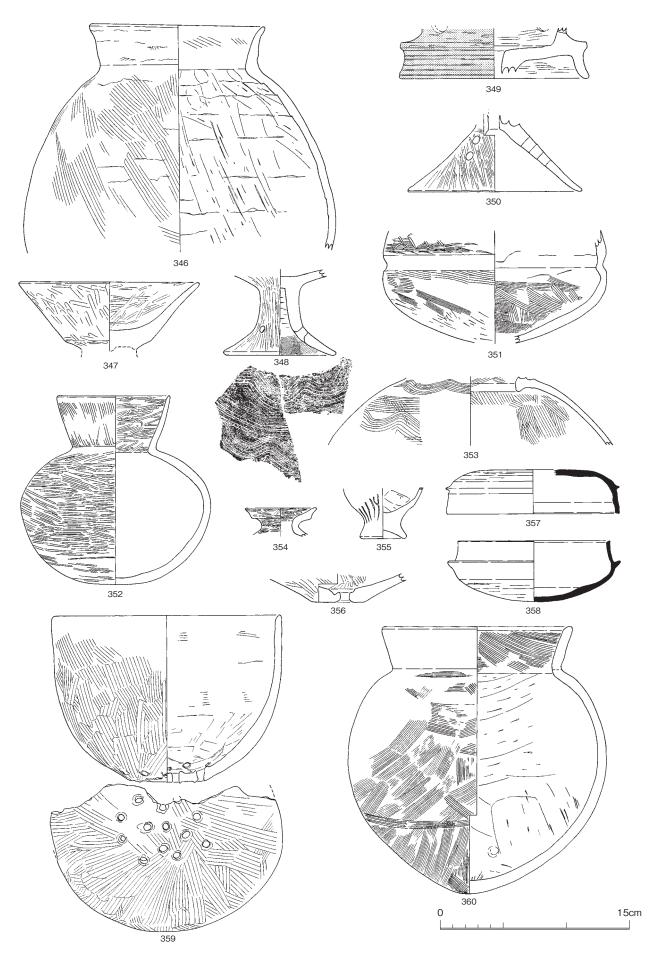




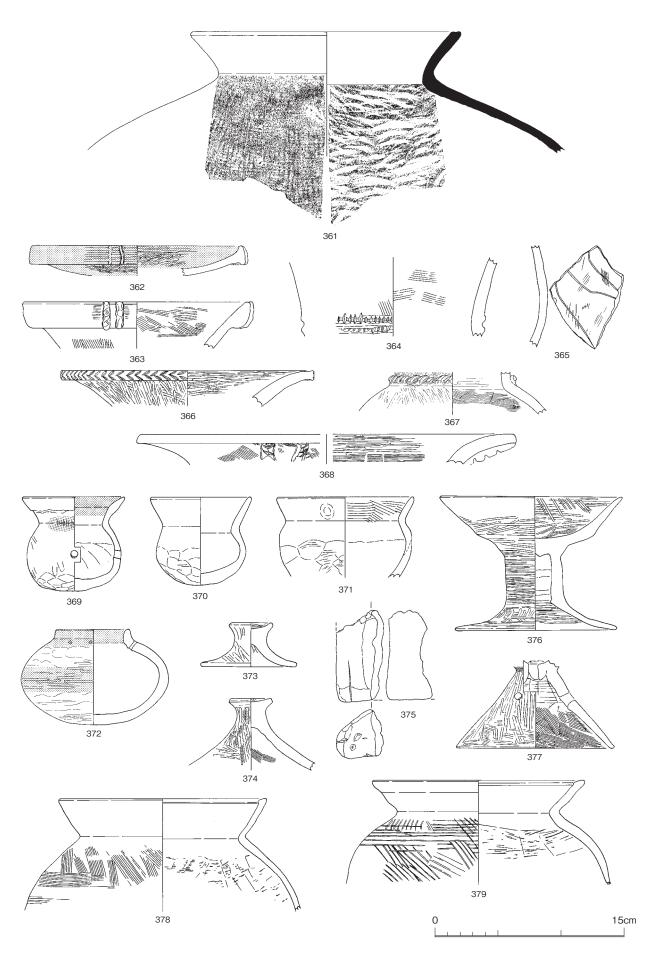
第 24 図 大河跡(W23・W22・W)出土遺物〔S = 1/3〕



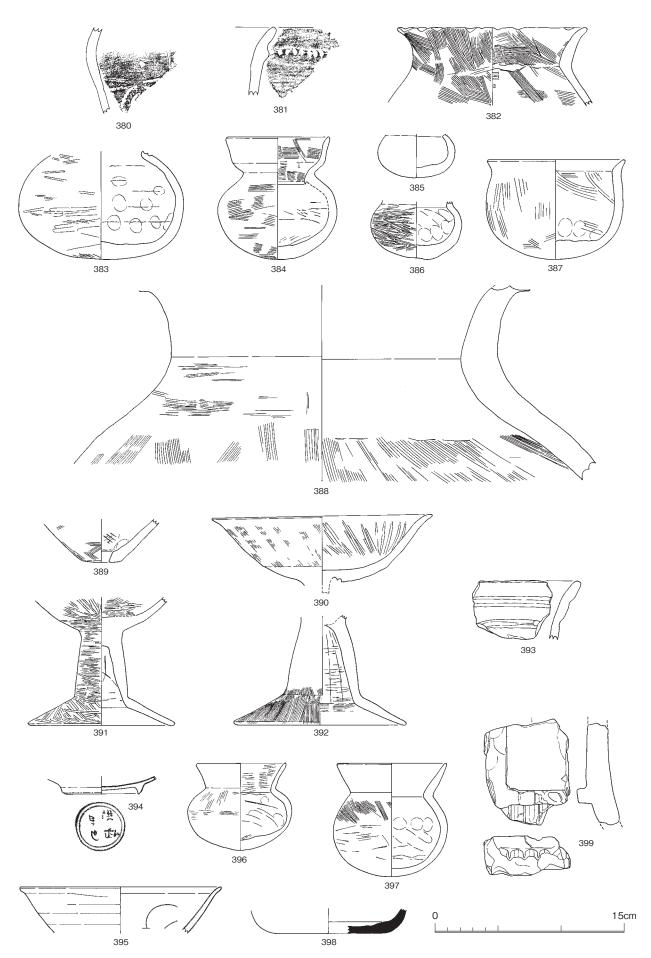
第 25 図 大河跡(X24·X22·W·X22)出土遺物〔S = 1/3〕



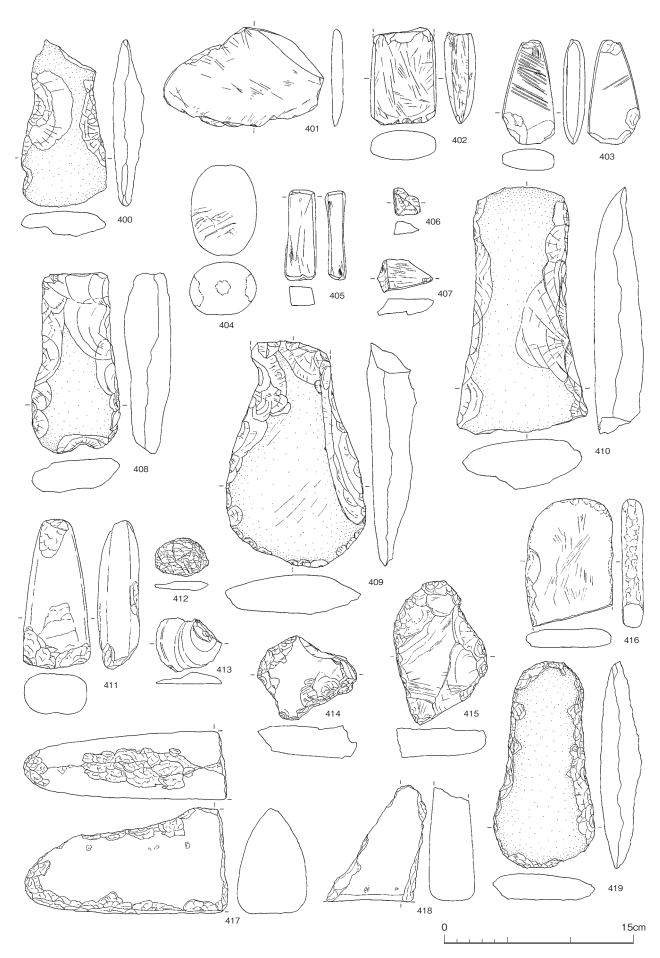
第 26 図 大河跡(W·X22·X21·X20·Y22)出土遺物〔S = 1/3〕



第 27 図 大河跡 (Y22・北半・中央畦) 出土遺物 [S = 1/3]



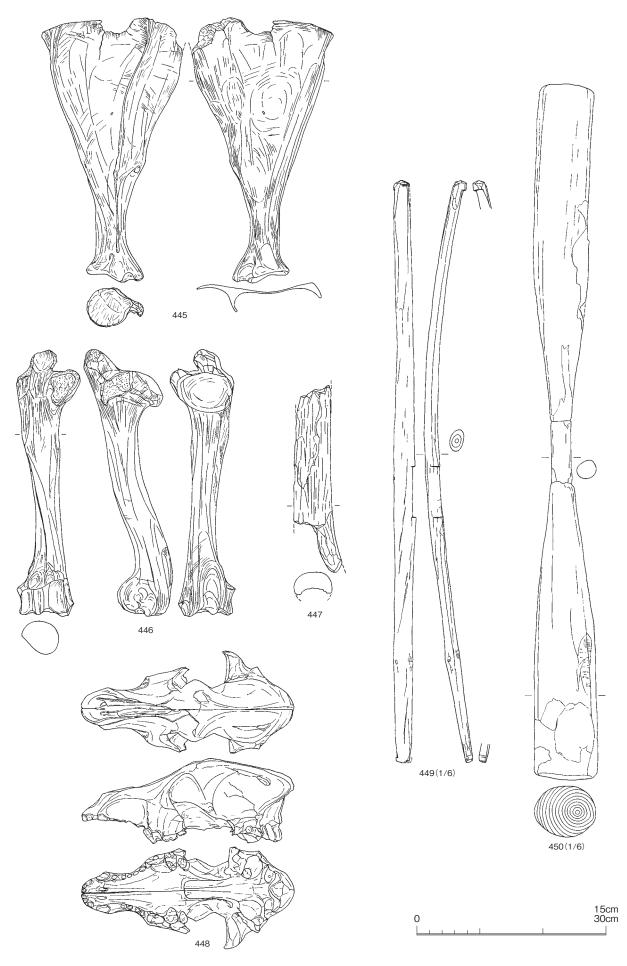
第28図 大河跡(中央畦・南半・不明)出土遺物〔S=1/3〕



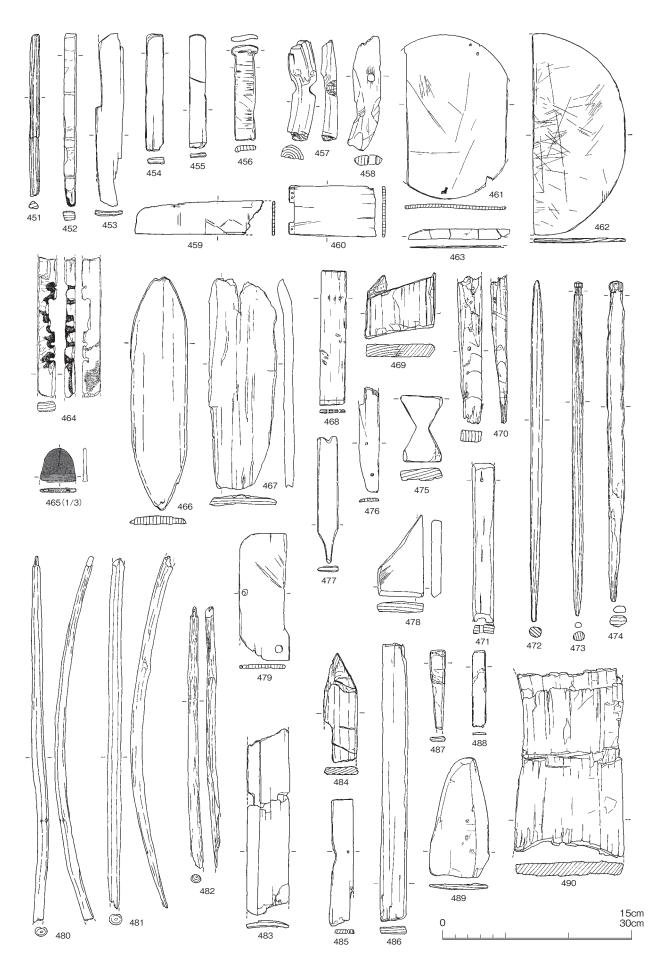
第 29 図 SD210·大河跡 (W25·W24·W23) 出土石製品 [S = 1/3]



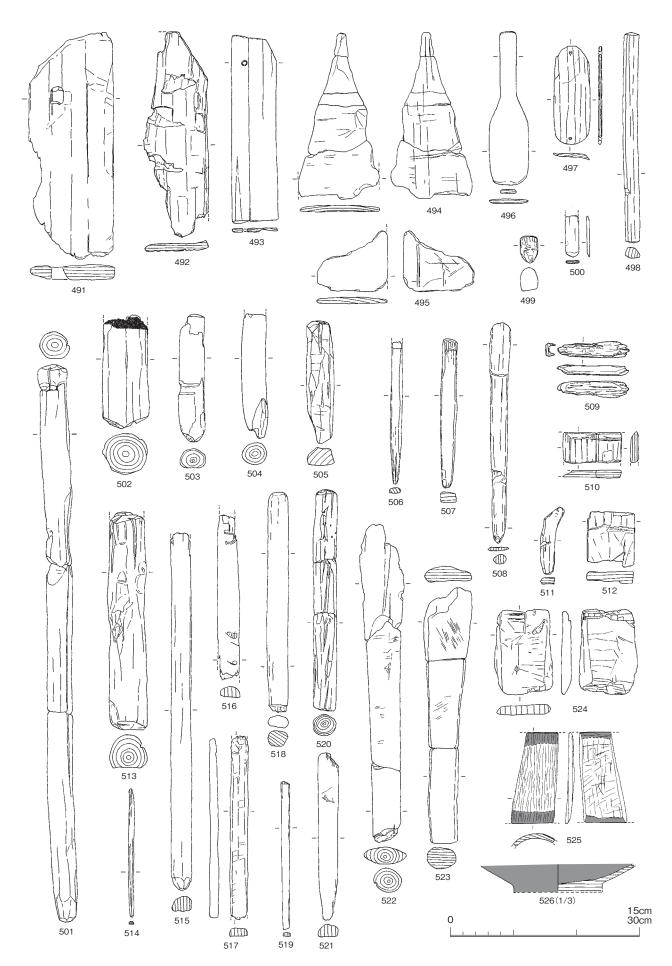
第30図 大河跡(W25·W24·W·X22·X21·北半·中央畦·南半)·SD210·包含層出土石製品·金属製品[S=1/3·1/2]



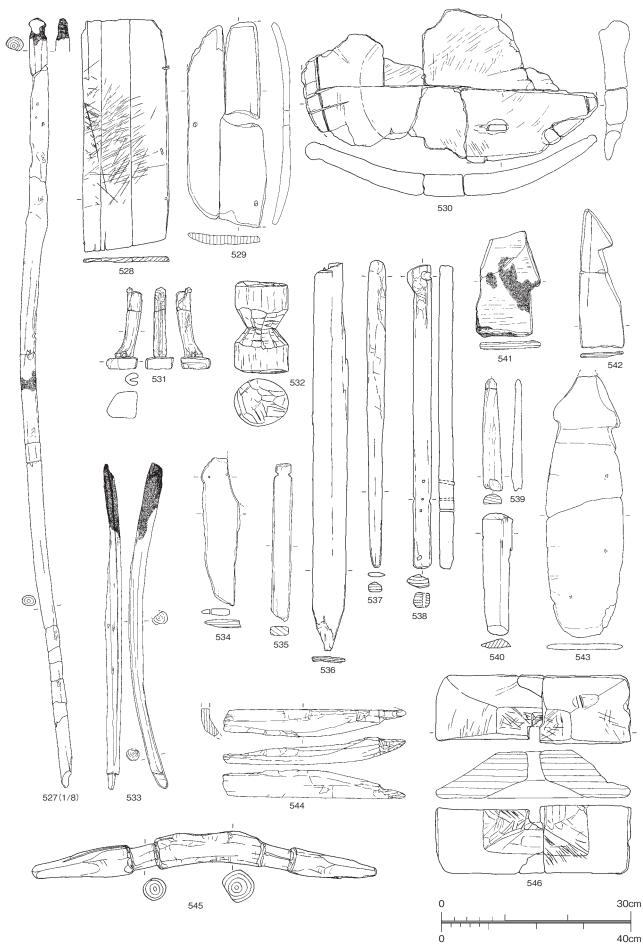
第 31 図 大河跡(W25・W23)出土骨・木製品(S = 1/3・1/6)



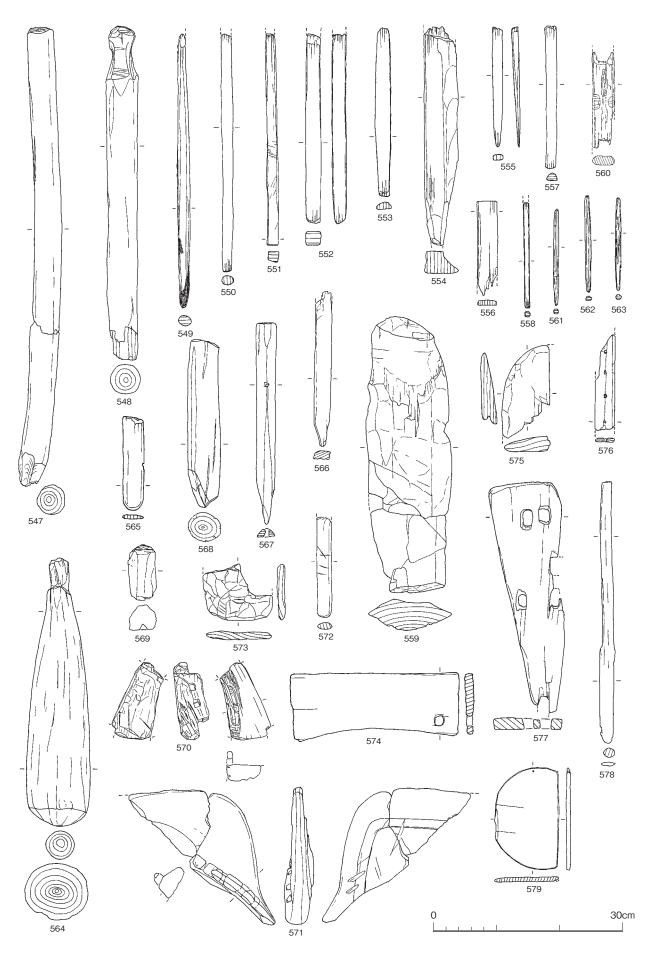
第 32 図 SD210・大河跡 (W25・W24) 出土木製品 [S = 1/6・1/3]



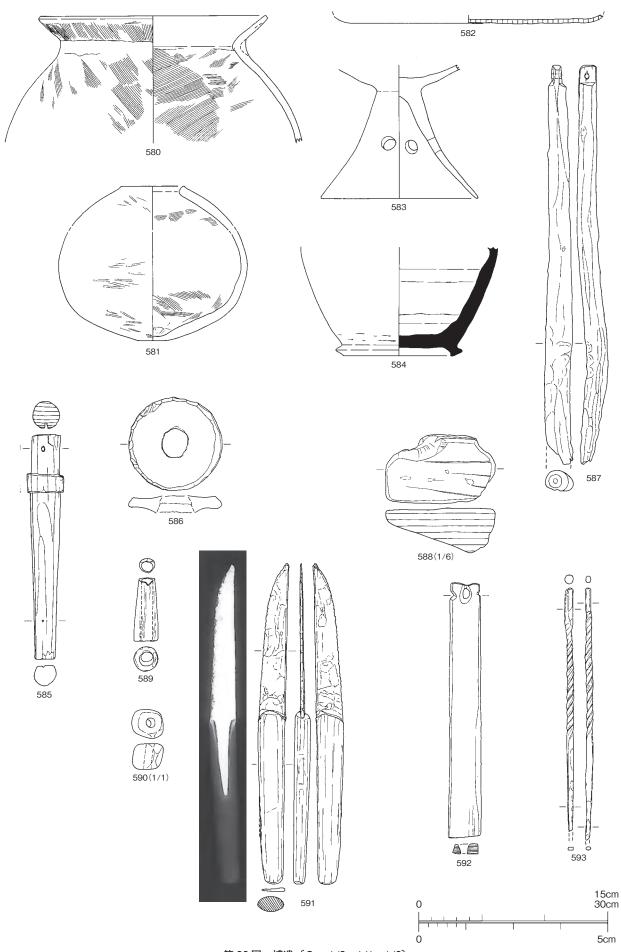
第 33 図 大河跡 (W24·W23) 出土木製品 [S = 1/6·1/3]



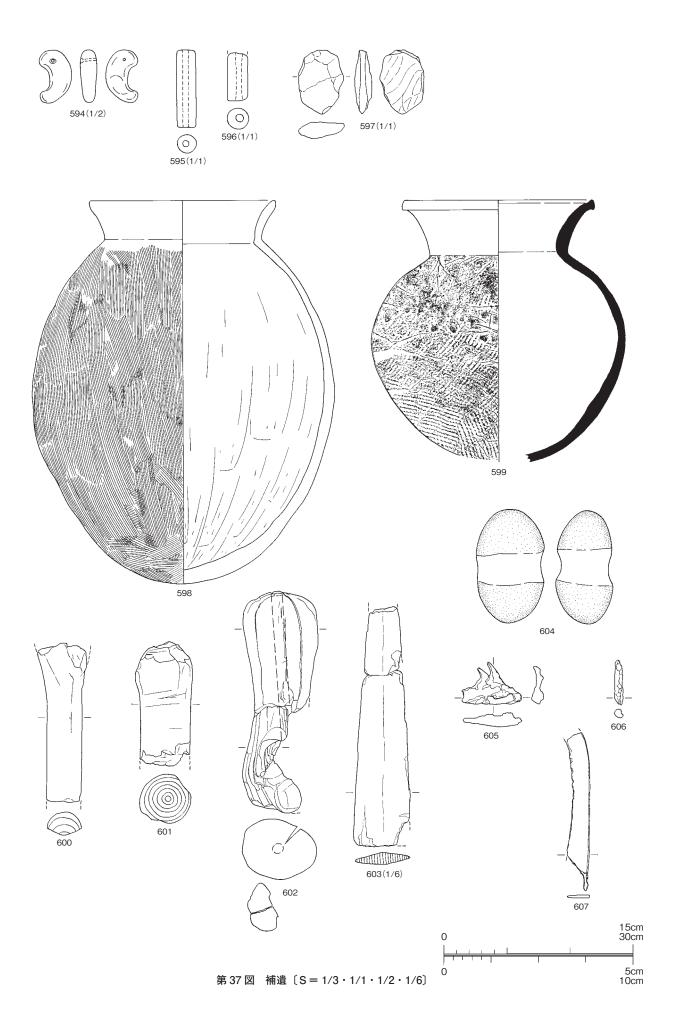
第 34 図 大河跡(W24・W23・W22・WX22・X21・Y21)出土木製品〔S = 1/6・1/8〕

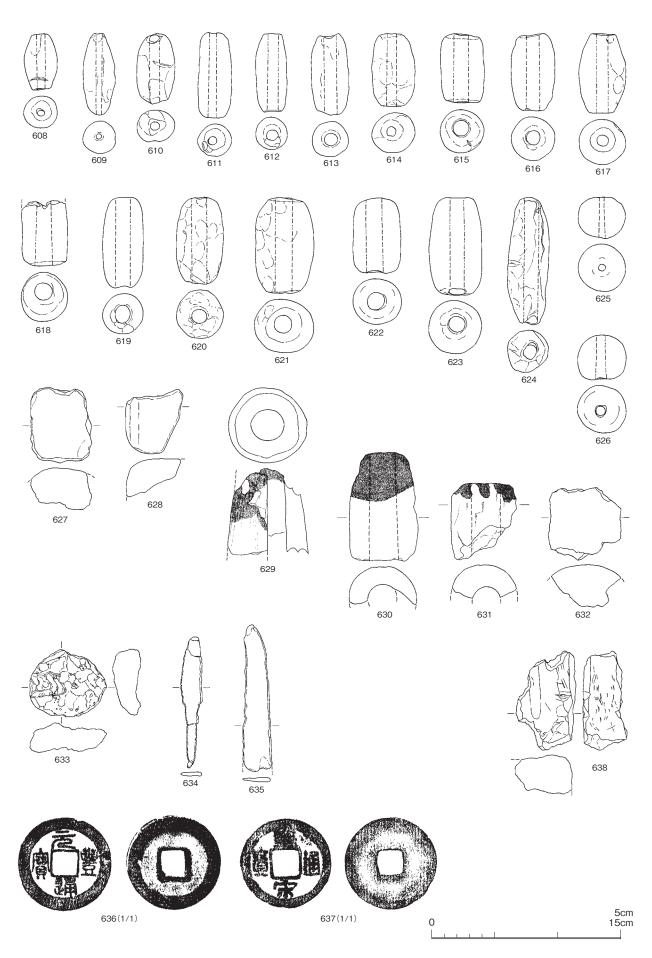


第 35 図 大河跡(W25 ~ W21・W·X22・X22・X20・Y22・北半・中央畦・南半)出土木製品 [S = 1/6]

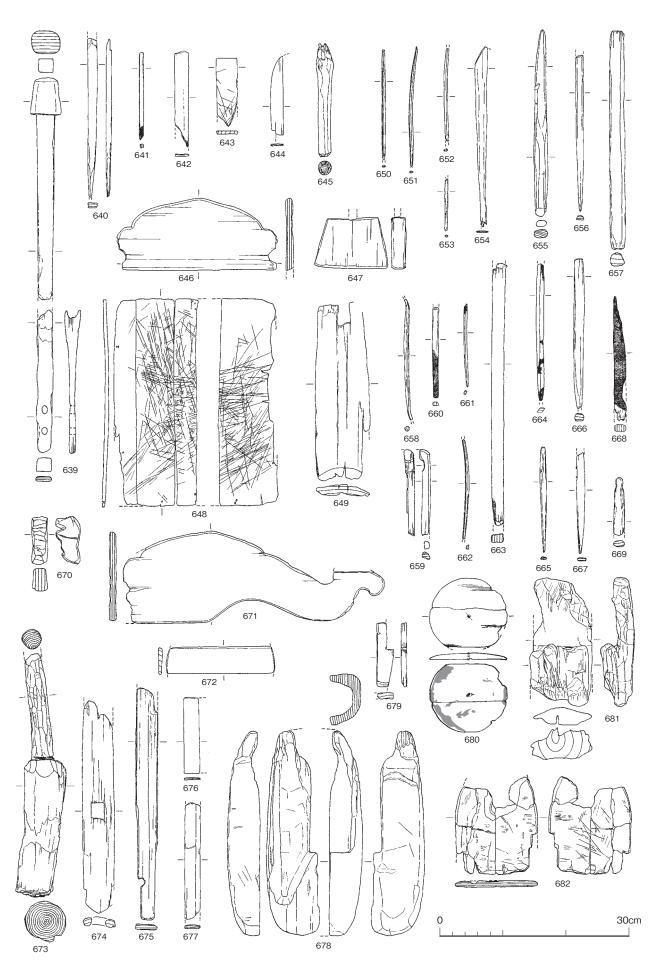


第36図 補遺〔S=1/3・1/1・1/6〕

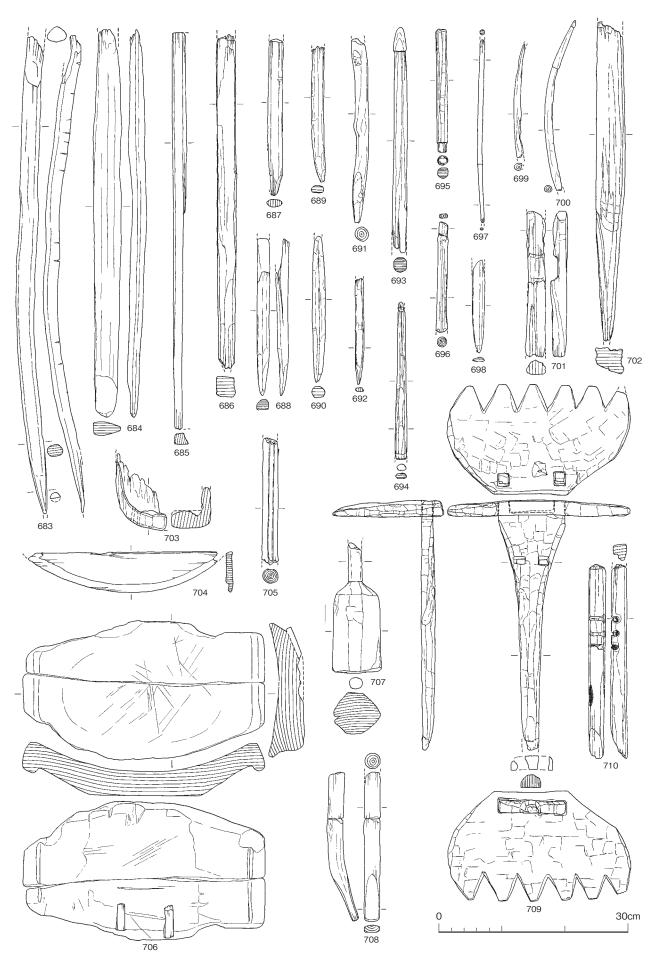




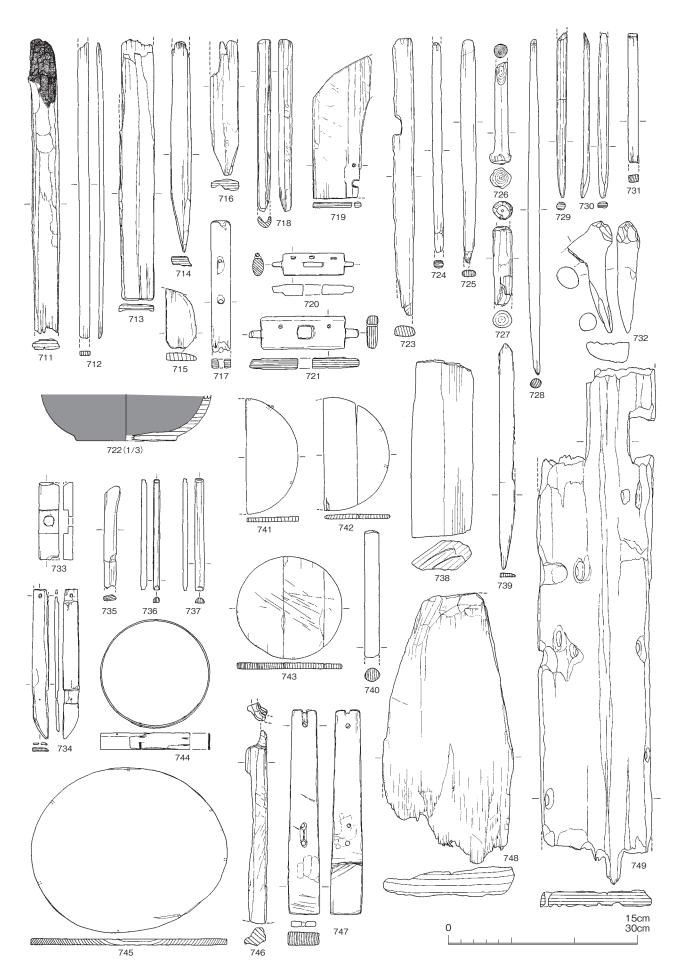
第38図 補遺〔S=1/3·1/1〕



第 39 図 補遺 (2区: SD303・SD222・SE251・SD240 出土木製品) [S = 1/6]



第 40 図 補遺 (2 区: SD244 出土木製品) [S = 1/6]



第 41 図 補遺(2 区: SD244·SD303 出土木製品)〔S = 1/6·1/3〕

第3表 土器・土製品観察表

男 3	衣	工品	・土製	品観:						_												
図版	番号	遺構	器種	口径	器高	t量(mm 胴径	底径	頸径	遺存度	砂	胎骨	土礫	赤	口縁外面	胴部外面	調整口線内面	胴部内面	底部外面	外面	調 内面	備考	実測番号
8	1	4区 V24	土師器	長 206	(56)	厚	摘径	受径 158	□2/12	0	-		0	擬凹線	ハケ	ナデ	ハケ・ケズリ	ESHPYTHA	2.5Y8/3	2.5Y8/3	指頭圧痕	T406
	2	SK200 4⊠ V24		160	(100)		118		□5/12	0		Δ	0	摩滅	摩滅	摩減	摩滅	摩減	淡黄色 2.5YR7/4	淡黄色 2.5YR7/4	擬凹線7条	T407
	3	SK200 4⊠ V24	高杯 土師器	150	(84)			116	底9/12	0			0	ナデ	ハケ	ナデ	ケズリ	14-11%	淡赤橙色 10YR8/4	淡赤橙色 7.5YR8/4	外面煤付着	T405
	4	P200 4⊠ W22	養 土師器	130	(45)		摘34		摘12/12	0				ミガキ	ミガキ	ミガキ	ミガキ		浅黄橙色 5YR7/3	浅黄橙色 5YR7/3	71回床17周	HK20
		SD210 4⊠ W22	蓋 土師器	400				26											にぶい橙色 2.5Y8/3	にぶい橙色 2.5Y8/3		
	5	SD210 4⊠ W21	土師器	103	35		摘36	28	摘12/12 裾1/12			_		ミガキ	ミガキ	ミガキ	ミガキ		淡黄色 10YR8/3	淡黄色 7.5YR8/4		HK21
	6	SD210 4⊠ W22	小壶		(85)	88	64		頸5/12						ハケ→ナデ	:	ナデ		浅黄橙色 2.5Y8/3	浅黄橙色 10YR8/3		HK22
	7	SD210 4⊠ W22	土師器	167	(39)			117	□1/12	0				ハケ		ナデ			淡黄色 7.5YR8/4	浅黄橙色 7.5YR7/1		HK24
	8	SD210 4⊠ W22	須恵器	144	(41)			122	□1/12 □3/12	0		0		摩滅	ハケ	摩滅			浅黄橙色	明褐灰色 7.5Y6/1		HK26
	9	4⊠ W22 SD210 4⊠ W22	無台坏	124	28		82		底3/12					ロクロナデ	ロクロナデ・	ロクロナデ	ロクロナデ	ケズリ→	7.516/1 灰色 2.5Y6/1	7.516/1 灰色 2.5Y6/1	高松産	F145
	10	SD210	須恵器 無台坏		(35)		76		底12/12			$\triangle$			ケズリ		ロクロナデ・ ケズリ	グナデ	黄灰色	黄灰色	高松産	F144
	11	4⊠ W22 SD210	灰釉陶器	158	(32)				□1/12					ミガキ		ミガキ			5Y8/1 灰白色	5Y8/1 灰白色		F150
	12	4⊠ W22 SD210	珠洲焼 鉢		(34)		112		底3/12	0					ナデ		ナデ	回転糸切	N6/ 灰色	N6/ 灰色		F146
	13	4区 W21 SD210	土師器		(50)		63		底12/12	0			Δ		ナデ		ナデ	回転糸切	10YR8/4 浅黄橙色	10YR8/4 浅黄橙色		F130
	14	4⊠ W21 SD210	土師器	86	20		48		口2/12 底4/12	Δ			Δ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	回転糸切	2.5Y7/3 浅黄色	2.5Y7/3 浅黄色		F138
	15	4⊠ W21 SD210	土師器	82	21		50		口4/12 底5/12	Δ			Δ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ヘラ切	2.5Y7/3 浅黄色	2.5Y6/2 灰黄色		F141
	16	4区 W22 SD210	土師器皿?		(13)		44		底12/12	Δ	Δ		Δ		ナデ		ナデ	回転糸切	10YR7/4 にぶい黄橙色	10YR8/4 浅黄橙色		F131
	17	4区 W22 SD210	土師器皿	85	21		60		口5/12 底3/12	0		Δ	Δ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	10YR8/4 浅黄橙色	10YR8/4 浅黄橙色		F139
	18	4区 W22 SD210	土師器	85	22		45		口2/12 底2/12	Δ				ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	回転糸切	2.5Y7/3 浅黄色	2.5Y7/3 浅黄色	外面黒斑あり	F136
	19	4区 W22 SD210	土師器皿	84	21		44		口2/12 底7/12	Δ			Δ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	回転糸切	10YR7/4 にぶい黄橙色	2.5Y7/4 浅黄色		F135
	20	4区 W21 SD210	土師器皿	98	18		52		口2/12 底7/12	Δ			Δ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ		10YR8/2 灰白色	10YR8/2 灰白色		F142
	21	4区 W22 SD210	土師器皿	88	23		38		口1/12 底10/12	0			Δ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	回転糸切	10YR7/2 にぶい黄褐色	10YR7/4 にぶい黄橙色		F134
	22	4区 W22 SD210	土師器皿	92	18		59		口1/12 底2/12	Δ			0	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ヘラ切	2.5Y8/4 淡黄色	7.5YR8/4 浅黄橙色		F140
	23	4⊠ W22 SD210	土師器皿	98	25		60		口1/12 底12/12	Δ				ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	回転糸切	10YR7/3 にぶい黄橙色	10YR6/2 灰黄褐色		F133
	24	4⊠ W22 SD210	土師器皿?		(26)		59		底12/12	Δ		Δ	Δ		ナデ		ナデ	回転糸切	10YR7/2 にぶい黄褐色	10YR7/2 にぶい黄褐色	内面に墨痕	F132
	25	4区 W22 SD210	土師器椀		(24)		62		底11/12	Δ			0		ナデ		ナデ	回転糸切	10YR6/4 にぶい黄橙色	10YR6/4 にぶい黄橙色		F129
	26	4区 W22 SD210	土師器椀		(27)		67		台9/12	Δ			Δ		ナデ		ミガキ	ナデ	2.5Y7/2 灰黄色	2.5Y3/1 黒褐色	内面黒色土器	F143
	27	4区 W22 SD210	土師器椀		(15)		70		台3/12	Δ			0		ナデ		ミガキ	回転糸切	10YR8/3 浅黄橙色	10YR3/2 黒褐色	内面黒色土器	F137
	28	4⊠ W22 SD210	白磁碗	(140)	(29)				□1/12										10Y8/1 灰白色	10Y8/1 灰白色	透明釉	FT1
	29	4⊠ W22 SD210	白磁碗	156	(36)				□1/12										5Y8/2 灰白色	5Y8/2 灰白色	透明釉	F149
	30	4区 W22 SD210	珠洲焼 鉢		(31)				口1/12 以下	0		0							2.5Y7/1 灰白色	2.5Y7/1 灰白色	重燒痕	F148
	31	4⊠ W22 SD210	珠洲焼 鉢	313	(87)				□2/12	0				ナデ	ナデ	ナデ	ナデ		N6/ 灰色	N6/ 灰色		F147
9	32	4区 W25 大河跡	土師器	158	(54)			142	□3/12	0	0	Δ		ハケ・ナデ	ハケ	ナデ	ナデ		10YR8/4 浅黄橙色	10YR8/4 浅黄橙色		T271
	33	4区 W25 大河跡	土師器	168	(85)		146		□3/12	0	Δ	Δ		ナデ	ハケ	ナデ	ケズリ		2.5Y7/3 浅黄色	2.5Y7/3 浅黄色		T272
	34	4区 W25 大河跡	土師器	150	(104)	186		137	□9/12	0	Δ		0	ナデ	ハケ		ケズリ→ ナデ		2.5Y6/3 にぶい黄色	2.5Y4/1 黄灰色	外面黒斑あり 内面ヨゴレ	T149
	35	4区 W25 大河跡	土師器	158	(128)	210		136	□3/12	0		Δ	Δ	ナデ	ハケ	ハケ	ケズリ		2.5Y7/3 浅黄色	10YR8/6 黄橙色	外面煤付着内面ヨゴレ	T154
	36	4区 W25 大河跡	土師器	192	(98)			168	口1/12 頸3/12	0	0			ナデ	ハケ	ハケ	ハケ・ケズリ		10YR8/6 黄橙色	10YR8/6 黄橙色	外面黒斑あり	T273
	37	4⊠ W25	土師器	156	(136)	222		138	□3/12	0	0		0	ナデ	ナデ?	ハケ→ナデ	ナデ		7.5YR7/1 明褐灰色	2.5Y7/3 浅黄色	外面煤付着	T148
	38	大河跡 4区 W25 大河跡	土師器	204	(96)			166	口1/12 頸3/12	0		Δ	_	ハケ→ナデ	ハケ	ナデ・ハケ	ナデ		2.5Y3/1	10YR6/3	外面煤付着	T146
	39	大河跡 4区 W25	土師器	298	(191)			290	到3/12	0		Δ		ナデ	ハケ	ナデ	ハケ・ケズリ		黒褐色 10YR7/6 明素褐色	にぶい黄橙色 10YR7/6 田芸紹会	内外面鉄分付着	
10	40	大河跡 4区 W25	土師器	104	141	130	31	92	□2/12	0		_	Δ	ナデ	ハケ	ナデ	ナデ・ケズリ	ハケ	明黄褐色 10YR7/3	明黄褐色 2.5Y7/3	外面煤付着	T147
"	41	大河跡 4区 W25	小甕 土師器	98	102	104	78	88	□7/12			Ē		ナデ	ハケ・ミガキ・	ナデ	ケズリ	ミガキ→	にぶい黄橙色 10YR6/6	浅黄色 10YR7/3	内面ヨゴレ	F153
	42	大河跡 4区 W25	小甕 土師器	132	(126)	130		121	底12/12					ナデ	ケズリ	ハケ→ナデ	ハケ→ナデ	ケズリ	明黄褐色 7.5YR7/3	にぶい黄橙色 10YR4/3	外面煤付着	
	43	大河跡 4区 W25	小甕 土師器	180	(81)	.50		118	П3/12	0	L		0	擬凹線	ナデ・ハケ	ナデ	ハケ・ケズリ		にぶい橙色 7.5YR8/4	にぶい黄褐色 7.5YR8/4	内面ヨゴレ 擬凹線6条	T260
	43	大河跡	壶	100	(01)			118	µ3/12				_	短凹粽	7 5.117	) T	719 1973		浅黄橙色	浅黄橙色	外面一部煤付着	1200

第3表 土器・土製品観察表(1)

					i	大量 (mm	1)				胎	±	_			調整			色	調		- N
図版	番号	遺構	器種	口径長	器高幅	胴径 厚	底径 摘径	頸径 受径	遺存度	砂	$\neg$		赤	口縁外面	胴部外面	口縁内面	胴部内面	底部外面	外面	内面	備考	実測番号
10	44	4区 W25 大河跡	土師器	172	(64)			121	□10/12	0	Δ			ミガキ・ナデ	ミガキ	ミガキ・ナデ	ケズリ		7.5YR5/6 明褐色	7.5YR5/6 明褐色	内外面鉄分付着	F156
	45	4区 W25 大河跡	弥生土器 壺		(56)				□1/12	0		0	Δ	条痕		条痕			10YR8/2 灰白色	10YR8/2 灰白色	外面 刺突文·浮文 内面 波状文	SH171
	46	4区 W25 大河跡	土師器	190	(35)				□1/12	0	Δ		0	ミガキ		ハケ→ミガキ			10R6/8 赤橙色	2.5YR7/8 橙色	内外面赤彩 外面突帯あり	SH170
	47	4区 W25 大河跡	土師器		(95)	139	19		底12/12	0	Δ				ミガキ・ケズリ		ナデ・ケズリ・ ハケ	ケズリ	7.5YR7/4 にぷい橙色	7.5YR6/1 褐灰色	外面黒斑あり	F155
	48	4区 W25 大河跡	土師器 ミニチュア		(40)	46	31	42	底12/12	0		Δ	Δ		ミガキ		ナデ	ナデ	5Y7/2 灰白色	5Y7/1 灰白色	甕形	F168
	49	4区 W25 大河跡	土師器 ミニチュア		(46)	67	8	60	底12/12	0	Δ	0	Δ		ケズリ・ナデ		ケズリ		10YR8/4 浅黄橙色	2.5YR7/4 淡赤橙色	壺形	F169
	50	4区 W25 大河跡	手捏土器	48	50	56	38		口1/12 底12/12	0	Δ		0	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	2.5Y8/4 淡黄色	2.5Y3/1 黒褐色		F171
	51	4区 W25 大河跡	手捏土器	74	45		12		口11/12 底12/12	0	Δ		0	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	10YR8/3 浅黄橙色	10YR8/3 浅黄橙色	外面黒斑あり	F170
	52	4区 W25 大河跡	土師器 小壺	92	77	84	23	70	口6/12 底12/12	0	Δ	Δ	0	ナデ・ミガキ	ミガキ・ケズリ	ナデ	ケズリ・ナデ	ナデ	10YR8/4 浅黄橙色	7.5YR8/4 浅黄橙色	接合痕	F154
	53	4区 W25 大河跡	土師器 小壺	81	86	91	10	64	口4/12 底12/12	Δ	Δ		0	ナデ	ナデ・ケズリ	ハケ・ナデ	ナデ・ケズリ	ケズリ・ナデ	2.5Y8/3 淡黄色	2.5Y8/3 淡黄色		F151
	54	4区 W25 大河跡	土師器 小壺	76	84	88	4	63	口2/12 底12/12	0	Δ		0	ケズリ→ナデ	ケズリ	ハケ・ナデ	ハケ・ケズリ	ケズリ・ナデ	2.5Y8/2 灰白色	2.5Y5/1 黄灰色		F152
	55	4区 W25 大河跡	土師器 装飾器台		(51)			187	受2/12	Δ			0		ミガキ		ミガキ		10YR8/3 浅黄橙色	10YR8/3 浅黄橙色	内外面鉄分付着 外面黒斑あり 内面一部赤彩	F190
	56	4区 W25 大河跡	土師器器台?		(29)		83	54	裾11/12	Δ			0		ミガキ		ナデ		10YR8/3 浅黄橙色	10YR8/3 浅黄橙色	外面赤彩	F167
	57	4区 W25 大河跡	土師器 高杯	178	(69)			37	□8/12	Δ	Δ		0	ナデ	ハケ・ケズリ・ ナデ	ナデ			7.5YR7/2 明褐灰色	10YR6/4 にぶい黄橙色	内外面黒斑あり 接合痕あり	F188
	58	4区 W25 大河跡	土師器 高杯	188	(126)			33	□4/12	0	Δ		Δ	摩滅	摩滅	ハケ→ミガキ	ケズリ・ナデ		10YR7/6 明黄褐色	10YR7/6 明黄褐色		F191
11	59	4区 W25 大河跡	土師器 高杯	184	(53)				□10/12	Δ	Δ			ナデ		ミガキ・ハケ			10YR4/2 灰黄褐色	10YR4/2 灰黄褐色	内外面煤付着	SH49
	60	4区 W25 大河跡	土師器 高杯	268	(94)				□1/12	0	Δ			ハケ→ミガキ・ ナデ		ナデ・ミガキ			7.5YR6/4 にぶい橙色	5YR6/8 橙色	内外面工具痕	SH50
	61	4区 W25 大河跡	土師器 高杯		(78)		156		底12/12	0			0		ケズリ・ハケ・ ナデ		ケズリ・ハケ・ ナデ		10YR8/3 浅黄橙色	10YR8/3 浅黄橙色	脚部内面工具痕	F189
	62	4区 W25 大河跡	土師器 有孔鉢		(61)		14		底12/12	0					ハケ→ナデ		ハケ→ナデ	ハケ→ナデ	7.5YR7/2 明褐灰色	7.5YR7/2 明褐灰色		T151
	63	4区 W25 大河跡	土師器椀	108	56		18		口6/12 底12/12	Δ	Δ		Δ	ナデ	ケズリ・ミガキ	ナデ	ミガキ	ミガキ	2.5Y8/4 淡黄色	10YR8/4 浅黄橙色	外面黒斑あり	F163
	64	4区 W25 大河跡	土師器椀	128	55		12		口8/12 底12/12	Δ	Δ			ナデ	ケズリ・ナデ	ナデ	ミガキ	ケズリ	10YR6/4 にぶい黄橙色	10YR6/4 にぷい黄橙色	内面黒斑あり 接合痕	F161
	65	4区 W25 大河跡	土師器椀	143	51		19		口5/12 底12/12	0	Δ		Δ	ナデ・ミガキ	ケズリ	ナデ・ミガキ	ミガキ	ケズリ	2.5Y6/3 にぶい黄色	5YR7/4 にぶい橙色	外面黒斑あり	F165
	66	4区 W25 大河跡	土師器椀	130	52		76		口1/12 底12/12	0	0		0	ナデ	ハケ・ケズリ	ナデ・ミガキ	ミガキ	ケズリ・ナデ	2.5Y8/4 淡黄色	10YR5/4 にぶい黄褐色	外面黒斑あり 工具痕あり	F166
	67	4区 W25 大河跡	土錘	57	52	53			完形	0			0						2.5Y7/3 浅黄色		重120.0g 孔径22.0mm	F193
	68	4区 W25 大河跡	土錘	67	37	36			完形	0	0		Δ						10YR6/6 明黄褐色		内外面鉄分付着 重85.0g 孔径13.0mm	F194
	69	4区 W25 大河跡	土錘	41	29	31			完形	Δ									2.5Y6/4 にぶい黄色		内外面鉄分付着 重39.0g 孔径17.0mm	F199
	70	4区 W25 大河跡	土錘	38	30	33			完形	Δ	$\triangleright$								2.5Y7/3 浅黄色		重37.0g 孔径18.0mm	F200
	71	4区 W25 大河跡	土錘	32	38	34			完形	$\triangle$									2.5Y6/4 にぶい黄色		重46.0g 孔径9.0mm	F201
	72	4区 W25 大河跡	土錘	76	27	35			完形	0	Δ		0						2.5Y7/4 浅黄色		重101.0g 孔径13.0mm	F197
	73	4区 W25 大河跡	土錘	71	36	35			完形	0	$\triangle$		Δ						10YR7/3 にぶい黄橙色		重89.0g 孔径11.0mm	F196
	74	4区 W25 大河跡	土錘	54	41	38			完形	Δ			0						10YR7/3 にぶい黄橙色		重62.0g 孔径17.0mm	F195
	75	4区 W25 大河跡	土錘	78	23	22			完形	Δ									10YR6/6 明黄褐色		内外面鉄分付着 重38.0g 孔径6.0mm	F198
	76	4区 W25 大河跡	土錘	36	39	38			完形	Δ		0	0						5Y8/2 灰白色		重45.0g 孔径8.0mm	F202
	77	4区 W25 大河跡	土錘	30	37	9			完形	Δ									5Y7/2 灰白色		重38.0g 孔径9.0mm	F203
	78	4区 W25 大河跡	鞴羽口	(76)	(82)	(39)			破片	0			0						2.5Y8/3 淡黄色	2.5Y8/3 淡黄色	外面滓付着	T408
	79	4区 W24 大河跡	土師器 甕	164	(86)			135	□12/12	0	0	Δ	Δ	ハケ	ハケ	ハケ	ハケ→ナデ		7.5YR8/3 浅黄橙色	7.5YR8/3 浅黄橙色		T141
	80	4区 W24 大河跡	土師器 甕	138	(171)	188		122	□5/12	0	0			ハケ	ハケ	ハケ	ケズリ→ナデ		10YR8/4 浅黄橙色	10YR4/1 褐灰色	外面煤付着 内面コゲ 接合痕明瞭	EE140
	81	4区 W24 大河跡	土師器 甕	164	(116)			137	□6/12	0	0		Δ	ナデ	ハケ→ナデ?	ハケ→ナデ	ハケ		7.5YR8/4 浅黄橙色	10YR8/6 黄橙色	外面煤付着 接合痕明瞭	EE141
12	82	4区 W24 大河跡	土師器	118	125	134	30	98	口5/12 底12/12	0		Δ		ハケ→ナデ	ハケ	ハケ	ケズリ・ナデ	ハケ	5YR6/6 橙色	5YR7/8 橙色	外面煤付着	EE144
	83	4区 W24 大河跡	土師器 甕	176	(78)			142	□3/12	Δ	0			ナデ	ハケ	ハケ→ナデ	ナデ		2.5Y8/4 淡黄色	2.5Y8/4 淡黄色	外面煤付着 内面ヨゴレ	T145
	84	4区 W24 大河跡	土師器	166	(222)	204		139	□2/12	0		Δ	Δ	ハケ→ナデ	ハケ	ハケ	ケズリ→ナデ		10YR7/3 にぶい黄橙色	10YR7/3 にぶい黄橙色	外面煤付着 内面指ナデ	T143
	85	4区 W24 大河跡	土師器 甕	128	180	156	32	102	口10/12 底12/12	0	Δ	Δ	0	ハケ→ナデ	ハケ→ナデ	ハケ	ハケ→ケズリ	ハケ→ナデ	2.5Y7/3 浅黄色	2.5Y7/2 灰黄色	外面煤付着 二次被熱	N33
	86	4区 W24 大河跡	土師器 甕	118	(219)	196		104	口1/12 頸1/12 胴3/12	0	0		Δ	ナデ	ハケ	ナデ	ハケ→ナデ		2.5Y7/3 浅黄色	10YR7/3 にぶい黄橙色	外面煤付着 内面ヨゴレ・コゲ 接合痕明瞭	T142
	87	4区 W24 大河跡	土師器 甕	174	(102)			140	□2/12	0	$\triangle$	Δ	0	ナデ	ナデ・ハケ	ナデ	ハケ・ナデ・ ケズリ		10YR5/3 にぶい黄褐色	10YR5/3 にぶい黄褐色	外面煤付着 内面ヨゴレ	T140

第3表 土器・土製品観察表(2)

					ž	去量 (mm	1)				胎	<u>+</u>				調整			色	調		
図版	番号	遺構	器種	口径 長	器高幅	胴径 厚	底径 摘径	頸径 受径	遺存度	砂	骨	礫	赤	口縁外面	胴部外面	口縁内面	胴部内面	底部外面	外面	内面	備考	実測番号
12	88	4区 W24 大河跡	土師器 甕	148	(107)			134	□3/12	0			Δ	ハケ→ナデ	ハケ	ナデ	ケズリ		2.5Y8/3 淡黄色	2.5Y8/3 淡黄色	外面黒斑あり 外面煤付着	T139
	89	4区 W24 大河跡	土師器 甕	168	(117)			147	□6/12	0	Δ	0	0	ナデ	ハケ	ナデ	ケズリ		10YR8/4 浅黄橙色	10YR8/3 浅黄橙色	口縁端部沈線状 外面煤付着	EE139
	90	4区 W24 大河跡	土師器 甕	166	(141)	222		140	□3/12	0	Δ	Δ	0	ナデ	ハケ→ナデ	ナデ	ケズリ		7.5YR7/6 橙色	7.5YR7/6 橙色	外面煤付着	T144
13	91	4区 W24 大河跡	土師器 甕	258	(75)				□1/12	0			Δ	擬凹線	ハケ→ナデ	ナデ	ナデ		5YR8/2 灰白色	10YR8/2 灰白色		SH173
	92	4区 W24 大河跡	土師器 甕	122	(87)			112	□4/12	0	Δ		Δ	ナデ	ハケ	ナデ	ハケ・ケズリ		10YR7/4 にぶい黄橙色	2.5Y6/1 黄灰色	外面煤付着	EE199
	93	4区 W24 大河跡	土師器	130	(64)			88	□3/12	0				ナデ	ハケ→ナデ	ナデ	ナデ		10YR6/3 にぶい黄橙色	10YR6/3 にぶい黄橙色	外面煤付着	EE198
	94	4区 W24 大河跡	土師器	118	(78)			89	□4/12	Δ	Δ			ナデ	ハケ→ナデ	ハケ→ナデ	ナデ		10YR8/3 浅黄橙色	10YR8/4 浅黄橙色	外面煤付着 内面接合痕	EE197
	95	4区 W24 大河跡	土師器	108	(98)	144		72	□4/12	Δ	Δ			ナデ	ナデ・ハケ・ ケズリ	ナデ	ナデ		2.5Y8/4 淡黄色	2.5Y7/2 灰黄色	内面接合痕明瞭 内面指頭圧痕	EE147
	96	4区 W24 大河跡	土師器		(107)	150	20	52	底12/12	0	Δ		0		ナデ・ミガキ		ケズリ	ナデ	5YR7/3 にぶい橙色	7.5YR6/1 褐灰色	外面黒斑あり	EE148
	97	4区 W24 大河跡	土師器	158	(37)				□1/12		Δ			ナデ	ミガキ	ナデ・ミガキ	ナデ・ミガキ		2.5Y7/3 浅黄色	2.5Y7/3 浅黄色	突帯あり	SH175
	98	4区 W24 大河跡	土師器		(45)			156	頸4/12	0	Δ		Δ		ミガキ		ミガキ		7.5YR7/4 にぶい橙色	10YR8/2 灰白色	突帯上キザミ	SH177
	99	4区 W24 大河跡	土師器		(50)			140	頸1/12	0			0		ミガキ		ハケ→ミガキ		5YR7/2 明褐灰色	5YR7/2 明褐灰色	突帯上キザミ	SH174
	100	4区 W24 大河跡	土師器	210	(104)			146	口1/12 以下	Δ		Δ	Δ	ミガキ		ミガキ			7.5YR6/8 橙色	7.5YR6/8 橙色	口縁部突帯2対 内外面鉄分付着	SH142
	101	4区 W24 大河跡	土師器 壺	46	(37)				□12/12	Δ	Δ		Δ	ナデ	ナデ	ハケ	ナデ		2.5Y7/4 浅黄色	2.5Y6/1 黄灰色	突帯・キザミ	T168
	102	4区 W24 大河跡	土師器 壺	62	(79)			49	□6/12	Δ		Δ	Δ	ハケ	ナデ?	ナデ・ケズリ	ナデ		10YR1.7/1 黒色	10YR2/1 黒色	外面施漆 彩文土器か	SH138
	103	4区 W24 大河跡	土師器 杯状	90	28		40		□5/12	Δ			0	ナデ	ケズリ	ナデ	ナデ		10YR8/6 黄橙色	10YR8/6 黄橙色	杯状	EE194
	104	4区 W24 大河跡	土師器 高杯	80	(25)				□7/12	Δ	Δ	Δ	0	ナデ・ミガキ		ナデ・ミガキ			10YR8/3 浅黄橙色	10YR8/4 浅黄橙色		F180
	105	4区 W24 大河跡	土師器 高杯?		(30)		81	39	裾12/12	0			0		ハケ・ミガキ		ハケ・ナデ		7.5YR7/4 にぶい橙色	7.5YR7/4 にぶい橙色	外面黒斑あり	T284
	106	4区 W24 大河跡	土師器 高杯	150	(62)				□12/12	0	Δ			ケズリ→ナデ		ハケ・ナデ			10YR8/2 灰白色	7.5YR7/2 明褐灰色	外面黒斑あり	F182
	107	4区 W24 大河跡	土師器 高杯	147	(53)				□12/12	Δ	Δ		Δ	ナデ・ケズリ		ナデ・ハケ			2.5Y8/4 淡黄色	2.5Y7/3 浅黄色		F185
	108	4区 W24 大河跡	土師器 高杯	152	(50)				□12/12	0			$\triangle$	ハケ・ケズリ		ハケ・ナデ			2.5Y8/3 淡黄色	10YR8/2 灰白色	外面黒斑あり	F181
	109	4区 W24 大河跡	土師器 高杯	170	(60)				□5/12	0				ミガキ・ナデ		ハケ・ミガキ・ ナデ			2.5Y8/4 淡黄色	7.5YR4/2 灰褐色	外面黒斑あり	F179
	110	4区 W24 大河跡	土師器 高杯	144	(53)				□10/12	0	0		0	ハケ→ナデ		ナデ			10YR7/6 明黄褐色	7.5YR7/6 橙色		F183
	111	4区 W24 大河跡	土師器 高杯	147	(52)				□5/12	Δ	Δ		Δ	ナデ・ケズリ		ハケ・ナデ			2.5Y8/4 淡黄色	2.5Y7/4 浅黄色	外面黒斑あり	F177
	112	4区 W24 大河跡	土師器 高杯	146	(54)				□11/12	0	Δ		$\triangle$	ナデ・ミガキ		ハケ→ナデ			7/5YR7/3 にぶい橙色	10YR6/3 にぶい黄橙色	外面煤付着 二次被熱	F186
	113	4区 W24 大河跡	土師器 高杯	235	(65)				□3/12	0	Δ	0	0	ミガキ・ハケ・ ナデ		ハケ→ミガキ			10YR7/4 にぶい黄橙色	10YR7/3 にぶい黄橙色		F175
	114	4区 W24 大河跡	土師器 高杯	161	(51)				□9/12	0			0	ナデ・ミガキ		ハケ・ミガキ・ ナデ			10YR6/6 明黄褐色	10YR5/8 黄褐色	内外面黒斑あり	F178
14	115	4区 W24 大河跡	土師器 高杯	163	(59)				□5/12	0	Δ	Δ	0	ナデ・ミガキ		ナデ・ミガキ			2.5Y7/3 浅黄色	2.5Y7/4 浅黄色	外面黒斑あり	F184
	116	4区 W24 大河跡	弥生土器 高杯	276	(54)				□8/12	0				ハケ→ナデ ハケ→ミガキ		ミガキ→ナデ			7.5YR8/3 浅黄橙色	7.5YR8/3 浅黄橙色	外面黒斑あり	F176
	117	4区 W24 大河跡	土師器 高杯		(110)		128	33	裾6/12	0			0		ミガキ	ミガキ	ナデ・ハケ		2.5Y8/4 淡黄色	10YR8/4 浅黄橙色	透孔3	T274
	118	4区 W24 大河跡	土師器 高杯		(45)		96	32	裾11/12	$\triangle$	0		0		ミガキ・ナデ		ナデ		10YR6/6 明黄褐色	10YR7/4 にぶい黄橙色	内外面鉄分付着	T280
	119	4区 W24 大河跡	土師器 高杯		(50)		90	25	裾11/12	0	0		0		ミガキ	ミガキ	ハケ・ナデ		10YR8/3 浅黄橙色	10YR8/3 浅黄橙色	裾部工具痕	T281
	120	4区 W24 大河跡	土師器 高杯		(59)		96	32	裾9/12	0	0		0		ミガキ	ミガキ	ハケ・ナデ		10YR7/3 にぶい黄橙色	10YR7/3 にぶい黄橙色	内面工具痕	T282
	121	4区 W24 大河跡	土師器 高杯		(72)		130	41	裾4/12	0	0		$\triangle$		ミガキ・ナデ		ケズリ・ナデ		5YR5/6 明赤褐色	5YR5/6 明赤褐色	脚部外面工具痕	T278
	122	4区 W24 大河跡	土師器 高杯		(88)		124	44	裾12/12	0	Δ		Δ		ミガキ	ミガキ	ケズリ・ナデ・ ハケ		10YR7/4 にぶい黄橙色	10YR5/8 黄褐色	内外面黒斑あり	T277
	123	4区 W24 大河跡	土師器 高杯		(99)		126	36	裾3/12	Δ			0		ミガキ	ミガキ	ナデ		7.5YR6/4 にぶい橙色	7.5YR6/4 にぶい橙色	内面黒色土器 外面鉄分付着	T275
	124	4区 W24 大河跡	土師器 高杯	116	(82)			38	□2/12	Δ			0	ミガキ	ミガキ	ミガキ	ナデ		5YR7/6 橙色	5YR7/6 橙色	外面鉄分付着 脚部孔3	T276
	125	4区 W24 大河跡	土師器 台付鉢?		(51)		108	42	台6/12	0					ミガキ		ミガキ・ナデ・ ハケ		5YR4/2 灰褐色	5YR4/2 灰褐色	内外面鉄分付着	T279
	126	4区 W24 大河跡	土師器 器台	82	(44)			36	□3/12	0			$\triangle$	ミガキ	ミガキ	ハケ→ミガキ	ナデ・ハケ		10YR7/6 明黄褐色	5YR4/2 灰褐色	透孔3 孔径6.0mm	SH134
	127	4区 W24 大河跡	土師器 器台	88	(65)			37	□2/12	0			$\triangle$	ミガキ	ミガキ	ミガキ	ナデ		5YR6/6 橙色	5YR6/6 橙色	内外面赤彩 透孔1 孔径8.0mm	SH135
	128	4区 W24 大河跡	土師器 器台		(85)			40	頸12/12	$\triangle$		Δ	$\triangle$		ミガキ		ナデ		7.5YR8/6 浅黄橙色	7.5YR8/6 浅黄橙色	透孔3 孔径7.0mm 脚部櫛描直線文	эпізэ
	129	4区 W24 大河跡	土師器 器台		(103)		120	36	裾8/12	0		Δ	$\triangle$		ミガキ	ミガキ	ナデ		7.5YR8/6 浅黄橙色	7.5YR8/6 浅黄橙色	透孔3 孔径7.0mm 脚部突帯上キザミ 脚部沈線3条	SH129
	130	4区 W24 大河跡	土師器 器台		(75)		130	32	頸12/12 裾1/12	0			0		ミガキ		ナデ・ハケ		7.5YR7/6 橙色	7.5YR7/6 橙色	透孔2対3箇所 孔径9.0mm	SH132
	131	4区 W24 大河跡	土師器 器台?		(28)		118		裾1/12	0		$\triangle$	$\triangle$		ミガキ		ミガキ		2.5YR6/6 橙色	10R6/6 赤橙色	内外面赤彩 キザミ	SH172

第3表 土器・土製品観察表(3)

					ž	走量(mm	n)				胎	±	_			調整			色	調		et 704
図版	番号	遺構	器種	口径 長	器高幅	胴径 厚	底径 摘径	頸径 受径	遺存度	砂	骨	礫	赤	口縁外面	胴部外面	口縁内面	胴部内面	底部外面	外面	内面	備考	実測番号
14	132	4区 W24 大河跡	土師器 器台	104	98		114	36	口9/12 裾3/12	0		Δ	$\triangle$	ミガキ	ミガキ	ミガキ	ナデ		7.5YR5/2 灰褐色	7.5YR8/4 浅黄橙色	透孔3 孔径10.0mm	SH131
	133	4区 W24 大河跡	土師器 装飾器台		(43)			138	返1/12	Δ			Δ		ミガキ		ミガキ		10YR8/3 浅黄橙色	10YR8/2 灰白色	透孔	SH176
	134	4区 W24 大河跡	土師器 鼓形器台		(43)		140	78	裾2/12	0			0		ミガキ	ミガキ	ナデ・ケズリ		7.5YR8/3 浅黄橙色	5YR8/4 淡橙色	脚部内面墨帯	SH141
	135	4区 W24 大河跡	土師器 器台		(143)		156	40	裾7/12	0			Δ		ミガキ		ナデ		10YR8/4 浅黄橙色	7.5YR8/4 浅黄橙色	透孔4 孔径8.0mm 裾部沈線5条	SH130
15	136	4区 W24 大河跡	土師器 鉢?		(44)		36		底12/12	Δ		Δ	Δ		ミガキ		ミガキ	ナデ	7.5YR8/4 浅黄橙色	7.5YR8/3 浅黄橙色	外面煤付着	EE196
	137	4区 W24 大河跡	土師器 鉢	102	65		18	89	口6/12 底12/12	Δ	Δ		0	ハケ→ナデ	ハケ→ナデ	ナデ	ナデ	ハケ	2.5Y8/2 灰白色	2.5Y7/2 灰黄色	外面黒斑あり	EE146
	138	4区 W24 大河跡	土師器 鉢	158	65		(30)		口1/12 底9/12	0	Δ		0	ミガキ	ケズリ→ミガキ	ミガキ	ミガキ	ミガキ	10YR8/3 浅黄橙色	10YR8/3 浅黄橙色		T163
	139	4区 W24 大河跡	土師器 鉢	160	79		60		口1/12 底1/12	0		Δ	0	ナデ	ハケ・ナデ・ ケズリ	ハケ→ナデ	ナデ・ハケ	ケズリ	10YR8/3 浅黄橙色	7.5YR7/3 にぶい橙色		T160
	140	4区 W24 大河跡	土師器蓋		(39)		摘35	30	摘12/12	0	Δ		0		ミガキ	ミガキ	ナデ		7.5YR8/4 浅黄橙色	7.5YR4/2 灰褐色	外面黒斑あり 内面黒斑	T286
	141	4区 W24 大河跡	土師器蓋		(36)		摘41	36	摘12/12	0	0		Δ		ミガキ?	ミガキ?	ハケ→ナデ		10YR6/6 明黄褐色	2.5Y7/3 浅黄色	内外面鉄分付着	T285
	142	4区 W24 大河跡	土師器蓋	128	51		摘28	22	摘12/12 裾1/12	Δ			Δ		ミガキ		ミガキ?		10YR3/1 黒褐色	10YR3/1 黒褐色	内外面煤付着	SH136
	143	4区 W24 大河跡	土師器 蓋?	86	59		摘36	37	摘12/12 裾4/12	Δ	0		$\triangle$	ミガキ	ミガキ	ミガキ	ミガキ		10YR8/3 浅黄橙色	7.5YR8/2 灰白色	外面·裾裏赤彩 沈線·刺突文	T166
	144	4区 W24 大河跡	土師器 ミニチュア	49	59	56	3	32	完形	0			0	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	2.5Y7/3 浅黄色	2.5Y7/3 浅黄色	外面煤付着	EE143
	145	4区 W24 大河跡	土師器 ミニチュア	76	46		32		口3/12 底12/12	0			$\triangle$	ナデ	ナデ	ナデ	ケズリ→ナデ	ナデ	10YR8/3 浅黄橙色	10YR8/3 浅黄橙色		T155
	146	4区 W24 大河跡	土師器 小壺		(81)	78	4	54	底12/12	Δ	Δ		$\triangle$	ハケ	ハケ・ナデ・ ケズリ	ハケ	ケズリ	ケズリ・ナデ	2.5Y7/4 浅黄色	2.5Y7/2 灰黄色		EE142
	147	4区 W24 大河跡	手捏土器	43	44		36		口1/12 底12/12	Δ			$\triangle$	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	10YR7/6 明黄褐色	7.5YR7/2 明褐灰色	外面鉄分付着	T167
	148	4区 W24 大河跡	手捏土器	85	74		42		口1/12 底6/12	0			0	ハケ→ナデ	ハケ→ナデ	ナデ	ナデ	ケズリ?	10YR7/4 にぶい黄橙色	2.5Y7/4 浅黄色	口縁キザミ2箇所 外面鉄分付着	T156
	149	4区 W24 大河跡	土師器 有孔鉢		(33)		56		底12/12	0			0		ケズリ→ハケ		ミガキ?	ナデ	2.5Y5/2 暗灰黄色	2.5Y4/4 オリーブ褐色	孔径5.0mm 底外面から穿孔	T164
	150	4区 W24 大河跡	土師器 有孔鉢		(37)		28		底12/12	0			$\triangle$		ハケ		ハケ	ケズリ→ナデ	7.5YR7/4 にぶい橙色	2.5Y7/6 明黄褐色	孔径4.0mm 両面から穿孔	T165
	151	4区 W24 大河跡	土師器 椀?	80	(31)	88			□6/12	Δ			$\triangle$	ミガキ	ミガキ	ナデ	ナデ		7.5YR8/4 浅黄橙色	7.5YR8/4 浅黄橙色		EE195
	152	4区 W24 大河跡	土師器	94	57		24		口1/12 底12/12	0	Δ	Δ	Δ	ナデ	ハケ	ナデ	ミガキ	ハケ	10YR8/4 浅黄橙色	5YR5/6 明赤褐色	内面工具痕か	T161
	153	4区 W24 大河跡	土師器	118	72	140	25		底12/12	0	Δ		0	ハケ→ナデ	ハケ→ナデ	ハケ→ナデ	ハケ→ナデ	ハケ→ナデ	5YR7/6 橙色	5YR6/4 にぶい橙色	外面黒斑あり	EE145
	154	4区 W24 大河跡	土師器	158	(41)				□3/12	0	Δ		0	ナデ	ハケ	ナデ	ナデ		10YR7/6 明黄褐色	10YR7/6 明黄褐色	内外面鉄分付着	T162
	155	4区 W24 大河跡	土師器	118	52		10		□11/12	0	Δ	Δ	$\triangle$	ナデ	ハケ→ミガキ・ ケズリ	ミガキ	ミガキ	ケズリ	10YR6/4 にぶい黄橙色	10YR4/2 灰黄褐色	外面黒斑あり	SH160
	156	4区 W24 大河跡	土師器	126	49		30		□6/12	Δ	0		$\triangle$	ナデ	ハケ→ミガキ	ミガキ	ミガキ	ケズリ→ミガキ	2.5Y5/3 黄褐色	10YR5/3 にぶい黄褐色	内外面黒斑あり	T159
	157	4区 W24 大河跡	土師器	114	47		60		口6/12 底12/12	Δ	0			ナデ	ミガキ	ナデ	ハケ→ミガキ	ハケ→ミガキ	10YR7/2 にぶい黄褐色	7.5YR6/2 灰褐色	内外面黒斑あり	T158
	158	4区 W24 大河跡	土師器	90	12		62		口3/12 底2/12	Δ			0	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ヘラ切→ナデ	10YR6/3 にぶい黄橙色	10YR6/3 にぶい黄橙色		T180
	159	4区 W24 大河跡	土師器皿		(16)		52		底12/12	Δ	Δ		0		ナデ		ナデ	回転糸切	7.5YR7/2 明褐灰色	10YR7/3 にぶい黄橙色	外面黒斑あり	T178
	160	4区 W24 大河跡	椀		(17)		60		台12/12	$\triangle$			$\triangle$		ナデ		ミガキ	ナデ	2.5Y8/4 淡黄色	2.5Y3/1 黒褐色	内面黒色土器	T179
	161	4区 W24 大河跡	土師器		(23)		40		台6/12	$\triangle$			$\triangle$		ナデ		ナデ	回転糸切	10YR7/2 にぶい黄褐色	10YR7/2 にぶい黄褐色	柱状高台	T181
	162	4区 W24 大河跡	土師器		(28)		58		底9/12	$\triangle$			Δ		ケズリ→ナデ		ナデ	回転糸切	2.5Y7/2 灰黄色	2.5Y7/3 浅黄色	底部接合痕あり	T176
	163	4区 W24 大河跡	土師器		(26)		60		底6/12	Δ					ナデ		ナデ	回転糸切	2.5Y7/4 浅黄色	2.5Y7/4 浅黄色		T177
	164	4区 W24 大河跡	土師器 台付壺?		(32)		102		台6/12	0	0		$\triangle$		ナデ		ナデ	ナデ	2.5Y7/4 浅黄色	2.5Y7/4 浅黄色	脚内部指頭圧痕	T283
	165	4区 W24 大河跡	土師器 鉢?	118	64		32		口3/12 底12/12	0	Δ	Δ	$\triangle$	ハケ→ナデ	ハケ→ナデ	ハケ→ナデ	ハケ→ナデ	ナデ	10YR7/2 にぶい黄褐色	10YR8/3 浅黄橙色	高台三角形接合痕あり	T157
	166	4区 W24 大河跡	土錘	37	33	33			完形	0									10YR7/4 にぶい黄橙色		重33.6g 孔径9.0mm	T172
	167	4区 W24 大河跡	土錘	67	45	41			完形	0									2.5Y8/3 淡黄色		重103.3g 孔径12.0mm	T175
	168	4区 W24 大河跡	土錘	56	18	18			完形	0									10YR3/1 黒褐色		重15.8g 孔径5.0mm	T170
	169	4区 W24 大河跡 4区 W24	土錘	62	19	16			完形	0									7.5YR6/6 橙色 2.5Y7/4		重14.2g 孔径4.0mm	T169
	170	4区 W24 大河跡 4区 W24	土錘	46	17	15			完形	0			_						2.5 Y / / 4 浅黄色 7.5 Y R 7 / 3		重9.9g 孔径5.0mm 重51.3g	T171
	171	4区 W24 大河跡 4区 W24	土錘	58	38	37			完形	0			_						7.5YR7/3 にぶい橙色 10YR7/4		重51.3g 孔径13.0mm 重22.9g	T174
	172	4区 W24 大河跡 4区 W23	土錘 縄文土器	29	33	30			完形	0		_							10YR7/4 にぶい黄橙色 10YR6/6	10YR6/6	内外面鉄分付着 沈線文·三叉文	T173
16	173	大河跡	網文工 深 網文土器		(75)				破片	0		0							10YR6/6 明黄褐色 10YR6/2	10YR6/6 明黄褐色 10YR6/2	HK912pJ-7	
	174	4区 W23 4区 W23	深鉢		(33)				破片	0		0							DTR6/2 灰黄褐色 10YR6/6	灰黄褐色 10YR6/6	列点文 内外面鉄分付着	HK93
	175	4区 W23 大河跡	縄文土器 深鉢		(100)				□3/12	0		0							10YR6/6 明黄褐色	10YR6/6 明黄褐色	内外面鉄分付着 沈線文・三叉文 HK92と同一か	HK91

第3表 土器・土製品観察表(4)

					洼	大量 (mm	1)				胎	±				調整			色	調		T
図版	番号	遺構	器種	口径 長	器高幅	胴径 厚	底径 摘径	頸径 受径	遺存度	砂	骨	礫	赤	口縁外面	胴部外面	口縁内面	胴部内面	底部外面	外面	内面	備考	実測番号
16	176	4区 W23 大河跡	土師器 甕	203	(39)				□1/12	0	Δ	0		ナデ	ハケ	ナデ	ハケ		7.5YR6/8 橙色	10YR6/6 明黄褐色	口縁波状文	F174
	177	4区 W23 大河跡	土師器 甕	166	(57)			144	□2/12	0		Δ		擬凹線	ハケ	ナデ	ケズリ		2.5Y7/4 浅黄色	2.5Y7/3 浅黄色		T77
	178	4区 W23 大河跡	土師器 甕	178	(61)			152	□1/12	0			Δ	擬凹線	ナデ・ハケ	ナデ	ケズリ		10YR6/6 明黄褐色	10YR6/6 明黄褐色	擬凹線10条	T79
	179	4区 W23 大河跡	土師器 甕	178	(64)			146	□1/12	0		Δ	Δ	擬凹線	ナデ	ナデ	ハケ→ナデ・ ケズリ		10YR3/1 黒褐色	10YR8/4 浅黄橙色	擬凹線8条 外面煤付着	T78
	180	4区 W23 大河跡	土師器 甕	196	(53)			161	□1/12	0	Δ		0	擬凹線	ナデ	ナデ	ハケ→ナデ・ ケズリ		7.5YR7/6 橙色	7.5YR7/6 橙色	口縁内面指頭 圧痕	T76
	181	4区 W23 大河跡	土師器 甕?	84	116	117	18	72	完形	0			Δ	ミガキ	ミガキ	ミガキ	ナデ・ケズリ	ナデ	2.5Y7/4 浅黄色	10YR7/4 にぷい黄橙色	W23土器ダマリ 外面黒斑あり	SH159
	182	4区 W23 大河跡	土師器 甕	114	(53)			100	□1/12	Δ			Δ	ナデ	ナデ	ナデ	ハケ		2.5Y8/3 淡黄色	10YR8/3 浅黄橙色		T81
	183	4区 W23 大河跡	土師器 甕	116	(61)			102	口2/12 頸3/12	0			Δ	ナデ	ナデ・ハケ	ナデ	ナデ・ケズリ		10YR6/6 明黄褐色	7.5Y8/8 黄橙色	受口甕	E302
	184	4区 W23 大河跡	土師器	176	(56)			156	□3/12	0		0		ナデ	ハケ	ナデ	ケズリ		10YR3/1 黒褐色	10YR7/6 明黄褐色	外面煤付着	T80
	185	4区 W23 大河跡	土師器	184	(128)			160	□2/12	Δ		Δ	Δ	ナデ	ハケ	ナデ	ケズリ		2.5Y7/3 浅黄色	10YR7/4 にぶい黄橙色	内外面鉄分付着 外面煤付着	EE204
	186	4区 W23 大河跡	土師器	144	(69)			126	□4/12	Δ	Δ	Δ	Δ	ナデ	ナデ・ハケ	ハケ→ナデ	ケズリ		2.5Y3/1 黒褐色	2.5Y6/3 にぶい黄色	外面煤付着	Т93
	187	4区 W23 大河跡	土師器	160	(85)			134	□4/12	0	Δ	Δ	Δ	ナデ	ハケ	ハケ→ナデ	ナデ・ケズリ		10YR7/6 明黄褐色	10YR7/6 明黄褐色	内外面鉄分付着 外面煤付着	T94
17	188	4区 W23 大河跡	土師器	168	(118)	218		140	□2/12	0			Δ	ナデ	ハケ	ハケ→ナデ	ナデ・ケズリ		10YR7/4 にぶい黄橙色	2.5Y7/4 浅黄色	外面煤付着	T92
	189	4区 W23 大河跡	土師器	158	(85)			142	□1/12	0		Δ		ナデ	ハケ	ハケ→ナデ	ナデ		2.5Y4/3 オリーブ褐色	2.5Y6/1 黄灰色	外面:肩部櫛描列点文 口唇沈線2条 煤付着 内面:指頭圧痕	Т97
	190	4区 W23 大河跡	土師器	176	(89)			146	□4/12	0	Δ	Δ	0	ナデ	ハケ	ナデ	ケズリ		10YR6/6 明黄褐色	10YR6/6 明黄褐色	内外面鉄分付着 外面一部煤付着	
	191	4区 W23 大河跡	土師器	176	(104)			149	□2/12	0			Δ	ナデ	ハケ・ナデ	ナデ	ケズリ		2.5Y7/6 明黄褐色	5YR3/3 暗赤褐色	内外面鉄分付着	T96
	192	4区 W23 大河跡	土師器	154	(99)			126	□3/12	0			Δ	ナデ	ハケ	ナデ	ケズリ→ナデ		7.5YR7/6 橙色	10YR7/4 にぶい黄橙色		EE203
	193	4区 W23 大河跡	土師器	172	(167)	257		134	□6/12	0		0		ナデ	ハケ	ナデ	ケズリ		7.5YR7/8 黄橙色	7.5YR7/8 黄橙色	外面黒斑あり 外面煤付着	F88
	194	4区 W23 大河跡	土師器	174	(84)			143	□1/12	Δ				ナデ	ハケ	ナデ	ケズリ→ナデ		10YR5/8 黄褐色	10YR5/8 黄褐色		T90
	195	4区 W23 大河跡	土師器	138	(93)			124	□2/12	Δ			Δ	ナデ	ハケ	ナデ	ケズリ		10YR7/6 明黄褐色	10YR7/6 明黄褐色	内外面鉄分付着	EE202
	196	4区 W23 大河跡	土師器	172	(80)			145	□3/12	0			Δ	ナデ	ハケ	ハケ→ナデ	ケズリ		10YR6/3 にぶい黄橙色	10YR6/3 にぶい黄橙色		T88
	197	4区 W23 大河跡	土師器	168	(68)			150	□4/12	0	0		0	ナデ	ハケ	ナデ	ケズリ		10YR3/1 黒褐色	10YR6/4 にぶい黄橙色	外面煤付着	T87
	198	4区 W23 大河跡	土師器 甕	147	(136)	212		136	□6/12	Δ	Δ			ナデ	ハケ	ハケ?	ケズリ		2.5Y7/3 浅黄色	7.5YR7/2 明褐灰色	外面肩部沈線1条 ハケエ具刺突施文 外面煤付着	F77
18	199	4区 W23 大河跡	土師器	116	(103)	180		90	□2/12	0	0		0	ハケ	ケズリ	ハケ	ナデ		10YR6/6 明黄褐色	7.5YR5/1 褐灰色	外面煤付着	T85
	200	4区 W23 大河跡	土師器 甕	150	(82)			130	□3/12	0	Δ	$\triangle$	Δ	ハケ	ハケ	ハケ	ハケ→ナデ		10YR6/2 灰黄褐色	10YR6/2 灰黄褐色	外面煤付着	T89
	201	4区 W23 大河跡	土師器 甕	162	(55)			124	□5/12	0		$\triangle$	Δ	ナデ	ハケ	ナデ	ハケ→ナデ		2.5Y3/1 黒褐色	2.5Y6/3 にぶい黄色	外面煤付着	T82
	202	4区 W23 大河跡	土師器 甕	118	(85)	126		100	□3/12	0	0		Δ	ナデ	ハケ	ナデ	ナデ		2.5Y3/2 黒褐色	2.5Y6/3 にぶい黄色	外面煤付着	T84
	203	4区 W23 大河跡	土師器 甕	118	(136)	156		106	□6/12	Δ			Δ	ナデ	ハケ・ケズリ	ナデ	ハケ・ケズリ		2.5YR6/8 橙色	2.5GY3/1 暗オリーブ灰色	外面煤付着	EE192
	204	4区 W23 大河跡	土師器 甕	188	(66)			162	□3/12	0	Δ	Δ	Δ	ハケ→ナデ	ハケ	ハケ	ハケ		2.5Y3/1 黒褐色	2.5Y4/2 暗灰黄色	外面煤付着	T91
	205	4区 W23 大河跡	土師器 甕	183	(137)	238		160	□12/12	0			Δ	ナデ	ハケ	ナデ	ハケ		2.5Y6/4 にぶい黄色	2.5Y7/6 明黄褐色	内外面鉄分付着 外面煤付着	F78
	206	4区 W23 大河跡	土師器 甕	151	(238)	220		131	□5/12	0	Δ		0	ナデ	ハケ	ナデ・ハケ?	ハケ・ケズリ		10YR7/4 にぶい黄橙色	10YR6/2 灰黄褐色	外面煤付着 内面ヨゴレ	T138
	207	4区 W23 大河跡	土師器 甕	150	186	224		140	□3/12	0		$\triangle$		ナデ	ハケ	ナデ	ケズリ		2.5Y8/4 淡黄色	2.5Y7/3 浅黄色	外面一部煤付着	SH123
	208	4区 W23 大河跡	土師器 甕	148	(211)	251		135	□7/12	0	Δ	Δ		ナデ	ハケ・ミガキ	ナデ	ハケ・ケズリ		2.5Y3/1 黒褐色	2.5Y3/1 黒褐色	外面煤付着	F90
19	209	4区 W23 大河跡	土師器 甕	280	(137)			243	□3/12	0		Δ	0	ナデ	ハケ	ナデ	ケズリ		10YR7/6 明黄褐色	10YR7/6 明黄褐色	内外面鉄分付着 外面煤付着 外面櫛描波状文	F79
	210	4区 W23 大河跡	土師器 甕	168	(283)	256		138	□3/12	0		Δ	Δ	ナデ	ハケ・ケズリ	ハケ	ハケ		10YR3/1 黒褐色	10YR5/1 褐灰色	外面煤付着 内面鉄分付着	T137
	211	4区 W23 大河跡	土師器 甕		(50)		42		底12/12	0		Δ			ハケ		ケズリ	ハケ→ナデ	10YR7/8 黄橙色	10YR5/1 褐灰色	外面鉄分付着 内面黒斑あり	EE131
	212	4区 W23 大河跡	土師器 甕		(68)		80		底4/12	0		Δ	0		ハケ		ケズリ	ハケ→ナデ	10YR7/6 明黄褐色	7.5YR8/4 浅黄橙色	底部外面黒斑あり	EE133
	213	4区 W23 大河跡	土師器		(140)		50		胴12/12 底12/12	0		$\triangle$	Δ		ハケ・ケズリ		ケズリ	ハケ	5Y6/2 灰オリーブ色	10YR4/2 灰黄褐色	外面一部黒斑あり	Т99
	214	4区 W23 大河跡	土師器		(156)	220	26		胴5/12 底12/12	0		$\triangle$	Δ		ハケ・ナデ		ハケ→ナデ	ハケ・ナデ	2.5Y7/3 浅黄色	7.5YR3/3 暗褐色	外面煤付着 内面炭化物付着	
	215	4区 W23 大河跡	土師器 甕		(117)		18		底12/12	Δ	Δ				ハケ		ハケ	ハケ→ナデ	2.5Y7/4 浅黄色	10YR4/1 褐灰色	内外面鉄分付着 外面煤付着 内面ヨゴレ・コゲ	EE137
	216	4区 W23 大河跡	土師器		(190)	188	12	146	底12/12	0	0				ハケ		ハケ・ナデ	ハケ	2.5Y8/4 淡黄色	10YR8/6 黄橙色	外面黒斑あり 内面鉄分付着	EE138
20	217	4区 W23 大河跡	土師器 甕	146	(61)			141	□2/12	Δ	0		Δ	ナデ	ハケ	ハケ	ナデ		10YR4/2 灰黄褐色	19YR6/3 にぶい黄橙色	外面煤付着	T86
	218	4区 W23 大河跡	土師器 甕	176	(152)	230		160	□3/12	Δ	Δ	$\triangle$		ナデ	ハケ・ケズリ	ハケ	ケズリ・ハケ		2.5Y4/1 黄灰色	2.5Y4/1 黄灰色	内外面鉄分付着 粗製	F89

第3表 土器・土製品観察表(5)

					ž	去量 (mm	1)			Г	胎	±				調整			色	調		
図版	番号	遺構	器種	口径 長	器高幅	胴径 厚	底径 摘径	頸径 受径	遺存度	砂	骨	礫	赤	口縁外面	胴部外面	口縁内面	胴部内面	底部外面	外面	内面	備考	実測番号
20	220	4区 W23 大河跡	土師器 壺	180	(28)				□2/12	0			Δ	ナデ		ミガキ			2.5YR7/4 淡赤橙色	2.5YR7/4 淡赤橙色	装飾壺 赤彩 突帯3条 一部黒斑あり	SH119
	221	4区 W23 大河跡	土師器 壺	154	(24)				□2/12	0	Δ	0	Δ	ナデ・ミガキ		ナデ・ミガキ			10YR7/6 明黄褐色	2.5YR7/4 淡赤橙色	突帯2条1組 外面黒斑あり	F173
	222	4区 W23 大河跡	土師器 壺	138	(28)				□3/12	0		Δ	0	ナデ		ナデ			10YR6/6 明黄褐色	10YR8/4 浅黄橙色	外面鉄分付着 スタンプ文	F204
	223	4区 W23 大河跡	土師器 壺	175	(51)			100	口2/12 頸1/12	0		Δ	Δ	ハケ→ナデ		ハケ→ナデ			2.5Y7/4 浅黄色	2.5Y8/2 灰白色	外面赤彩	T192
	224	4区 W23 大河跡	土師器 壺	136	(77)			122	□11/12	0			Δ	ナデ	ナデ	ハケ→ナデ	ハケ→ナデ		10YR7/6 明黄褐色	10YR7/6 明黄褐色	内外面鉄分付着 内外面黒斑あり	SH116
	225	4区 W23 大河跡	土師器 壺	168	(62)			92	□6/12	0			Δ	ナデ	ナデ	ナデ	摩滅		10YR6/6 明黄褐色	7.5YR7/4 にぶい橙色	内外面鉄分付着 突帯・キザミ	SH115
	226	4区 W23 大河跡	土師器 壺	194	(106)			114	□2/12	0		Δ	Δ	ナデ	ミガキ	ナデ・ミガキ	ミガキ		10YR7/6 明黄褐色	2.5Y8/4 淡黄色	外面鉄分付着 浮文	SH114
	227	4区 W23 大河跡	弥生土器 壺?						破片	0	Δ				摩滅		ハケ		10YR6/8 明黄褐色	2.5Y4/1 黄灰色	櫛描波状文	SH121
	228	4区 W23 大河跡	弥生土器 壺?					94	破片	Δ		Δ		ナデ	摩滅	摩滅	摩滅		10YR6/8 明黄褐色	10YR6/8 明黄褐色	櫛描波状文 櫛描直線文	SH122
	229	4区 W23 大河跡	土師器	162	(133)			123	□2/12	0	Δ		Δ	ナデ	ハケ	ナデ	ケズリ		10YR8/2 灰白色	10YR6/1 褐灰色	内面鉄分付着 沈線文	SH112
	230	4区 W23 大河跡	土師器		(100)			100	頸2/12	0		Δ	Δ		ハケ		ハケ・ケズリ		10YR5/2 灰黄褐色	10YR6/1 褐灰色	沈線波状文	SH113
21	231	4区 W23 大河跡	土師器		(126)	140	20	68	底12/12	Δ	0	Δ		ミガキ	ハケ→ミガキ	ナデ	ハケ・ケズリ		5YR7/6 橙色	5YR4/1 褐灰色	外面黒斑あり 外面煤付着	EE188
	232	4区 W23 大河跡	土師器		(113)	140	14	68	底12/12	0		Δ		ナデ	ナデ・ケズリ	ハケ	ケズリ		2.5YR6/6 橙色	2.5YR4/1 赤灰色	外面煤付着	EE187
	233	4区 W23 大河跡	土師器		(111)	142	52	67	底12/12	0				ハケ→ナデ	ハケ→ナデ	ナデ	ハケ		2.5Y8/4 淡黄色	2.5Y6/3 にぶい黄色	外面鉄分付着	EE186
	234	4区 W23 大河跡	土師器		(104)	146	20	55	底12/12	0			0		ハケ・ミガキ		ナデ・ハケ	ハケ→ミガキ	7.5YR8/4 浅黄橙色	7.5YR8/4 浅黄橙色	外面黒斑・煤付着 内面ヨゴレ	EE135
	235	4区 W23 大河跡	土師器		(86)	134	24		底12/12	0	0		0		摩滅		ハケ→ナデ?	摩滅	7.5YR6/2 灰褐色	2.5Y5/1 黄灰色	外面鉄分付着	EE136
	236	4区 W23 大河跡	土師器		(104)	144	9	47	底12/12	0	Δ		0		ハケ・ミガキ		ナデ・ハケ	ハケ	2.5Y7/6 明黄褐色	2.5Y6/2 灰黄色	外面黒斑あり 接合痕明瞭	EE134
	237	4区 W23 大河跡	土師器	86	153	150	10	72	完形	Δ			0	ハケ・ナデ・ ミガキ	ハケ・ミガキ	ナデ	ケズリ	ハケ・ミガキ	7.5YR8/6 浅黄橙色	7.5YR8/6 浅黄橙色	外面黒斑あり	EE193
	238	4区 W23 大河跡	土師器		(44)			78	頸5/12	Δ	Δ		Δ		ミガキ		ミガキ・ナデ		10R4/4 赤褐色	10YR5/2 灰黄褐色	外面赤彩	T196
	239	4区 W23 大河跡	土師器		(55)	120		100	胴1/12	Δ				ミガキ	ミガキ	ミガキ	ハケ→ナデ		5YR2/3 極暗赤褐色	2.5Y7/4 浅黄色	外面赤彩 口縁内面赤彩	T191
	240	4区 W23 大河跡	土師器無頸壺	120	(35)				□1/12	0				ナデ		ナデ			10YR5/6 黄褐色	10YR7/8 黄橙色	内外面鉄分付着 孔1 孔径3.0mm	T244
	241	4区 W23 大河跡	土師器		(39)	137			胴2/12	Δ			Δ		ミガキ		ケズリ→ナデ		2.5YR5/6 明赤褐色	2.5Y5/1 黄灰色	外面赤彩	T194
	242	4区 W23 大河跡	土師器 壺?		(50)		42		底12/12	0			0		ハケ・ナデ		ナデ	ナデ	2.5Y7/6 明黄褐色	10YR8/4 浅黄橙色	内外面鉄分付着 外面黒斑あり	EE132
	243	4区 W23 大河跡	土師器 台付壺?		(79)		130		台5/12	0			Δ		ハケ・ナデ・ ケズリ		ハケ・ナデ		10YR7/8 黄橙色	2.5Y8/4 淡黄色	7124	SH165
	244	4区 W23 大河跡	土師器ミニチュア		(37)	51	22	33	頸1/12 底12/12	0	0	Δ	Δ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	7.5YR6/8 橙色	7.5YR5/1 褐灰色	壺形 外面鉄分付着	T242
	245	4区 W23 大河跡	土師器ミニチュア	34	(39)			30	□4/12	Δ	Г			ミガキ	ミガキ	ナデ	ナデ・ハケ		10YR7/8 黄橙色	10YR6/2 灰黄褐色	台付無頸壺 外面赤彩	T237
	246	4区 W23 大河跡	土師器 ミニチュア		(29)		24		底9/12	Δ	Г	Δ			ミガキ			ナデ	10YR7/8 黄橙色	10YR7/8 黄橙色	甑形 内外面鉄分付着	SH169
	247	4区 W23 大河跡	手捏土器	42	34		33		完形	0	0	Δ	Δ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	2.5Y7/4 浅黄色	10YR6/3 にぶい黄橙色	外面黒斑あり	T238
	248	4区 W23 大河跡	手捏土器	41	29		31		口10/12 底12/12	0	0		0	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	10YR6/6 明黄褐色	2.5Y7/4 浅黄色	外面黒斑あり	T240
	249	4区 W23 大河跡	手捏土器	37	29		9		口1/12 底12/12	Δ			Δ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	10YR3/1 黒褐色	10YR5/1 褐灰色		T243
	250	4区 W23 大河跡	手捏土器	44	36		32		口10/12 底12/12	Δ			Δ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	2.5Y7/4 浅黄色	2.5Y7/4 浅黄色		T241
	251	4区 W23 大河跡	手捏土器	48	35		32		口9/12 底12/12	0	0		Δ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	10YR7/6 明黄褐色	2.5Y6/3 にぶい黄色	外面鉄分付着 内外面黒斑あり	T239
	252	4区 W23 大河跡	手捏土器	45	66	64	44		口10/12 底12/12	Δ			0	ハケ→ナデ	ハケ→ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	2.5Y6/2 灰黄色	2.5Y7/3 浅黄色	外面鉄分付着 外面黒斑あり	T256
	253	4区 W23 大河跡	土師器 鉢		(61)	159	30		底12/12	0			Δ		ミガキ?		ミガキ?		2.5Y7/4 浅黄色	2.5Y7/4 浅黄色	顔料容器か 外面黒斑あり	T193
	254	4区 W23 大河跡	土師器碗	138	53		80		□1/12	0	Δ			ナデ	ミガキ	ミガキ	ミガキ	ミガキ	2.5Y3/1 黒褐色	2.5Y3/1 黒褐色	内面黒色土器か 外面黒斑あり	SH120
	255	4区 W23 大河跡	土師器蓋	160	68		摘40	27	□1/12	0				ミガキ	ミガキ	ミガキ	ミガキ		5YR4/8 赤褐色	7.5YR5/6 明褐色	内外面鉄分付着	SH117
	256	4区 W23 大河跡	土錘	56	37	37			完形	Δ	Г	Δ							2.5Y7/3 浅黄色		重55.9g 孔径13.0mm	EE208
	257	4区 W23 大河跡	土錘	26	29	26			完形	Δ	Δ								10YR6/3 にぶい黄橙色		黒斑あり	T400
	258	4区 W23 大河跡	土錘	53	15	16			完形	Δ	0								2.5Y4/1 黄灰色		重10.9g 孔径4.0mm	EE209
	259	4区 W23 大河跡	土錘	59	16	15			完形	Δ									2.5Y6/3 にぶい黄色		重11.1g 孔径5.0mm	EE210
	260	4区 W23 大河跡	土錘	(48)	17	18			欠損	Δ									2.RY5/1 黄灰色		重12.2g 孔径3.0mm	EE211
	261	4区 W23 大河跡	土錘	33	37	36			完形	Δ									7.5YR4/4 褐色		内外面鉄分付着 重37.5g 孔径7.0mm	EE206
	262	4区 W23 大河跡	土錘	41	39	37			完形	Δ	Δ	Δ							2.5Y6/4 にぶい黄色		重50.1g 孔径5.0mm	EE207
22	263	4区 W23 大河跡	土師器	62	59	80	16	50	完形	0		0	Δ	ハケ→ナデ	ハケ→ナデ	ハケ→ナデ	ハケ・ナデ	ハケ→ナデ	10YR8/3 浅黄橙色	7.5YR8/4 浅黄橙色	接合痕あり	T254
		八門聊	,1,2E								$\Box$		L	l	l	1		l	/太京恒巴	/人页钮巴		

第3表 土器・土製品観察表(6)

					ž	去量 (mm	1)				胎:					調整			色	.調		
図版	番号	遺構	器種	口径 長	器高幅	胴径 厚	底径 摘径	頸径 受径	遺存度	砂	骨	礫	赤	口縁外面	胴部外面	口縁内面	胴部内面	底部外面	外面	内面	備考	実測 番号
22	264	4区 W23 大河跡	土師器 小壺	80	84	87	23	66	口11/12 底12/12	0	0		Δ	ハケ→ナデ	ハケ→ナデ	ハケ→ナデ	ナデ	ハケ→ナデ	2.5Y7/3 浅黄色	10YR7/2 にぶい黄褐色	W23土器ダマリ 接合痕明瞭	T255
	265	4区 W23 大河跡	土師器 小壺	87	80	81	30	65	口11/12 底12/12	0	0		0	ハケ・ナデ	ナデ・ケズリ	ハケ・ナデ	ナデ	ナデ	2.5Y7/6 明黄褐色	2.5Y5/2 暗灰黄色	外面鉄分付着 内外面黒斑あり	T251
	266	4区 W23 大河跡	土師器 小壺	82	97	90	11	53	完形	Δ	Δ		Δ	ナデ	ナデ	ハケ・ナデ	ハケ・ナデ	ナデ	2.5Y7/4 浅黄色	2.5Y7/2 灰黄色	外面鉄分付着 内外面黒斑あり 接合痕明瞭	T248
	267	4区 W23 大河跡	土師器 小壺	72	91	93	12	54	口7/12 底12/12	Δ			0	ハケ→ナデ	ハケ→ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	2.5Y8/4 淡黄色	2.5Y7/2 灰黄色	W23土器ダマリ 外面鉄分付着 接合痕明瞭	T252
	268	4区 W23 大河跡	土師器 小壺	100	89	90	10	69	口6/12 底12/12	0	0		Δ	ナデ・ミガキ	ハケ・ケズリ・ ナデ	ハケ	ケズリ・ナデ	ケズリ・ナデ	2.5Y8/3 淡黄色	10YR8/3 浅黄橙色	外面鉄分付着	T245
	269	4区 W23 大河跡	土師器 小壺	83	101	94	16	57	口6/12 底12/12	Δ	0	Δ	Δ	ハケ→ナデ	ハケ→ナデ	ハケ→ナデ	ナデ	ハケ→ナデ	10YR5/1 褐灰色	10YR6/2 灰黄褐色	外面黒斑あり 内面に付着物	T246
	270	4区 W23 大河跡	土師器 小壺	81	91	94	11	59	完形	0			Δ	ナデ	ナデ・ハケ	ナデ	ナデ	ハケ・ナデ	2.5Y8/3 淡黄色	2.5Y8/3 淡黄色	内外面鉄分付着 外面に線刻集中点 外面黒斑あり	T249
	271	4区 W23 大河跡	土師器 小壺	77	65	69	20	54	完形	0	0		0	ミガキ	ハケ・ミガキ・ ケズリ	ナデ	ナデ	ナデ	7.5YR8/4 浅黄橙色	10YR7/2 にぶい黄褐色	内面接合痕明瞭	T253
	272	4区 W23 大河跡	土師器 小壺	58	69	71	10	51	口10/12 底12/12	0	0	Δ	0	ミガキ	ミガキ・ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	10YR7/6 明黄褐色	5Y7/2 灰白色	外面鉄分付着 外面黒斑あり	T257
	273	4区 W23 大河跡	土師器 小壺		(40)	74	30	62	底12/12	Δ			Δ		ナデ・ハケ		ハケ→ナデ	ハケ	10YR6/6 明黄褐色	10YR8/1 灰白色	外面鉄分付着 内外面黒斑あり	T236
	274	4区 W23 大河跡	土師器 小壺	94	68	67	18	62	口6/12 底12/12	0			0	ナデ	ナデ	ハケ・ナデ	ナデ	ナデ	10YR8/4 浅黄橙色	10YR8/4 浅黄橙色	接合痕明瞭	T247
	275	4区 W23 大河跡	土師器 小壺	70	79	94	19	68	口7/12 底12/12	0	0		0	ハケ→ナデ	ハケ→ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	10YR8/3 浅黄橙色	10YR5/1 褐灰色		T250
	276	4区 W23 大河跡	土師器 高杯	138	(60)				□10/12				0	ハケ→ナデ		ナデ			10YR7/4 にぶい黄橙色	10YR8/4 浅黄橙色	外面黒斑あり 接合痕明瞭	F101
	277	4区 W23 大河跡	土師器 高杯	166	(63)				□6/12	Δ	Δ		Δ	ナデ・ケズリ		ハケ→ナデ			10YR4/1 褐灰色	10YR6/3 にぶい黄橙色	外面黒斑あり 外面煤付着	F99
	278	4区 W23 大河跡	土師器 高杯	154	(62)				□11/12	Δ	Δ	Δ		ナデ・ケズリ		ナデ			10YR6/6 明黄褐色	10YR7/3 にぶい黄橙色	外面黒斑あり	F91
	279	4区 W23 大河跡	土師器 高杯	179	(76)			31	□2/12	Δ	0	Δ	0	ケズリ→ミガキ		ミガキ			2.5Y7/4 浅黄色	2.5Y7/4 浅黄色	外面黒斑あり 内面剥離顕著	F95
	280	4区 W23 大河跡	土師器 高杯		(84)		120		裾6/12	Δ	Δ				ナデ・ハケ		ケズリ・ハケ・ナデ		10YR6/8 明黄褐色	10YR6/8 明黄褐色	内外面鉄分付着	EE219
	281	4区 W23 大河跡	土師器高杯		(75)		112	29	裾12/12	Δ					ミガキ		ケズリ・ハケ		7.5YR7/8 黄橙色	7.5YR7/8 黄橙色	内外面鉄分付着	EE248
	282	4区 W23 大河跡	土師器高杯		(75)		136	34	裾10/12	0	0		Δ		ミガキ・ ハケ→ナデ		ケズリ・ ハケ→ナデ		10YR7/4 にぶい黄橙色	10YR7/4 にぶい黄橙色	外面煤付着	EE249
	283	4区 W23 大河跡	土師器高杯		(89)		110	30	裾2/12	0	Δ		Δ	ミガキ	ナデ・ミガキ	ミガキ	ハケ→ナデ		2.5Y8/4 淡黄色	5Y4/1 灰色	外面黒斑あり	EE190
	284	4区 W23 大河跡	土師器高杯		(97)		130	36	裾9/12	Δ	0		Δ	ミガキ	ミガキ	ミガキ	ケズリ・ナデ		10YR7/6 明黄褐色	7.5YR6/8 橙色	裾部内外黒斑1	T135
	285	4区 W23 大河跡	土師器高杯		(84)		120		裾6/12	Δ					ミガキ・ナデ		ケズリ・ナデ		10YR7/8 黄橙色	10YR7/8 黄橙色	内外面鉄分付着	EE218
23	286	4区 W23 大河跡	土師器	155	(62)				□12/12	0			0	ハケ・ナデ		ハケ→ナデ			10YR7/6 明黄褐色	10YR7/6 明黄褐色		F98
	287	4区 W23 大河跡	土師器高杯	246	(48)				□1/12	Δ	Δ		Δ	ミガキ		ミガキ			7.5Y3/4 暗赤色	7.5Y4/6 赤色	内外面赤彩	T200
	288	4区 W23 大河跡	土師器高杯	153	(63)			35	□10/12	0	Δ	0	0	ナデ・ケズリ・		ミガキ			7.5YR7/6 橙色	7.5YR7/6 橙色	内面剥離顕著	F93
	289	4区 W23 大河跡	土師器高杯	228	(62)				□3/12	0	0		0	ハケ→ミガキ		ミガキ			7.5YR7/6 橙色	10YR4/1 褐灰色	内面黒斑	EE205
	290	4区 W23 大河跡	土師器高杯	171	(73)				□4/12	Δ	Δ		Δ	ミガキ		ハケ・ミガキ			10YR7/6 明黄褐色	10YR7/4 にぶい黄橙色	内外面黒斑あり	F97
	291	4区 W23 大河跡	土師器 高杯	170	(67)				□2/12	Δ			0	ミガキ		ミガキ			2.5YR7/6 橙色	2.5YR6/6 橙色		F96
	292	4区 W23 大河跡	土師器 高杯	160	(57)				□6/12	Δ	Δ		0	ハケ→ナデ		ナデ			10YR6/6 明黄褐色	10YR7/3 にぶい黄橙色	外面鉄分付着 外面黒斑あり	F100
	293	4区 W23 大河跡	土師器 高杯	145	(55)				□10/12	Δ	Δ		Δ	ナデ・ケズリ・		ハケ→ナデ・ ミガキ			2.5Y7/6 明黄褐色	10YR6/3 にぶい黄橙色	外面黒斑あり 外面一部煤付着	F92
	294	4区 W23 大河跡	土師器 高杯		(52)			88	受12/12	0	Δ	Δ	Δ	ミガキ		ハケ			2.5Y7/6 明黄褐色	2.5YR4/8 赤褐色	外面黒斑あり 内面赤彩	T195
	295	4区 W23 大河跡	土師器 高杯		(94)		118	32	裾12/12				0	ミガキ?	ミガキ?	ミガキ	ケズリ		5YR7/8 橙色	5YR7/8 橙色	外面鉄分付着	EE247
	296	4区 W23 大河跡	土師器 高杯		(95)		120		裾9/12	0			Δ		ハケ→ミガキ・ ナデ		ケズリ・ナデ		10YR7/6 明黄褐色	10YR6/8 明黄褐色	内外面鉄分付着	EE216
	297	4区 W23 大河跡	土師器 高杯		(75)		136		裾12/12	Δ					ミガキ・ハケ・ ナデ		ケズリ・ ハケ→ナデ		10YR6/6 明黄褐色	10YR8/3 浅黄橙色	外面鉄分付着 裾に黒斑あり	EE246
	298	4区 W23 大河跡	土師器 高杯	162	(104)			31	□11/12	Δ		Δ	Δ	ナデ	ナデ	ミガキ→ハケ	ケズリ・ハケ		7.5YR8/4 浅黄橙色	7.5YR8/4 浅黄橙色	杯部内面ハケ装飾 脚部内面線刻2条 外面黒斑あり	F80
	299	4区 W23 大河跡	土師器 高杯		(132)		132		裾4/12	Δ	Δ				ハケ→ナデ		ハケ→ナデ		10YR6/2 灰黄褐色	10YR6/8 明黄褐色	内外面鉄分付着	EE220
	300	4区 W23 大河跡	土師器 高杯		(65)			38	頸12/12	Δ	Δ			ミガキ	ミガキ	ミガキ	ケズリ・ハケ		5YR8/4 淡橙色	5YR7/6 橙色	透孔縦2対3箇所 孔径13.0mm	EE191
	301	4区 W23 大河跡	土師器 台付鉢	134	(83)			35	□7/12	0	0		0	ナデ	ハケ・ミガキ・ ケズリ	ナデ	ミガキ		10YR7/4 にぶい黄橙色	10YR7/4	外面黒斑あり 内面ミガキ放射状	F94
	302	4区 W23 大河跡	土師器 台付鉢	137	118		102	29	口10/12 台9/12	0	Δ	Δ	Δ	ハケ→ミガキ	ハケ→ミガキ	ミガキ	ナデ		10YR7/6 明黄褐色	10YR7/4 にぶい黄橙色	内外面黒斑あり	SH162
	303	4区 W23 大河跡	土師器器台	88	(63)			36	□12/12	0	Δ		Δ	ミガキ	ハケ→ミガキ	ミガキ	ケズリ→ハケ		7.5YR7/6 橙色	10YR7/3 にぶい黄橙色	透孔3 孔径6.0mm	EE189
	304	4区 W23 大河跡	土師器 器台		(63)			32	頸6/12	0		Δ			ハケ・ナデ		ナデ		2.5Y7/3 浅黄色	10YR8/2 灰白色	櫛描直線文 2条 外面黒斑あり	SH166
	305	4区 W23 大河跡	土師器 器台?		(78)		128		裾10/12	Δ					ハケ→ミガキ		ケズリ・ナデ		10YR4/4 褐色	10YR4/4 褐色	裾部内面煤付着	EE217
	306	4区 W23 大河跡	土師器 器台?		(89)		114		裾12/12	Δ	0				ハケ→ミガキ		ケズリ・ナデ		2.5Y7/3 浅黄色	2.5Y7/3 浅黄色	内外面黒斑あり	EE245
24	307	4区 W23 大河跡	土師器 器台		(81)			45	頸12/12	0		Δ	Δ		ミガキ		ナデ・ハケ		10YR7/8 黄橙色	10YR7/8 黄橙色	透孔2対3箇所 孔径5.0mm 突帯 内外面鉄分付着	SH167
										_	ш		_		L						内外面鉄分付着	

第3表 土器・土製品観察表 (7)

					ž	去量 (mm	1)				胎					調整			色	調		
図版	番号	遺構	器種	口径 長	器高幅	胴径 厚	底径 摘径	頸径 受径	遺存度	砂	骨	礫	赤	口縁外面	胴部外面	口縁内面	胴部内面	底部外面	外面	内面	備考	実測 番号
24	308	4区 W23 大河跡	土師器 器台		(81)			33	頸12/12	Δ					ミガキ		ナデ・ハケ		10YR3/4 暗褐色	10YR4/6 褐色	透孔2対2箇所 孔径3.0mm キザミ 内外面鉄分付着	SH168
	309	4区 W23 大河跡	土師器 装飾器台		(39)			148	受3/12	Δ			0	ミガキ		ミガキ			10YR6/8 明黄褐色	10YR6/8 明黄褐色	内外面鉄分付着  透かしあり  受部孔1 孔径3.0mm	IF205
	310	4区 W23 大河跡	土師器 鼓形器台	172	(65)			88	□2/12	0			Δ	ナデ	ナデ	ケズリ→ナデ	ケズリ→ナデ		2.5Y8/3 淡黄色	10YR8/2 灰白色	外面黒斑あり	SH118
	311	4区 W23 大河跡	須恵器 횮		(51)				体部片	0				ロクロナデ	ロクロナデ	ロクロナデ	ロクロナデ	ケズリ	10YR2/1 黒色	2.5Y7/2 灰黄色	外面波状文 内面降灰	T197
	312	4区 W23 大河跡	土師器 椀?		(12)		56		底4/12	Δ					ケズリ→ナデ		ナデ	ヘラ切→ナデ	2.5Y8/4 淡黄色	2.5Y8/4 淡黄色	外面工具痕	T189
	313	4区 W23 大河跡	土師器 椀?		(23)		57		台11/12	0			0		ナデ		ナデ	ヘラオコシ	2.5Y7/4 浅黄色	2.5Y7/4 浅黄色	摩滅	T183
	314	4区 W23 大河跡	土師器 椀		(22)		44		台6/12	Δ			$\triangle$		ナデ		ミガキ	ナデ	2.5Y7/3 浅黄色	2.5Y2/1 黒色	内面黒色土器	T184
	315	4区 W23 大河跡	土師器 椀		(25)		56		底12/12	Δ	Δ		0		ナデ		ナデ	回転糸切	7.5Y7/6 橙色	7.5Y7/6 橙色	底面工具痕	T188
	316	4区 W23 大河跡	土師器 椀		(23)		62		底12/12	Δ			Δ		ナデ		ナデ	回転糸切	2.5Y7/4 浅黄色	2.5Y7/4 浅黄色	底面工具痕	T185
	317	4区 W23 大河跡	土師器 椀		(26)		42		台5/12	0	Δ		Δ		ナデ		ナデ	回転糸切	2.5Y8/4 淡黄色	2.5Y8/4 淡黄色	柱状高台 底部内面凹み	T186
	318	4区 W23 大河跡	土師器 椀		(23)		60		台11/12	Δ			$\triangle$		ミガキ		ミガキ	ナデ	10YR6/6 明黄褐色	10YR2/1 黒色	内面黑色土器 外面鉄分付着	T187
	319	4区 W23 大河跡	土師器 椀	111	43		46		完形	0				ナデ	ミガキ・ナデ	ミガキ	ミガキ	ナデ	10YR7/3 にぶい黄橙色	10YR2/1 黒色	内面黒色土器	T136
	320	4区 W23 大河跡	土師器 鉢	148	70		34		口1/12 底2/12	Δ	Δ		Δ	ケズリ→ナデ	ハケ→ナデ	ナデ	ミガキ	ハケ→ナデ	2.5Y7/4 浅黄色	2.5Y3/2 黒褐色	内面黒色土器 暗文かあり	T190
	321	4区 W23 大河跡	土師器	82	22		40		口4/12 底11/12	Δ	Δ		0	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	回転糸切	7.5YR7/3 にぶい橙色	7.5YR7/3 にぶい橙色		T182
	322	4区 W23 大河跡	白磁碗	154	(20)				口1/12 以下										5Y8/2 灰白色	5Y8/2 灰白色		T199
	323	4区 W23 大河跡	白磁碗	166	(32)				□1/12										7.5Y8/1 灰白色	7.5Y8/1 灰白色	Panion to	T198
	324	4区 W22 大河跡	土師器	180	(40)			142	□1/12	0		0		擬凹線		ナデ			10YR2/1 黒色	2.5Y8/3 淡黄色	擬凹線7条 口縁内面指頭圧痕 外面煤付着	HK25
	325	4区 W22 大河跡	土師器 甕?	174	(50)			118	□2/12	0	Δ	0		波状文		ナデ			7.5YR8/3 浅黄橙色	10YR7/4 にぶい黄橙色	口縁部波状文 口縁下端キザミ	HK23
	326	4区 W22 大河跡	土師器	134	(207)	228		118	□12/12	0		0		ナデ	ハケ・ナデ	ナデ	ナデ・ハケ・ ケズリ		10YR8/4 浅黄橙色	10YR7/2 にぷい黄褐色	外面ヨゴレ・コゲ	F83
	327	4区 W22 大河跡	土師器	178	(66)			120	□3/12	0			Δ	ナデ	ハケ→ミガキ	ミガキ	ハケ		7.5YR6/8 橙色	10YR7/6 明黄褐色	内外面鉄分付着	SH111
	328	4区 W 大河跡	土師器	220	(84)			134	□4/12	0		Δ		ナデ・ミガキ	ナデ・ミガキ	ミガキ	ナデ		10YR8/8 黄褐色	10YR1.7/1 黒色	内外面施漆か 外面鉄分付着 頭部内面指頭圧痕	F86
25	329	4区 X24 大河跡	土師器蓋	58	26		摘23	23	摘12/12 裾10/12	$\triangle$		Δ	Δ	ミガキ	ミガキ	ミガキ	ケズリ→ミガキ		5YR6/4 にぶい橙色	7.5YR8/3 浅黄橙色	外面:擬凹線12条	SH46
	330	4区 X22 大河跡	土師器	352	(127)			298	□4/12	0		Δ	0	擬凹線	ハケ	ナデ	ケズリ		2.5Y8/4 淡黄色	2.5Y8/4 淡黄色	頸部工具痕 煤付着 内面:口縁指頭圧痕	T261
	331	4区 X22 大河跡	土師器 甕?	130	(53)			105	□6/12	Δ	0		0	ミガキ	ミガキ	ミガキ	ハケ・ミガキ		10YR7/4 にぶい黄橙色	10YR4/1 褐灰色	外面煤付着 接合痕	T258
	332	4区 X22 大河跡	土師器 甕?	132	(52)			116	□11/12	0	0	Δ	Δ	ハケ	ナデ	ハケ	ナデ		7.5YR8/6 浅黄橙色	7.5YR7/2 明褐灰色	接合痕明瞭	T259
	333	4区 X22 大河跡	土師器	162	(226)	219		134	□6/12	0				ナデ	ハケ・ミガキ	ナデ	ナデ・ハケ		10YR8/4 浅黄橙色	10YR6/3 にぶい黄橙色	接合痕明瞭外面煤付着	SH163
	334	4区 X22 大河跡	土師器 甕?	154	(111)	186		148	□6/12	0		Δ	Δ	ナデ・ハケ	ハケ	ハケ・ナデ	ナデ		10YR6/6 明黄褐色	7.5YR7/6 橙色	外面黒斑あり	SH164
	335	4区 X22 大河跡	土錘	87	51	49			完形	0		0	$\triangle$						10YR6/6 明黄褐色		重170.0g 孔径17.0mm	F192
	336	4区 X22 大河跡	土師器蓋	112	59		摘30	28	摘12/12 裾8/12	0	Δ	Δ	Δ	ミガキ	ミガキ	ケズリ	ハケ		2.5Y8/4 淡黄色	10YR8/2 灰白色	高杯を蓋に転用 外面黒斑あり	F157
	337	4区 X22 大河跡	土師器	84	(82)			62	□4/12	Δ			$\triangle$	ハケ・ナデ	ケズリ・ミガキ	ハケ・ナデ	ケズリ・ナデ		10YR7/6 明黄褐色	10YR6/2 灰黄褐色	内面接合痕	F158
	338	4区 X22 大河跡	土師器高杯?	123	(44)				□3/12	0		Δ	Δ	ミガキ?		ミガキ			7.5YR6/6 橙色	10YR8/4 浅黄橙色	外面鉄分付着須恵器坏の写か	F164
	339	4区 X22 大河跡	土師器器台	90	86		132	36	口6/12 裾2/12	$\triangle$			Δ	ミガキ	ミガキ	ミガキ	ケズリ・ハケ	ミガキ	7.5YR6/8 橙色	7.5YR7/8 黄橙色	内外面鉄分付着透孔4	LLZ40
	340	4区 X22 大河跡	土師器 高杯		(85)		146	33	裾12/12	Δ					ハケ→ナデ		ハケ・ナデ	ハケ→ナデ	7.5YR5/6 明褐色	7.5YR5/6 明褐色	内外面鉄分付着黒斑あり	EE244
	341	4区 X22 大河跡	土師器	140	48		8		完形	Δ	Δ		Δ	ナデ	ハケ・ミガキ	ナデ	ミガキ	ミガキ	10YR6/3 にぶい黄橙色	10YR7/6 明黄褐色	外面黒斑あり	SH161
	342	4区 X22 大河跡	土師器	128	58		20		口4/12 底5/12	Δ	Δ		0	ナデ	ミガキ・ケズリ	ナデ	ミガキ	ナデ	7.5YR5/4 にぶい褐色	にぶい褐色	外面黒斑あり 内面工具痕あり	F160
	343	4区 X22 大河跡	土師器	146	55		10		口4/12 底12/12	0	0		0	ナデ	ミガキ・ケズリ	ナデ	ミガキ	ミガキ	5YR6/8 橙色	5YR6/8 橙色	内面黒斑あり	F162
	344	4区 W·X22 大河跡	土師器装飾壺	146	(44)			89	□12/12	0	Δ		0	ナデ?		ナデ?			10YR7/8 黄橙色	10YR8/4 浅黄橙色	連続刺突・櫛描刺突・ 沈線・突帯・キザミ 擬凹線13条	F81
	345	4区 W·X22 大河跡	土師器	155	(51)				□12/12	0			0	擬凹線		ナデ・ケズリ			7.5YR8/6 浅黄橙色	10YR8/6 黄橙色	口縁外面浮文1 径22.0mm 内外面黒斑あり	F87
26	346	4区 W·X22 大河跡	土師器	140	(179)	247		125	□12/12	0	0	Δ	0	ハケ・ナデ	ハケ・ナデ	ハケ→ナデ	ケズリ		10YR3/1 黒褐色	2.5Y6/3 にぶい黄色	外面煤付着接合痕明瞭	F85
	347	4区 W·X22 大河跡	土師器高杯	140	(55)				□9/12	0	Δ		0	ミガキ		ミガキ			5YR7/6 橙色	7.5YR6/3 にぶい褐色	外面黒斑あり	F82
	348	4区 W·X22 大河跡	土師器高杯		(68)		86	31	裾2/12	0			$\triangle$	ミガキ	ミガキ	摩滅	ケズリ・ハケ		2.5Y8/4 淡黄色	7.5YR8/3 浅黄橙色	透孔3 孔径6.0mm 外面赤彩	T134
	349	4区 W·X22 大河跡	土師器装飾器台		(40)			150	受12/12	0			$\triangle$		ミガキ		ミガキ		10YR7/6 明黄褐色	5Y6/2 灰オリーブ色	垂下装飾沈線6条 破断部摩耗大	F84
	350	4区 W·X22 大河跡	土師器器台		(62)		136		裾2/12		0		0		ミガキ		ナデ		10YR7/6 明黄褐色	10YR8/3 浅黄橙色	孔径9.0mm	T133
	351	4区 X21 大河跡	土師器		(89)	176			胴3/12	0	$\triangle$	0	0		ハケ→ナデ ケズリ		ナデ・ハケ		10YR8/3 浅黄橙色	10YR7/6 明黄褐色	キザミによる羽 状文	T153

第3表 土器・土製品観察表(8)

					ž	去量 (mm	1)				胎	±				調整			色	調		cts 201
図版	番号	遺構	器種	口径 長	器高 幅	胴径 厚	底径 摘径	頸径 受径	遺存度	砂	骨	礫	赤	口縁外面	胴部外面	口縁内面	胴部内面	底部外面	外面	内面	備考	実測 番号
26	352	4区 X21 大河跡	土師器 壺	89	150	150	50	66	完形	Δ	$\triangle$			ハケ→ミガキ	ミガキ	ミガキ	ナデ	ミガキ	2.5Y7/2 灰黄色	7.5YR7/6 橙色	外面煤付着	SH48
	353	4区 X20 大河跡	弥生土器 壺		(52)			100	頸2/12	Δ	$\triangleright$		Δ		ハケ		ハケ		10YR6/8 明黄褐色	5Y5/2 灰オリーブ色	櫛描波状文 櫛描直線文	F172
	354	4区 X20 大河跡	土師器 ミニチュア	56	(21)			29	□12/12	Δ				ミガキ	ミガキ	ミガキ	ナデ		10YR6/8 明黄褐色	2.5Y7/6 明黄褐色	壺 外面鉄分付着	EE251
	355	4区 X20-2 大河跡	土師器 ミニチュア		(40)		36		底12/12	Δ	Δ				ナデ		ナデ	ナデ	2.5Y7/8 黄色	2.5Y7/8 黄色	台付壺か 内外面鉄分付着 外面黒斑・線刻	EE250
	356	4区 X20-2 大河跡	土師器 有孔鉢		(23)		42		底12/12	0			Δ		ミガキ		ミガキ	ナデ?	10YR6/8 明黄褐色	2.5Y6/4 にぶい黄色	外面鉄分付着 底部穿孔 孔径7.0mm 高杯杯部転用品か	
	357	4区 Y22 大河跡	須恵器 坏蓋	136	35				□2/12	0				ロクロナデ	回転ケズリ	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ケズリ	10Y4/1 灰色	5Y4/1 灰色	外面降灰	SH126
	358	4区 Y22 大河跡	須恵器 坏身	120	49		36		□6/12	0				ロクロナデ	回転ケズリ	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ケズリ	7.5YR4/1 褐灰色	7.5YR3/2 黒褐色		SH125
	359	4区 X20-1 大河跡	土師器	178	132	57			口6/12 底7/12	Δ				ナデ	ハケ	ナデ	ハケ・ケズリ	ハケ	10YR6/8 明黄褐色	10YR6/8 明黄褐色	内外面鉄分付着 残存孔13	F159
	360	4区 Y22 大河跡	土師器	148	213	204	20	132	口1/12 底2/12	0			0	ナデ	ハケ	ハケ	ケズリ	ハケ	7.5YR6/8 橙色	10YR8/4 浅黄橙色	外面一部煤付着 底部内面指頭圧痕	SH124
27	361	4区 Y22 大河跡	須恵器 甕?	2/12	(97)				□2/12	0				ナデ	タタキ	ナデ	タタキ		5Y4/1 灰色	7.5YR5/1 褐灰色	外面:平行a 重焼痕 降灰 内面:同心円b	SH127
	362	4区 北半 大河跡	土師器器台?	166	(24)				□1/12	0		Δ	Δ	ミガキ		ミガキ			2.5YR6/8 橙色	2.5YR4/8 赤褐色	内外面赤彩 突帯2条1組	T294
	363	4区 北半 大河跡	土師器	176	(37)				□1/12	0	0	Δ	Δ	ハケ・ナデ		ハケ			2.5Y8/4 淡黄色	7.5YR7/4 にぶい橙色	突帯2条1組 突帯上キザミ	T291
	364	4区 北半 大河跡	弥生土器 壺		(63)			140	頸1/12	0		Δ	0	ハケ		ハケ			5YR8/4 淡橙色	2.5Y7/2 灰黄色	突帯上キザミ 2条	T289
	365	4区 北半 大河跡	土師器 絵画土器	(82)	(55)				破片	0	0		Δ		ハケ		ナデ		2.5Y6/4 にぶい黄色	2.5Y6/3 にぶい黄色	線刻3条	T295
	366	4区 北半 大河跡	土師器 壺?	200	(28)				□2/12	0	Δ	Δ	0	ミガキ		ミガキ			10YR8/3 浅黄橙色	7.5YR8/3 浅黄橙色	口縁部列点文	T290
	367	4区 北半 大河跡	弥生土器		(35)			91	頸1/12	0					ハケ・ミガキ		ミガキ・ハケ		7.5YR5/8 明褐色	7.5YR5/8 明褐色	内外面鉄分付着 頸部突帯1条	T293
	368	4区 北半 大河跡	弥生土器	296	(24)				□1/12	0	0	Δ	Δ	ハケ		ミガキ			7.5YR8/4 浅黄橙色	7.5YR8/4 浅黄橙色	突帯上キザミ 突帯上キザミ	T292
	369	4区 北半 大河跡	土師器 횮形土器	79	75	75	46	55	口9/12 底12/12	0	Δ	Δ	Δ	ミガキ?	ミガキ・ケズリ	ナデ	ナデ	ケズリ?	10YR8/3 浅黄橙色	10YR7/3 にぶい黄橙色	赤彩一部残 孔1 孔径5.0mm 外面黒斑あり	SH157
	370	4区 北半 大河跡	土師器	78	70	71	22	60	完形	0	Δ	Δ	0	ナデ	ナデ・ハケ	ナデ	ナデ	ナデ	2.5Y8/4 淡黄色	2.5Y6/1 黄灰色	外面黒斑あり	SH153
	371	4区 北半 大河跡	土師器	104	(64)	106		94	□2/12	Δ	Δ		Δ	ナデ	ナデ・ケズリ	ハケ	ナデ		10YR2/1 黒色	7.5YR7/6 橙色	外面煤付着	SH156
	372	4区 北半 大河跡	土師器無頸壺	57	76	116	40		口6/12 底12/12	Δ		Δ	Δ	ナデ	ミガキ	ナデ	ナデ	ミガキ	2.5Y7/6 明黄褐色	2.5Y7/6 明黄褐色	口線·胴部帯状赤彩 蓋留孔2対2箇所 孔径2.5mm	SH155
	373	4区 北半	土師器蓋	74	35		摘34	25	摘12/12 摘2/12	0	Δ			ミガキ	ミガキ		ナデ		2.5Y7/6 明黄褐色	2.5Y6/2 灰黄色	<u> 孔径2.5mm</u>	SH154
	374	4区 北半 大河跡	土師器		(57)		摘32	23	摘8/12	0	0		Δ		ハケ→ミガキ		ハケ→ナデ	ミガキ	5YR6/4 にぶい橙色	八页已 10YR7/4 にぶい黄橙色		T288
	375	4区 北半 大河跡	支脚	(71)	(37)	(36)			破片	0			0						2.5Y7/4 浅黄色	に小い東位巴	支脚	T296
	376	4区 北半 大河跡	土師器高杯	144	107		123	44	口12/12 裾9/12	0		Δ	0	ナデ・ミガキ	ミガキ	ミガキ	ナデ・ミガキ		10YR8/6 黄橙色	5YR7/4 にぶい橙色	内外面黒斑あり	SH158
	377	4区 北半 大河跡	土師器器台		(70)		123	33	脚4/12	0	0		Δ		ハケ→ミガキ		ケズリ・ハケ	ミガキ	7.5YR7/4 にぶい橙色	7.5YR7/4 にぶい橙色	透孔3 孔径6.0mm 杯底を充填後穿孔	T287
	378	4区 中央畦 大河跡	土師器	162	(89)			131	口2/12 頸3/12	0			0	ナデ	ハケ	ナデ	ケズリ		10YR1.7/1 黒色	10YR6/4 にぶい黄橙色	穿孔径6.0mm 外面煤付着	E301
	379	4区 中央畦 大河跡	土師器	164	(83)			128	口2/12 頸3/12	0			小	ナデ	ハケ	ハケ→ナデ	ケズリ		10YR1.7/1	10YR6/4 にぶい黄橙色	从而推仕美	E300
28	380		縄文土器深鉢		(69)				破片	0									黒色 5Y3/2 オリーブ黒色	5Y4/2 灰オリーブ色	沈線文擦消縄文	EE149
	381	4区 中央畦			(54)				口1/12 以下	Δ			0						10YR6/4	10YR6/4 にぶい黄橙色	突帯1条	EE150
	382	4区中央畦	土師器	148	(62)			126	□12/12	0		Δ	0	ハケ	ハケ	ハケ	ハケ		にぶい黄橙色 10YR3/1	10YR6/2	174と同一 外面煤付着	EE158
	383	4区中央畦			(86)	130	18		底12/12	0	0	Δ			ミガキ		ナデ	ミガキ→ナデ	黒褐色 10YR8/4	灰黄褐色 2.5Y6/2	内面鉄分付着 接合痕·指頭圧痕	
	384	大河跡 4区 中央畦	土師器	82	97	94	10	56	口2/12 底12/12	0			0	ナデ	ハケ→ナデ	ハケ	ケズリ	ハケ→ナデ	浅黄橙色 2.5Y7/4	灰黄色 2.5Y7/1	外面煤付着 外面鉄分付着 内外面煤付着	EE156
	385	大河跡 4区 中央畦	小壺 土師器		(35)	61	12	48	底12/12	Δ					ナデ		ナデ	ナデ	浅黄色 2.5Y7/4	灰白色 2.5Y7/4	内外面鉄分付着	
	386	大河跡 4区 中央畦	小壺 土師器		(46)	72	11	57	底12/12	Δ					ミガキ		ナデ	ナデ	浅黄色 2.5Y8/4	浅黄色 10YR8/4	外面煤付着	EE155
	387	4区 中央畦	小壺	108	79	109	10	106	□1/12	0				ナデ	ハケ	ナデ	ハケ	ハケ	淡黄色 10YR8/4	浅黄橙色 10YR4/1	内面指頭圧痕 内面鉄分付着 外面黒斑あり	EE152
	388	大河跡 4区 中央畦			(156)	.03	''	260	底12/12 頸5/12	0		Δ	0	,,	ハケ	,,	ナデ・ハケ	,	浅黄橙色 2.5Y7/3	褐灰色 2.5Y3/1	外面煤付着 内外面鉄分付着	
	389	大河跡 4区 中央畦			(34)		32	200	底12/12		_				ハケ		ケズリ→ナデ	ナデ	浅黄色 2.5Y7/3	黒褐色 2.5Y7/3	内面ヨゴレ 内面鉄分付着 外面黒斑あり	EE157
	390	大河跡 4区 中央畦	有孔鉢 土師器	174	(62)		JE		口10/12	0	0		0	ハケ→ナデ	,,,	ナデ→ミガキ	729 97		浅黄色 2.5Y7/3	浅黄色 2.5Y7/3	底孔1 孔径10.0mm 口縁部煤付着 坏部内面放射状	
	391	大河跡 4区 中央畦	高杯 土師器	.,4	(102)		110	36	底5/12	0				ミガキ	ミガキ	ミガキ	ケズリ・ナデ		浅黄色 10YR8/4	浅黄色 5 <u>Y5</u> /1	外面黒斑あり	EE159
	391	大河跡 4区 中央畦	高杯 土師器		(87)						_			\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	ナデ・ハケ	\n\+	ミガキ・ハケ・ナデ		浅黄橙色 2.5Y8/4	灰色 10YR7/4		EE160
		大河跡 4区 南半	高杯				136	36	底11/12 口1/12		^	_		ナデ	7 5.117	ナデ	ナデ		淡黄色 10YR6/8	にぶい黄橙色 10YR6/8	外面鉄分付着 内外面鉄分付着	
	393	大河跡 4区	甕? 青磁		(48)		EO		以下					7.7		7.7			明黄褐色 7.5GY8/1	明黄褐色 7.5GY7/1	沈線2条 高台内染付	311170
	394	大河跡	染付皿	150	(14)		58		台5/12										明線灰色 2.5Y7/3	明緑灰色 2.5Y7/3	「洪武年造」	SH197
	395	4区 大河跡	碗	158	(37)				□1/12										浅黄色	浅黄色	内面線刻	SH196

第3表 土器・土製品観察表(9)

					· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	た量 (mm	1)				胎	±				調整			色	調		eth Yail
図版	番号	遺構	器種	口径長	器高幅	胴径 厚	底径 摘径	頸径 受径	遺存度	砂	骨	礫	赤	口縁外面	胴部外面	口縁内面	胴部内面	底部外面	外面	内面	備考	実測番号
28	396	4区 大河跡	土師器 壺	70	79	82	7	55	□2/12	Δ	Δ		Δ	ナデ	ハケ→ナデ	ハケ→ナデ	ハケ→ナデ	ナデ	7.5YR8/4 浅黄橙色	7.5YR8/4 浅黄橙色		EE201
	397	4区 大河跡	土師器 壺	86	90	91	10	75	□7/12				0	ナデ	ハケ・ケズリ	ナデ	ナデ	ケズリ	10YR8/4 浅黄橙色	5YR8/4 淡橙色		EE200
	398	4区 大河跡	須恵器 無台坏		(20)		96		底5/12	0		Δ			ロクロナデ		ロクロナデ	ヘラ切→ナデ	5Y8/2 灰白色	5Y8/2 灰白色	高松産	T404
	399	4区 大河跡	瓦塔	(84)	(67)	(27)			破片	0		Δ	0						2.5Y8/3 淡黄色		屋蓋部 縁長押·丸瓦	SH198
36	580	1⊠ SD235	土師器 甕	178	(102)				□3/12	0		Δ	Δ	ハケ	ハケ・ナデ	ナデ	ハケ		淡灰褐色	淡灰褐色	外面黒斑あり	FJ88
	581	1区 SD235	土師器 無頸壺	49	123	150	34		□1/12	0	Δ		Δ	ミガキ?	ミガキ?	ナデ	ハケ・ナデ・ ケズリ	ミガキ?	淡灰褐色	黒灰色	一部赤彩残る 外面黒斑あり	FJ89
	583	1区 SD235	土師器 高杯		(105)		123	35	脚3/12	0	Δ		Δ	摩滅	摩滅	摩滅	摩滅	摩滅	橙灰褐色	灰褐色	透孔 孔径10.5mm	FJ87
	584	1区 AA6 大河跡	須恵器 壺		(85)		100		台10/12	0		Δ			ナデ・ケズリ		ナデ		灰色	灰色	底部·外面煤付着 高松産	N5
	586	3区 Y18 SD222	環状 土製品	74	74	31			完形	0	0		Δ						淡褐色	淡褐色	高杯受部再利用か	T262
	589	3区 SD222	注口?	70	19	19			完形?												別用途再利用か	T263
37	598	寺中B遺跡 5区 旧河道跡	土師器 甕	148	305	240	15	124	口1/12 胴9/12	0		0		ナデ	ハケ	ナデ	ケズリ					T2
	599	寺中B遺跡 5区 旧河道跡	須恵器 広口壺	150	(209)	201		110	□6/12	Δ				ナデ	タタキ	ナデ	ナデ					T1
38	608	2区 SD240	土錘	45	26	26			ほぽ完形	0									淡褐色		重25.0g 孔径6.0mm	0H53
	609	2区 SD240	土錘	65	26	26			ほぽ完形	0			Δ						2.5Y7/3 浅黄色		重35.7g 孔径4.0mm	T424
	610	2区 SD240	土錘	56	30	25			完形	Δ		0	Δ						10YR7/3 にぶい黄橙色		重33.2g 孔径8.0mm	T425
	611	2区 SD240	土錘	68	27	26			ほぽ完形	0			Δ						10YR8/2 灰白色		重50.5g 孔径7.0mm	T426
	612	2区 SD240	土錘	62	26	26			完形	Δ									淡灰褐色		重41.0g 孔径9.0mm	0H52
	613	2区 SD240	土錘	64	30	30			完形	0									淡橙褐色		重43.3g 孔径10.0mm	0H51
	614	2⊠ SD240	土錘	58	35	31			完形	0	Δ								10YR6/3 にぶい黄橙色		重60.1g 孔径8.0mm 黒斑あり	T427
	615	2⊠ SD240	土錘	55	35	34			完形	Δ			Δ						5YR7/6 橙色		重50.9g 孔径11.0mm	T430
	616	2⊠ SD240	土錘	61	35	35			完形	0	Δ		Δ						10YR7/3 にぶい黄橙色		重62.7g 孔径11.0g 黒斑あり	T429
	617	2⊠ SD240	土錘	63	37	37			完形	0									淡褐色		重83.0g 孔径9.0mm	0H54
	618	2⊠ SD240	土錘	(52)	36	39			欠損	Δ			Δ						10YR7/4 にぶい黄橙色		重65.5g 孔径14.0mm	T431
	619	2⊠ SD240	土錘	72	32	32			ほぼ完形	0	Δ		Δ						7.5YR7/4 にぶい橙色		重60.1g 孔径12.0mm	T428
	620	2⊠ SD240	土錘	69	37	37			完形	Δ									淡褐色		重88.8g 孔径11.0mm	0H50
	621	2⊠ SD240	土錘	76	46	42			完形	0	Δ								淡褐色		重135.0g 孔径13.0mm	0H49
	622	2⊠ SD244	土錘	60	38	36			完形	Δ		0							淡黄灰色		重81.7g 孔径13.0mm	E111
	623	2⊠ SD244	土錘	78	42	42			完形			0	0						淡黄灰色		重125.0g 孔径12mm	E112
	624	2⊠ SD244	土錘	102	34	32			完形	Δ	0	Δ	0						暗桃灰褐色		重73.2g 孔径13.0mm 黒斑あり	E113
	625	2⊠ SD244	土錘	38	37	32			完形	Δ	Δ								暗灰褐色		重39.1g 孔径6.0mm 外面煤付着	E110
	626	2⊠ SD244	土錘	38	34	30			完形	Δ									淡黄灰色		重39.8g 孔径8.0mm	E109
	627	3区 Y16 SD222	鞴羽口	(58)	(48)	(30)			断片												重64.7g	T265
	628	3区 Y16 SD222	炉壁?	(51)	(45)	(22)			断片												重44.0g	T264
	629	2⊠ SD240	鞴羽口	(69)	(63)	(60)			断片	0			0						2.5Y8/2 灰白色	10YR8/4 浅黄橙色	滓付着	T432
	630	2⊠ SD244	鞴羽口	(87)	53	(30)			欠損	Δ	Δ	Δ							淡橙灰色		滓付着	E124
	631	2⊠ SD244	鞴羽口	(61)	(51)	(26)			欠損	0	Δ	Δ	Δ						淡灰褐色		滓付着	H125
	632	2⊠ SD244	鞴羽口	(58)	(56)	(33)			断片												重72.3g	T267
	638	2⊠ SD244	炉壁?	(79)	(45)	(30)			断片													T266

<sup>※</sup>法量欄の() は現存値を示している。※胎土欄の「骨」は海綿骨針、「赤」は赤色粒を示す。◎・○・△は、確認できた量を相対的に示したものであり、確認されなかったものは空欄となっている。

第4表 石製品・金属製品・骨観察表

ж <del>т</del>		"Haxi		一致死		∃ 底ルス					
図版	番号	遺構	器種	長	s量(mr 幅	) 厚	遺存度	色調	備考	実測 番号	
29	400	4区 SD210	打製石斧	(133)	66	19	基部欠損	2.5Y5/3 黄褐色	凝灰岩 重190g	HK27	
	401	4区 W24 大河跡	石庖丁?	(126)	79	9	ほぽ完形	10GY4/1 暗緑灰色	粘板岩 重105.0g	EE237	
	402	4区 W24 大河跡	磨製石斧	(75)	52	24	基部欠損	2.5YR2/1 赤黒色	蛇紋岩 重185.0g	N2	
	403	4区 W25 大河跡	磨製石斧	83	41	17	完形	10YR1.7/1 黒色	蛇紋岩 重95.7g	SH181	
	404	4区 W24 大河跡	敲石	72	52	42	完形	5Y6/3 オリーブ黄色	砂岩 重230.0g 全周敲打痕	EE235	
	405	4区 W24 大河跡	砥石	71	25	15	完形	2.5Y8/4 淡黄色	流紋岩 重33.7g 砥面4面	EE240	
	406	4区 W24 大河跡	剥片	22	22	10		10GY4/1 暗緑灰色	変質流紋岩 重4.4g 施溝分割痕あり	C1	
	407	4区 W24 大河跡	剥片	44	26	13		10Y6/2 オリーブ灰色	変質流紋岩 重13.7g 研磨面あり 施溝分割痕か	C2	
	408	4区 W24 大河跡	打製石斧	(144)	69	24	刃部欠け	7.5Y7/2 灰白色	凝灰岩 重430.0g	EE241	
	409	4区 W24 大河跡	打製石斧	(179)	110	31	基部欠損	7.5Y6/2 灰オリーブ色	凝灰岩 重840.0g	N3	
	410	4区 W24 大河跡	打製石斧	(197)	(102)	39	刃部欠損	5Y6/4 オリーブ黄色	凝灰岩 重922.0g	EE242	
	411	4区 W23 大河跡	磨製石斧	(118)	53	32	刃部欠損	5YR3/4 暗赤褐色	内外面鉄分付着 安山岩 重310.0g	T304	
	412	4区 W23 大河跡	剥片	30	42	9		N8/ 灰白色	石英 重11.1g	T300	
	413	4区 W23 大河跡	剥片	42	52	9		10G4/1 暗緑灰色	変質流紋岩 重16.4g	T299	
	414	4区 W23 大河跡	石核	67	78	25		5G6/1 緑灰色	変質流紋岩 重115.0g	T298	
	415	4区 W23 大河跡	石核	114	72	30		7.5Y2/1 黒色	粘板岩 重290.0g	T305	
	416	4区 W23 大河跡	砥石?	(94)	69	17	破片	7.5Y5/1 灰色	側面全体に敲打痕 凝灰岩 重190.0g	T301	
	417	4区 W23 大河跡	鰹節形 石器	(160)	83	54	1/2	5Y8/4 淡黄色	全体に調整痕 凝灰岩 重870.0g	T302	
	418	4区 W23 大河跡	砥石	(69)	(93)	42	破片	5YR3/4 暗赤褐色	内外面鉄分付着 安山岩 重330.0g	T303	
	419	4区 W23 大河跡	打製石斧	164	80	30	完形	2.5Y6/6 明黄褐色	内外面鉄分付着 安山岩 重440.0g	T306	
30	420	4区 W·X22 大河跡	打製石斧	(97)	60	27	基部欠損	2.5Y5/3 黄褐色	玄武岩 重255.0g 内外面鉄分付着	F207	
	421	4区 W·X22 大河跡	石錘	126	71	52	完形	2.5Y6/2 灰黄色	凝灰岩 重610.0g	SH183	
	422	4区 W24 大河跡	炉石	(324)	192	168	破損	10YR6/2 灰黄褐色	安山岩か重17.6kg 被熱 煤付着	F187	
	423	4区 W·X22 大河跡	剥片	87	53	21		10YR6/8 明黄褐色	変質流紋岩 重85.0g 未成品か 内外面鉄分付着	F206	
	424	4区 X21 大河跡	石錘	139	72	55	完形	7.5YR7/8 黄橙色	凝灰岩か 重650.0g	SH47	
	425	4区 北半 大河跡	砥石	(76)	47	25	欠損	10YR4/6 褐色	流紋岩 重122.0g 内外面鉄分付着 4面	EE224	
	426	4区 北半 大河跡	砥石	(55)	35	6	欠損	2.5Y7/6 明黄褐色	凝灰岩 重40.1g 中央擦痕 2面	EE221	
	427	4区 中央畦 大河跡	砥石	108	36	39	完形	10YR7/3 にぷい黄橙色	凝灰岩 重215.0g 内外面鉄分付着 中央擦痕 2面	EE222	
	428	4区 中央畦 大河跡	石錘	104	71	52	完形	10YR7/6 明黄褐色	砂岩 重491.0g 内外面鉄分付着	EE223	
	429	4区 南半 大河跡	砥石?	(94)	(92)	33	欠損	7.5YR4/4 褐色	凝灰岩 重442.0g 内外面鉄分付着	EE226	
	430	4区 包含層	石剣	(46)	25	5	欠損	10GY3/1 暗緑灰色	粘板岩 重8.4g	EE225	
	431	4区 W23 大河跡	管玉	26	6	6	完形	2.5GY7/1 明オリーブ灰色	変質凝灰岩 重0.82g 両面穿孔	Y25	
	432	4区 W25 大河跡	管玉	17	5	5	完形	7.5Y6/3 オリーブ黄色	变質凝灰岩 重0.68g 両面穿孔	G20	
	433	4区 W·X22 大河跡	勾玉	13	8	4	完形	N8/ 灰白色	変質蛇紋岩 重0.34g 両面穿孔か	G21	
	434	4区 W24 大河跡	丁字頭 定形勾玉	(43)	(23)	(13)	破片	10G4/1 暗緑灰色	碧玉 重8.92g 片面穿孔か 孔周囲溝5条か	A53	
	435	4区 W24 大河跡	勾玉	42	24	12	完形	10BG1.7/1 青黒色	滑石 重16.48g 片面穿孔	Y24	
	436	4区 W23 大河跡	勾玉	34	22	14	完形	7.5R1.7/1 赤黒色	滑石 重15.09g 両面穿孔 使用痕顕著	N17	
	437	4区 X21 大河跡	勾玉	28	17	7	完形	10GY3/1 暗緑灰色	蛇紋岩 重3.96g 両面穿孔	A48	
	438	4⊠ W22 SD210	鉄製品 刀子	(198)	24	4.5		7.5YR3/2 黒褐色	刃長165.0mm 重49.4g 柄孔径約4mm	T414	
	439	4⊠ W22 SD210	鉄製品 刀子	282	25	5.5		7.5YR4/4 褐色	刃長207.0mm 重107.9g 柄孔径4.3mm	T416	
	440	4⊠ W22 SD210	鉄製品 不明	(97)	(43)	6		7.5YR4/3 褐色	不明鉄製品 重35.5g 飾金具か	T412	
	441	4区 W23 大河跡	銅製品鏃	(104)	17	5		7.5YR3/2 黒褐色	有茎式 重7.1g	T411	
										ш	

図版	番号	遺構	器種		大量 (mm		遺存度	色調	備考	実測
∟ NN	曲ヶ	退得	fiè T里	長	幅	厚	週17戊	巴神	岬专	番号
30	442	4区 W25 大河跡	鉱滓	62	43	18		10YR3/2 黒褐色	内外面鉄分付着	T40
	443	4区 W24 大河跡	鉄製品 残欠	47	39	23			台付円錐形 重80.9g	EE23
	444	4区 南半 大河跡	鉄製品 釘	(69)	13	5			角釘 重10.0g	T41
31	445	4区 W25 大河跡	シカ 肩甲骨	骨長 210	骨幅 111	面幅 3		右肩甲骨 重7 関節窩幅33m 腹角幅44mm	71.3g 焼灼痕なし m 関節窩厚31mm n 肩甲頸幅25mm	N7
	446	4区 W25 大河跡	シカ 上腕骨	212	50	26			右上腕骨 重100.0g	N8
	447	4区 W25 大河跡	シカ? 骨	(148)	(30)	(17)			重52.1g	N9
	448	4区 W25 大河跡	イヌ 頭骨	骨長 169	骨幅 (81)	骨厚 67			重125.0g 中世犬 雌犬か	N36
36	590	3区 Y19 SD222	ガラス玉	8	7	7			重0.66g 孔径2.0mm	Q18
	591	3区 Y17 SD222	鉄製品 柄付刀子	255	22	身3 柄12			重47.95g 柄 スギ材	N34
	593	不明	鉄製品 箸	(151)	7	5			2点 重41.8g	Ne
37	594	寺中B遺跡 4-2区 排土	勾玉	28	17	9			滑石 重4.74g 片面穿孔 孔径1.0mm	G1:
	595	寺中B遺跡 4-2区 SD28	管玉	21	5	5			変質流紋岩 重 0.44g 孔径1.0mm	G22
	596	寺中B遺跡 4-2区 SD28	管玉	(13)	5	5			変質流紋岩 重 0.27g 孔径1.0mm	G23
	597	寺中B遺跡 4-2区 SD28	勾玉 未成品	17	12	5			翡翠 重1.31g	N18
	604	県費分C区 大河跡	石錘	90	54	45				E30
	605	県費分C区 大河跡	不明	33	47	10			重9.24g 自然滓か	T41
	606	県費分C区 大河跡	不明	35	7	6			重1.91g 自然滓か	T42
	607	県費分C区 大河跡	鉄製品 刀子	(125)	18	3			重11.01g	T41
38	633	2⊠ Y12 SD240	鉱滓	60	53	21			重93.86g	T41
	634	2⊠ Y12 SD240	鉄製品 鏃	(104)	16	3			重9.39g	T41
	635	2⊠ SD240	鉄製品 刀子	(116)	23	3			重21.32g	T41
	636	2区 包含層	銭 元豊通寶	25.2	25.5	1.1			重3.51g 孔長6.1×6.1mm	E19
	637	2区 包含層	銭 皇宗通寶	25.2	25.2	1.2			重3.66g 孔長6.3×6.5mm	E19

※法量欄の()は現存値を示している。

第4表 石製品・金属製品・骨観察表

## 第5表 木製品観察表

		大																	
図版	番号	遺構	器種	長	s量(mm 幅	厚	遺存度	備考	実測番号	図版	番号	遺構	器種	長	是 幅	厚	遺存度	備考	実測番号
31	449	4区 W23 大河跡	木製品	930	35	23	完形	針葉樹 芯持材 両端加工	M15	33	493	4区 W24 大河跡	木製品 部材?	298	(72)	7	断片	針葉樹 板目 孔1 孔径6.0mm	F11
	450	4区 W23 大河跡	木製品 竪杵	112	97	80	完形	針葉樹 芯持材 中央部最小径31.0mm	S17		494	4区 W24 大河跡	木製品 ナスビ形 平鍬?	(263)	126	10	断片	広葉樹 板目 平鍬か 495と同一	E17
32	451	4区 W22 SD210	棒状 木製品	(257)	14	12	欠損	針葉樹 辺材	S34		495	4区 W24 大河跡	木製品 ナスビ形 平鍬?	(91)	112	10	断片	広葉樹 板目 平鍬か 494と同一	E18
	452	4区 W22 SD210	棒状 木製品	(274)	19	14	欠損	針葉樹 辺材 先端焼痕	S28		496	4区 W24 大河跡	杓子状 木製品	243	62	7	完形	針葉樹 板目	E20
	453	4⊠ W22 SD210	板状 木製品	(275)	42	7	欠損	広葉樹 板目	S33		497	4区 W24 大河跡	不明 木製品	156	58	6	完形	針葉樹 板目 平面楕円形 穿孔2 孔径3.0mm	N17
	454	4区 W22 SD210	板状 木製品	136	28	9	完形	針葉樹 板目 雑具部材か	S31		498	4区 W24 大河跡	棒状 木製品	(334)	24	17	断片	針葉樹 辺材 抉りあり	T38
	455	4区 W22 SD210	板状 木製品	(131)	25	7	欠損	針葉樹 板目 雑具部材か	S32		499	4区 W24 大河跡	不明 木製品	43	37	28	完形?	広葉樹 工具痕	S11
	456	4区 W21 SD210	板状 木製品	151	41	8	完形	針葉樹 柾目 端部加工	S25		500	4区 W24 大河跡	篦状 木製品	(65)	21	4	断片	板目	F14
	457	4区 W22 SD210	木製品 部材?	159	43	(20)	1/2	広葉樹 芯持材 中央部接合加工	S35		501	4区 W24 大河跡	杭状 木製品	886	45	43	完形	針葉樹 芯持材 先端加工	M13
	458	4区 W21 SD210	不明 木製品	(181)	44	15	断片	広葉樹 柾目 穿孔1 孔12.0×11.0mm	E10		502	4区 W24 大河跡	杭状 木製品	(180)	70	70	断片	広葉樹 芯持材 焼痕	S10
	459	4区 W21 SD210	板状 木製品	(220)	53	4	欠損	針葉樹 柾目	S24		503	4区 W24 大河跡	杭状 木製品	(214)	40	40	欠損	広葉樹 芯持材	S5
	460	4区 W21 SD210	板状 木製品	(138)	79	5	欠損	針葉樹 柾目 連続穿孔 孔径2.0mm 部材	S23		504	4区 W24 大河跡	杭状 木製品	(196)	38	35	断片	針葉樹 芯持材 工具痕	F10
	461	4区 W22 SD210	木製品 円形板	261	(164)	5	2/3	針葉樹 柾目 結束樹皮残存 曲物底板か	S27		505	4区 W24 大河跡	杭状 木製品	193	44	27	完形	針葉樹 辺材 工具痕	F12
	462	4区 W22 SD210	木製品 円形板	320	(145)	5	1/2	針葉樹 板目 曲物底板か	S26		506	4区 W23 大河跡	棒状 木製品	(226)	18	9	断片	針葉樹 柾目	T23
	463	4区 W22 SD210	木製品 篦?	(161)	16	3	欠損	針葉樹か	S29		507	4区 W23 大河跡	棒状 木製品	(237)	26	16	断片	針葉樹 辺材	E24
	464	4区 W22 SD210	木製品 火鑽臼	(222)	27	16	両端欠損	針葉樹 板目 使用痕6(焦)	T4		508	4区 W23 大河跡	棒状 木製品	349	33	薄6 厚16	完形	針葉樹 辺材 杓子か	N10
	465	4区 W25 大河跡	結歯式 竪櫛	(27)	28	4	櫛部欠損	施漆	T401		509	4区 W23 大河跡	木製品 舟形	113	27	15	一部欠損		Q9
	466	4区 W25 大河跡	板状 木製品	371	89	14	完形	広葉樹 柾目 平面楕円形	T34		510	4区 W23 大河跡	板状 木製品	(50)	(93)	12	断片	針葉樹 板目 端部加工	N14
	467	4区 W25 大河跡	不明 木製品	(333)	(107)	16	欠損	広葉樹 板目 木皿か	S3		511	4区 W23 大河跡	不明 木製品	107	37	12	完形	広葉樹 辺材 柄か	Q11
	468	4区 W25 大河跡	板状 木製品	164	41	5	完形	針葉樹 板目 穿孔3 孔径3.0mm	N28		512	4区 X23 大河跡	板状 木製品	(87)	74	19	断片	針葉樹 板目	М9
	469	4区 W25 大河跡	板状 木製品	105	111	20	完形?	広葉樹 板目 部材か	N29		513	4区 W23 大河跡	棒状 木製品	345	60	52	完形	広葉樹 芯持材 両端加工痕	N11
	470	4区 W25 大河跡	棒状 木製品	(234)	39	25	断片	針葉樹 辺材 先端施薄加工 穿孔あり 孔径3.0mm	T35		514	4区 W23 大河跡	棒状 木製品	215	9	8	完形	針葉樹 辺材 箸か	F24
	471	4区 W25 大河跡	棒状 木製品	(253)	34	15	断片	針葉樹 板目 穿孔1 孔径4.0mm	T11		515	4区 W23 大河跡	棒状 木製品	(567)	32	24	欠損	針葉樹 辺材 先端施鋭加工	F21
	472	4区 W25 大河跡	棒状 木製品	541	19	16	完形	針葉樹 辺材 両端施鋭加工	T33		516	4区 W23 大河跡	棒状 木製品	(262)	34	16	断片	針葉樹 辺材	M11
	473	4区 W25 大河跡	棒状 木製品	531	18	15	完形	針葉樹 辺材 先端抉り加工	T36		517	4区 W23 大河跡	棒状 木製品	(292)	28	15	断片	針葉樹 辺材	M10
	474	4区 V24 大河跡	棒状 木製品	510	27	18	完形	針葉樹 辺材 先端抉り加工	T37		518	4区 W23 大河跡	棒状 木製品	(349)	34	26	欠損	針葉樹 辺材	F23
	475	4区 W25 大河跡	不明 木製品	105	66	19	完形	針葉樹 板目 雑具部材か	T1		519	4区 W23 大河跡	棒状 木製品	(234)	13	5	断片	針葉樹 辺材	E26
	476	4区 W25 大河跡	板状 木製品	(167)	32	6	断片	針葉樹 柾目 穿孔2 孔径3.0mm	T2		520	4区 W23 大河跡	棒状 木製品	352	37	34	完形	広葉樹 芯持材	Q10
	477	4区 W25 大河跡	板状 木製品	(200)	32	10	1/2	針葉樹 板目 糸巻部材か	T7		521	4区 W23 大河跡	棒状 木製品	(265)	21	19	断片	針葉樹 辺材	E25
	478	4区 W25 大河跡	板状 木製品	(130)	72	17	断片	広葉樹 板目 楔状木製品	Т9		522	4区 W23 大河跡	棒状 木製品	(504)	67	38	断片	広葉樹 芯持材 櫂状	M12
	479	4区 W25 大河跡	板状 木製品	215	(71)	7	断片	針葉樹か 柾目 穿孔2 径11.0mm・6.0mm	T10		523	4区 W23 大河跡	櫂状 木製品	(407)	(74)	34	断片	広葉樹 板目	S14
	480	4区 W25 大河跡	木製品	(573)	20	15	片端欠損	針葉樹 芯持材 先端加工	F6		524	4区 W23 大河跡	板状 木製品	135	92	16	完形	広葉樹 板目 平鍬·楔状木製品	M8
	481	4区 W25 大河跡	木製品	(550)	20	21	両端欠損	針葉樹 芯持材	F8		525	4区 X23 大河跡	木製品 桶側板?	144	(67)	10	断片	広葉樹か 辺材 孔径約10.0mm 上下施漆	N15
	482	4区 W25 大河跡	木製品	(413)	18	15	片端欠損	針葉樹 芯持材 先端加工	F7		526	4区 W23 大河跡	漆器 椀		(20)		底3/12	内外面施漆	N12
	483	4区 W24 大河跡	板状 木製品	(301)	68	10	断片	針葉樹 板目	E22	34	527	4区 Y21 大河跡	木製品 建築部材	(1650)	50	40	端部欠損	針葉樹か 芯持材 端部加工痕 付着物 屋根部材か	M7
	484	4区 W24 大河跡	板状 木製品	(174)	53	13	断片	広葉樹 柾目	N25		528	4区 W23 大河跡	木製品 折敷	366	(133)	8	欠損	針葉樹 板目 結束孔2 孔径3.0mm サクラ樹皮残存	F9
	485	4区 W24 大河跡	板状 木製品	(199)	(33)	(5)	断片	針葉樹 柾目	F13		529	4区 W23 大河跡	不明 木製品	325	(125)	14	断片	針葉樹 柾目 皿状 穿孔2 径6.0mm	S9
	486	4区 W24 大河跡	板状 木製品	(441)	42	12	ほぽ完形	針葉樹 板目	Q4		530	4区 W23 大河跡	木製品槽?	468	(235)	48	欠損	広葉樹 楕円形皿状 緑部沈線 孔1 30×10mm	T25
	487	4区 W24 大河跡	板状 木製品	(125)	24	7	欠損	針葉樹 板目	S7		531	4区 W23 大河跡	木製品 刀柄	130	43	49	ほぽ完形	組合式 背面切込 穿孔1 孔径6.0mm	NA1
	488	4区 W24 大河跡	板状 木製品	(121)	20	4	欠損	針葉樹 板目	S8		532	4区 W23 大河跡	木製品 木錘	146	86	75	完形	広葉樹か 木目不明	G1
	489	4区 W24 大河跡	不明 木製品	191	94	11	断片	広葉樹 板目	Q5		533	4区 W24 大河跡	木製品	(527)	25	25	欠損	針葉樹 芯持材 先端加工 焼痕	Q3
	490	4区 W24 大河跡	板状 木製品	(300)	(163)	22	断片?	広葉樹 柾目 中央部施溝	N27		534	4区 W23 大河跡	不明 木製品	245	(58)	15	断片	針葉樹 板目 穿孔1 孔径2.0mm 雑具部材か	T21
33	491	4区 W24 大河跡	板状 木製品	416	(133)	25	欠損	広葉樹 板目材 楕円形 雑具か 穿孔1 28.0×19.0mm	S4		535	4区 W·X22 大河跡	棒状 木製品	(250)	29	15	欠損	針葉樹か 先端切り込み加工	S2
	492	4区 W24 大河跡	板状 木製品	(327)	(101)	12	断片	広葉樹 板目	N26		536	4区 W·X22 大河跡	板状 木製品	(616)	56	8	欠損	針葉樹 板目 先端施鋭加工	F25

第5表 木製品観察表 (1)

図版	番号	遺構	器種	長	法量(mm 幅	1) 厚	遺存度	備考	実測番号	図版	番号	遺構	器種	長	法量(mm 幅	厚	遺存度	備考	実測番号
34	537	4区 W·X22 大河跡	棒状 木製品	485	29	15	完形	針葉樹 辺材 紡織具か	E14	36	587	3⊠ SD220	木製品	(318)	21	15	欠損	針葉樹 芯持材 先端加工·穿孔1 孔径3.0mm	T117
	538	4区 W·X22 大河跡	木製品 部材?	(481)	34	23	断片?	針葉樹 辺材 端部加工 釘孔3箇所	E15		588	2⊠ SD244	木製品角材	(174)	109	70	欠損	広葉樹か 芯持材	0H121
	539	4区 W24 大河跡	棒状 木製品	(177)	30	26	断片	針葉樹 辺材 先端加工	E19		592	不明	板状 木製品	230	26	10	完形	針葉樹 板目 穿孔1 孔径7.0mm 抉りあり	T433
	540	4区 W22 大河跡	木製品部材?	194	46	13	完形	針葉樹 辺材	井葉樹 辺材 S30 (		600	県費分C区 西河道	棒状 木製品	(126)	38	18	断片	針葉樹 芯辺材	F5
	541	4区 W·X22 大河跡	木製品 ナスビ形 平鍬?	(168)	(95)	12	断片	広葉樹 板目 焼痕			601	県費分C区 西河道	棒状 木製品	(98)	45	44	断片	針葉樹 芯持材	F3
	542	4区 W·X22 大河跡	木製品 ナスビ形 平鍬?	(220)	(68)	12	断片	広葉樹 板目	T12		602	県費分C区 東河道	木製品 木錘?	(176)	(60)	(48)	断片	針葉樹か 芯持材か	Q2
	543	4区 W·X22 大河跡	木製品 ナスビ形 平鍬	(415)	121	8	基部欠損	広葉樹か	S13		603	県費分C区 西河道	木製品 櫂?	(378)	87	28	欠損	針葉樹 柾目取り	F4
	544	4区 X22 大河跡	木製品 舟形	(288)	(44)	厚17 高(43)	欠損	広葉樹 板目 先端加工	M5	39	639	2⊠ AB5 SD303	棒状 木製品	(580)	48	36	欠損	針葉樹 辺材 柄か 先端削出 穿孔3 孔径18.0mm	0H120
	545	4区 X22 大河跡	不明 木製品	543	51	51	完形	針葉樹 芯持材 両端施尖 抉2箇所	M6		640	2⊠ SD222	板棒状 木製品	(250)	15	8	欠損	針葉樹 板目か 先端施鋭加工	E309
	546	4区 X21 大河跡	木製品 基礎台	307	(109)	75	1/2	広葉樹 板目 中心孔 孔1辺18.0mm以上	E30		641	2区 SD222	棒状 木製品	(138)	6	6	欠損	針葉樹 辺材 端部焼痕	E308
35	547	4区 W24 大河跡	杭状 木製品	(730)	46	46	断片	針葉樹 芯持材	S16		642	2区 SD222	板棒状 木製品	(151)	21	4	欠損	針葉樹 板目 欠損部焼痕	E310
	548	4区 W24 大河跡	木製品 建築部材	(530)	47	47	断片	針葉樹 芯持材 端部加工痕 一部焼痕	S15		643	2区 SD222	板状 木製品	(109)	33	5	欠損	針葉樹 柾目 切断加工	E311
	549	4区 W25 大河跡	棒状 木製品	(435)	19	15	断片	針葉樹 辺材 端部焼痕	0H153		644	2区 SD222	板状 木製品	(126)	(20)	3	欠損	針葉樹 板目 草履芯か	S183
	550	4区 W25 大河跡	棒状 木製品	(377)	18	15	断片	針葉樹 辺材	0H158		645	2区 SD222	棒状 木製品	(180)	21	21	ほぽ完形	針葉樹 芯持材 擂粉木か	S182
	551	4区 W25 大河跡	棒状 木製品	(336)	18	16	断片	針葉樹 辺材	TM319		646	2区 SD222	木製品 飾板	254	(116)	12	完形?	針葉樹 板目	S180
	552	4区 W25 大河跡	木製品 角材	(301)	24	22	断片	針葉樹 辺材	0H154		647	2区 SD222	木製品 下駄	82	117	24	一部欠損	針葉樹か 木取不明	S181
	553	4区 W25 大河跡	板棒状 木製品	267	24	11	完形	針葉樹 柾目 断面半円状	0H155		648	2⊠ SD222	木製品 折敷	327	(231)	6	欠損	針葉樹 板目か 4枚残	E279
	554	4区 W25 大河跡	杭状 木製品	(348)	53	35	断片	針葉樹 辺材	TM318		649	2区 AA6 SD222	板状 木製品	281	(85)	16	欠損	広葉樹か 板目	E273
	555	4区 W25 大河跡	棒状 木製品	(190)	15	9	断片	針葉樹 先端篦状	0H156		650	2区 Y14 SE251	棒状 木製品	(174)	6	3	欠損	針葉樹 辺材 箸か	TM314
	556	4区 W25 大河跡	板状 木製品	(167)	30	8	断片	針葉樹 柾目	0H160		651	2区 Y14 SE251	棒状 木製品	(190)	6	4	ほぽ完形	針葉樹 辺材 箸か	TM315
	557	4区 W25 大河跡	棒状 木製品	(226)	16	12	断片	針葉樹 辺材	0H159		652	2区 Y14 SE251	棒状 木製品	(147)	6	4	欠損	針葉樹 辺材 箸か	TM316
	558	4区 W25 大河跡	棒状 木製品	(166)	8	8	断片	針葉樹	0H157		653	2区 Y14 SE251	棒状 木製品	(82)	5	4	欠損	針葉樹 辺材 箸か	TM317
	559	4区 W24 大河跡	板状 木製品	(440)	131	48	欠損	広葉樹? 板目取り 容器未成品か	E33		654	2区 Y14 SE251	板状 木製品	(284)	(19)	2	欠損	針葉樹 板目	TM313
	560	4区 W23 大河跡	棒状 木製品	(149)	33	14	断片	針葉樹 柾目 抉り2箇所	N1		655	2区 SD240	棒状 木製品	296	22	13	完形	針葉樹 辺材 先端施鋭加工	Q1
	561	4区 W·X22 大河跡	棒状 木製品	153	8	8	完形	針葉樹 箸か	SH187		656	2⊠ SD240	棒状 木製品	(247)	13	7	欠損	針葉樹 辺材 先端施鋭加工	E287
	562	4区 W·X22 大河跡	棒状 木製品	153	10	7	完形	針葉樹 箸か	SH186		657	2⊠ SD240	棒状 木製品	348	24	21	完形?	針葉樹 辺材	E293
	563	4区 W·X22 大河跡	棒状 木製品	146	9	8	完形	針葉樹 箸か	SH185		658	2⊠ SD240	棒状 木製品	(192)	10	8	断片	針葉樹 辺材 箸か	E284
	564	4区 W·X22 大河跡	木製品 竪杵	(375)	大100 小45	厚90 薄45	1/2	広葉樹 芯持材	N20		659	2⊠ SD240	棒状 木製品	(136)	16	13	欠損	針葉樹 辺材 抉り加工あり	E289
	565	4区 X22 大河跡	篦状 木製品	(146)	33	8	欠損	針葉樹 辺材 先端施薄加工	F28		660	2⊠ SD240	棒状 木製品	(142)	10	6	欠損	針葉樹 辺材 切断面かあり	E295
	566	4区 X22 大河跡	棒状 木製品	(246)	26	12	欠損	針葉樹 辺材 先端施鋭加工 針葉樹 辺材	F26		661	2⊠ SD240	棒状 木製品	(131)	5	4	断片	針葉樹 辺材 箸か	E296
	567	4区 X22 大河跡	木製品部材?	(320)	33	14	断片	穿孔1 孔径8.0mm 断面三角形	T5		662	2⊠ SD240	棒状 木製品	(158)	7	5	断片	針葉樹 辺材 箸か	E292
	568	4区 X22 大河跡	杭状 木製品	(266)	51	48	断片	広葉樹 芯持材	Т6		663	2⊠ SD240	棒状 木製品	(417)	20	14	断片	針葉樹 辺材 端部焼痕	E297
	569	4区 W21 大河跡	不明 木製品	88	40	43	完形?	切り込みあり 木錘か	S1		664	2⊠ SD240	棒状 木製品	(219)	12	8	断片	針葉樹 辺材 両端焼痕	E298
	570	4区 X22 大河跡	木製品鞍	(122)	(62)	56	断片	材不明 結束孔2 13×10mm	N19		665	2⊠ SD240	棒状 木製品	167	10	10	完形?	針葉樹 辺材 箸か	E283
	571	4区 X20 大河跡	木製品鞍	228	(228)	42	1/2	材不明 結束孔3 13×10mm	F15		666	2⊠ SD240	棒状 木製品	(238)	17	12	欠損	針葉樹 辺材 切断面あり	E282
	572	4区 中央畦 大河跡	板棒状 木製品	(158)	23	11	断片	針葉樹 辺材 断面楕円形	F30		667	2⊠ SD240	棒状 木製品	(161)	13	5	欠損	針葉樹 辺材 先端施鋭加工	E286
	573	4区 中央畦 大河跡	板状 木製品	(85)	105	13	断片	広葉樹 板目 平鍬か	E16		668	2⊠ SD240	棒状 木製品	(197)	18	12	欠損	針葉樹 辺材 焼痕	E280
	574	4区 中央畦 大河跡	板状 木製品	267	107	15	完形	広葉樹 柾目 穿孔あり 孔径15.0mm	F29		669	2⊠ SD240	棒状 木製品	(92)	12	10	欠損	針葉樹 辺材 先端抉り加工	E291
	575	4区 南半 大河跡	板状 木製品	(146)	75	23	断片	広葉樹 板目 加工痕	E32		670	2⊠ SD240	木製品 形代?	(75)	24	35	断片	広葉樹 辺材 形代か	T119
	576	4区 南半 大河跡	板状 木製品	(152)	31	6	断片	針葉樹 板目 穿孔4 孔径3.0mm	E31		671	2⊠ SD240	不明 木製品	(415)	142	12	欠損	針葉樹 板目 飾具か	SH204
	577	4区 南半 大河跡	不明 木製品	(365)	115	18	ほぽ完形	針葉樹 辺材 穿孔6 24×15mm	M14		672	2⊠ SD240	板状 木製品	171	44	7	完形	針葉樹 柾目 折敷か円形板か	E288
	578	4区 北半 大河跡	棒状 木製品	416	23	14	完形	針葉樹 辺材 先端施薄加工	F31		673	2⊠ AA9 SD240	木製品 横槌	(389)	60	60	欠損	広葉樹か 芯持材 加工具痕明瞭	S197
	579	4区 Y22 大河跡	木製品 円形板	162	(100)	8	断片	針葉樹 柾目 穿孔1 孔径2.0mm 桶底板か	T39		674	2⊠ SD240	木製品 部材	(340)	51	13	欠損	針葉樹 辺材 孔1 孔24.0×21.0mm 雑具部材か	E285
36	582	3区 SD220	木製品盤	器高 (7)	底径 190		底6/12	針葉樹 柾目取	SH101		675	2⊠ Y12 SD240	板棒状 木製品	(371)	32	8	欠損	針葉樹 板目 穿孔か1 孔径12.0mm	TM297
	585	3区 Y16 SD201 (SD240)	木製品 栓	179	29	29	完形	針葉樹 辺材 釘孔2	N10		676	2区 SD240	板状 木製品	120	(25)	4	欠損	針葉樹 板目 角切加工か	E294

第5表 木製品観察表(2)

図版	番号	遺構	器種		去量 (mm		遺存度	備考	実測
39	677	2区	板棒状	長 (184)	幅 24	厚 6	断片	針葉樹 板目	番号 E281
39		SD240 2⊠	木製品			_			
	678	SD240 2⊠	木沓	325	(81)	46	1/2	広葉樹 板目 針葉樹 板目	FJ204
	679	SD240 2⊠ Z14	木製品漆器	(102)	(26)	9	断片	加工痕	E290
	680	SD240 2⊠	蓋?	121	(108)	12	欠損	裏面に黒漆付着 広葉樹か 芯持材	FJ202
	681	SD240 2⊠	板材	(205)	99	48	欠損	加工具痕明瞭	E300
	682	SD240	鍬?	(155)	130	10	欠損	広葉樹 板目 針葉樹 辺材	T123
40	683	2⊠ SD244	棒状 木製品	(770)	30	24	欠損	先端施鋭加工   弓か	0H133
	684	2⊠ SD244	棒状 木製品	(614)	43	22	欠損	針葉樹 辺材 1辺施薄 先端施鋭加工	0H129
	685	2⊠ SD244	棒状 木製品	627	(22)	18	欠損	針葉樹 辺材	0H130
	686	2⊠ SD244	杭状 木製品	(531)	30	32	欠損	針葉樹 辺材 先端施鋭加工 針葉樹 辺材	TM291
	687	2⊠ SD244	棒状 木製品	(249)	23	12	欠損	先端施鋭加工   断面楕円形	S175
	688	2⊠ SD244	棒状 木製品	(248)	19	16	欠損	針葉樹 辺材 先端施鋭加工	0H134
	689	2区 SD244	棒状 木製品	(216)	20	11	欠損	針葉樹 辺材 先端施鋭加工不明瞭	TM286
	690	2⊠ SD244	棒状 木製品	(232)	20	18	欠損	針葉樹 辺材 先端施鋭加工	TM285
	691	2⊠ SD244	棒状 木製品	(291)	23	24	断片	針葉樹 芯持材 先端施鋭加工 弓か	FJ128
	692	2区 SD244	棒状 木製品	(168)	12	6	欠損	針葉樹 辺材 先端施鋭加工	TM293
	693	2区 SD244	棒状 木製品	(357)	24	22	欠損	針葉樹 辺材 先端加工	S177
	694	2区 SD244	棒状 木製品	(250)	18	10	欠損	針葉樹 辺材 削り加工	TM287
	695	2区 SD244	棒状 木製品	195	17	17	完形	針葉樹 辺材 先端凸状に加工 雑具部材	S173
	696	2区 SD244	木製品	(176)	(16)	(16)	断片	針葉樹 芯持材 先端加工	S178
	697	2区 SD244	棒状 木製品	(291)	8	8	欠損	針葉樹 辺材	0H138
	698	2区 SD244	棒状 木製品	(147)	19	7	欠損	針葉樹 辺材 篦状 斎串か	0H135
	699	2⊠ SD244	棒状 木製品	(179)	11	12	断片	針葉樹 芯持材 弓か	FJ130
	700	2⊠ SD244	木製品	(269)	13	10	欠損	針葉樹 芯持材 先端加工	FJ129
	701	2⊠ SD244	棒状 木製品	(230)	(32)	15	断片	針葉樹 辺材 抉り加工あり 部材か	S169
	702	2区 SD244	杭状 木製品	(507)	44	39	欠損	針葉樹 辺材 先端施鋭加工	TM292
	703	2区 SD244	木製品 木沓	(122)	(80)	(59)	断片	針葉樹 板目取 底部厚15.0mm	S176
	704	2⊠ SD244	木製品 円形板	(300)	(64)	10	断片	針葉樹 柾目 縁部削り加工	FJ127
	705	2区 SD244	木製品 弓?	(201)	(25)	(25)	断片	針葉樹 芯持材 胴部凹み加工	S179
	706	2区 SD244	木製品容器?	384	(210)	65	欠損	広葉樹 板目取 椅子か	SH200
	707	2区 SD244	木製品 杵?	(306)	78	68	欠損	広葉樹 辺材 横槌か	FJ205
	708	2⊠ SD244	棒状 木製品	(235)	25	25	欠損	針葉樹か 芯持材 柄か	OH168
	709	2⊠ SD244	木製品 多又鍬	396	289	22	一部欠損	コナラ属コナラ亜属クヌギ節 柄一部欠損	FJ132
	710	2⊠ SD244	木製品火鑽臼	(308)	26	25	断片	針葉樹 辺材 板目 使用痕3	TM290
41	711	2区 SD244	棒状木製品	(466)	45	18	欠損	棒状木製品2次利用 針葉樹 辺材 先端焼痕	TM289
	712	2⊠ SD244	板棒状 木製品	(468)	16	7	欠損	針葉樹 板目	0H131
	713	2⊠ SD244	板状木製品	(413)	55	10	欠損	針葉樹 板目	TM288
	714	2⊠ SD244	杭状 木製品	(335)	28	19	欠損	針葉樹 辺材 先端施鋭加工	TM294
	715	2区	板状	(95)	(48)	12	断片	針葉樹 柾目	0H136
	716	2区 2区	大製品 板状	(214)	44	18	欠損	広葉樹か 板目	\$171
	717	SD244 2⊠	本製品 棒状	(208)	31	15	欠損	先端施鋭加工 針葉樹 辺材 孔3 孔径8.0mm 雑具部材か	\$170
	718	SD244 2⊠	本製品 棒状	(273)	22	8	欠損	推具部材か 針葉樹 辺材 断面U字状	S172
	719	SD244 2⊠	大製品 板状	227	90	9	ほぼ完形	断面U字状 針葉樹 板目 抉り・穿孔2	S174
		SD244 2⊠	木製品不明					雑具部材か  針葉樹 杯目	
	720	SD244 2⊠	木製品不明	129	36	18	完形	第孔4 维具部材 針葉樹 柾目	SH203
	721	SD244	木製品	174	52	17	完形	穿孔3 第 集	SH202

				洼	走量(mm	1)			実測
]版	番号	遺構	器種	長	幅	厚	遺存度	備考	番号
1	722	2⊠ SD244	漆器 椀	器高 (35)	底径 80		底6/12	板目取 内外面黒漆	FJ203
	723	2区 AA9 SD303	棒状 木製品	(440)	33	17	欠損	針葉樹 辺材 穿孔1	0H139
	724	2区 AB6 SD303	棒状 木製品	(332)	15	12	断片	針葉樹 辺材	E8
	725	2区 AB6 SD303	棒状 木製品	(353)	24	11	ほぽ完形	針葉樹 辺材	E6
	726	2区 AA7 SD303	棒状 木製品	(162)	34	33	欠損	針葉樹か 芯持材	T421
	727	2区 AA9 SD303	杵状 木製品	(127)	31	27	欠損	針葉樹 芯持材	E2
	728	2区 AB6 SD303	棒状 木製品	532	18	15	完形	針葉樹 辺材 先端施鋭加工	E7
	729	2区 AA8 SD303	棒状 木製品	(261)	15	12	欠損	針葉樹か 辺材 先端施鋭加工	0H142
	730	2区 AA9 SD303	棒状 木製品	(260)	17	11	欠損	針葉樹 辺材 先端施鋭加工	0H140
	731	2区 AB6 SD303	棒状 木製品	(206)	15	12	欠損	針葉樹 辺材 切断面あり	E9
	732	2区 AA8 SD303	木製品 柄	(177)	71	36	断片	針葉樹か 芯持材	E3
	733	2区 AA8 SD303	不明 木製品	122	32	15	ほぽ完形	針葉樹 木取不明  穿孔1 孔径15.0mm  紡織具か	SH201
	734	2区 AA7 SD303	板状 木製品	(236)	26	6	欠損	針葉樹 板目 施薄加工2箇所 穿孔2 孔径4.5mm	T434
	735	2区 AB9 SD303	板棒状 木製品	(163)	23	9	欠損	針葉樹 板目	E4
	736	2区 AA7 SD303	棒状 木製品	176	10	9	完形	針葉樹 辺材 両端加工	T423
	737	2区 AA7 SD303	棒状 木製品	178	15	8	完形	針葉樹 辺材 両端加工	T422
	738	2区 AA8 SD303	木製品 部材	(282)	97	(47)	断片	針葉樹 辺材	0H141
	739	2区 AA9 SD303	木製品 斎串	358	25	6	完形	針葉樹 板目	МЗ
	740	2区 AB6 SD303	棒状 木製品	(260)	23	21	欠損	針葉樹 辺材 切り折りか	E5
	741	2区 AA9 SD303	木製品 円形板	183	82	8	完形	針葉樹 柾目 桶底板	М1
	742	2区 Z8 SD303	木製品 円形板	178	103	7	ほぽ完形	針葉樹か 柾目 木釘孔3 桶底板	E1
	743	2区 AA8 SD303	木製品 円形板	162	165	10	完形	針葉樹 柾目 木釘孔2 曲物底板 744と同一か	F2
	744	2区 AA8 SD303	木製品 曲物側	172	176	26	完形	樹皮残 穿孔あり 743と同一か	F1
	745	2区 AB7 SD303	木製品 円形板	310	263	10	完形	針葉樹 柾目 木釘孔7 桶底板か	S199
	746	2区 AA9 SD303	棒状 木製品	(311)	34	29	欠損	針葉樹 辺材	M2
	747	2区 AA7 SD303	板状 木製品	(324)	50	21	欠損	針葉樹か辺材 穿孔3残 孔径6.0mm	T435
	748	2区 AB9 SD303	板状 木製品	(432)	208	50	欠損	針葉樹か 板目 加工痕明瞭	M4
	749	2⊠ AB8 SD303	木製品 井戸側板	(819)	183	32	欠損	広葉樹か 板目 抉り加工・穿孔あり	TM284

※法量欄の()は現存値を示している。

第5表 木製品観察表(3)

# 第5章 樹種同定記録

今回報告となった柄付刀子(591:第6表記載遺物番号3)と木製品の多又鍬(709:第6表記載遺物番号4)について、(株)東都文化財保存研究所に樹種同定を依頼した。結果は以下のとおりである。

#### 樹種同定結果:

#### 1. 試料

試料は井戸枠、刀子、柄振(多又鍬)の3点(試料番号1-3)である。柄振は、身に着脱式の柄が付着しているが、木目を観察した限りでは同じ樹種と考えられたため、身についてのみ樹種同定を実施する。なお、試料番号1はPEG処理が終了した状態であった。

#### 2. 分析方法

各木製品のうち、試料番号2の刀子は、ほぼ完形品であるが、柄の側面に柾目と板目が確認できたことから、直接切片を採取したが、木口面は加工面で切片が採取できなかった。その他の2点は、試料番号1は破損部、試料番号3は接合面を利用して木片を採取した。このうち、試料番号1は、樹種同定を行う上でPEGを除去する必要があるため、温水に浸してPEGを溶脱させた。これらの木片は、剃刀の刃を用いて3断面(木口、柾目、板目)の徒手切片を作成した。

切片は、ガム・クロラール(抱水クロラール、アラビアゴム粉末、グリセリン、蒸留水の混合液)で 封入し、プレパラートを作製した。作製したプレパラートは、生物顕微鏡で木材組織を観察し、その 特徴から種類を同定した。

なお、同定の根拠となる顕微鏡下での木材組織の特徴等については、島地・伊藤 (1992) および wheeler 他 (1998) を参考にした。また、各樹種の木材組織の配列の特徴については、林 (1991)、伊東 (1995,1996,1997,1998,1999) や独立行政法人森林総合研究所の日本産木材識別データベースを参考にした。

### 3. 結果

樹種同定結果を第6表に示す。木製品は、針葉樹1種類(スギ)、広葉樹1種類(コナラ属コナラ亜属クヌギ節)に同定された。各種類の解剖学的特徴等を記す。

第6表 木曳野遺跡群の樹種同定結果

番号	遺物番号	遺物名	樹種
1	1	井戸枠	スギ
2	3	刀子(柄)	スギ
3	4	柄振	コナラ属コナラ亜属クヌギ節

#### ・スギ(*Cryptomeria japonica* (L.f.) D.Don)スギ科スギ属

軸方向組織は仮道管と樹脂細胞で構成される。仮道管の早材部から晩材部への移行はやや急で、晩材部の幅は比較的広い。樹脂細胞はほぼ晩材部に認められる。放射組織は柔細胞のみで構成される。分野壁孔はスギ型で、1分野に2-4個。放射組織は単列、1-10細胞高。

・コナラ属コナラ亜属クヌギ節(Quercus subgen. Lepidobalanus sect. Cerris)ブナ科

環孔材で、孔圏部は1-2列、孔圏外でやや急激に管径を減じたのち、漸減しながら単独で報社方向に配列する。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性、単列、1-20細胞高のものと複合放射組織とがある。

### 【引用文献】

林 昭三 1991 『日本産木材 顕微鏡写真集』京都大学木質科学研究所

伊東隆夫 1995 「日本産広葉樹材の解剖学的記載 I」『木材研究・資料31』京都大学木質科学研究所

伊東隆夫 1996 「日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅱ」『木材研究・資料32』京都大学木質科学研究所

伊東隆夫 1997 「日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅲ」『木材研究・資料33』京都大学木質科学研究所

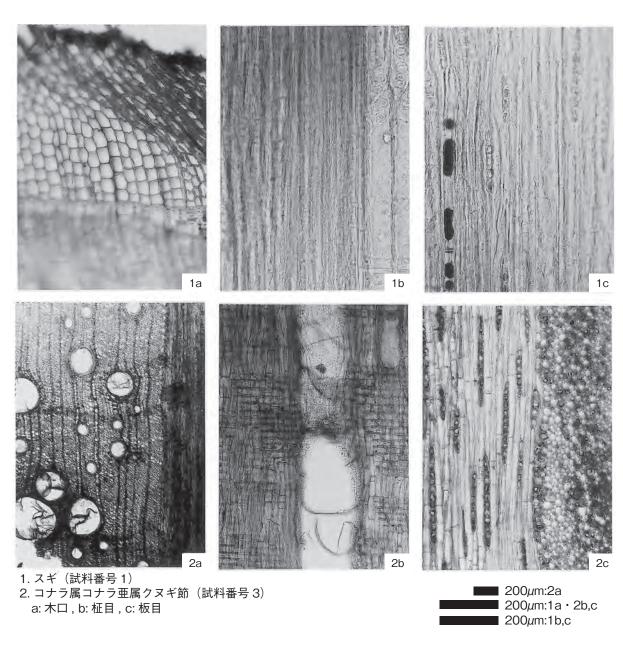
伊東隆夫 1998 「日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅳ」『木材研究・資料34』京都大学木質科学研究所

伊東隆夫 1999 「日本産広葉樹材の解剖学的記載 V」『木材研究・資料 35』 京都大学木質科学研究所

島地 謙・伊東隆夫 1982 『図説木材組織』地球社

Wheeler E.A.,Bass P. and Gasson P.E. (編) 伊東隆夫・藤井智之・佐伯浩(日本語版監修) 1998 『広葉樹材の識別 IAWAによる光学顕微鏡的特徴リスト』海青社

[Wheeler E.A., Bass P. and Gasson P.E. 1989 IAWA List of Microscopic Features for Hardwood Udentification]



第42図 畝田・寺中遺跡の木材

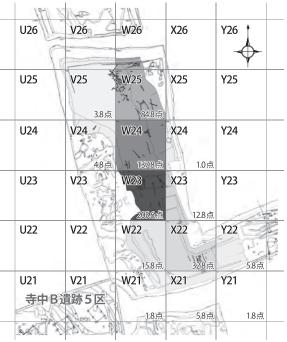
## 第6章 総括

本遺跡は金沢市の西部臨海地区に所在する縄文時代以降の複合遺跡で、石川県埋蔵文化財センターと本市埋蔵文化財センターによって広い面積が調査されており、多くの成果が上がっている。既刊書によると、本遺跡は弥生時代・古墳時代と中核的な様相を呈している。ここでは、本報告で扱った4区の遺

第43図は本書に掲載した大河跡出土遺物をグリッド毎に整理し、出土量の多寡をアミで示したものである。アミの色が濃い箇所ほど遺物出土量が多いことを示す。本来、該当範囲の土量によって出土量の補正を行うべきであるが、困難であったため面積での補正に留めていることをご了承願いたい。

物出土傾向について、若干の検討を試みたい。

対象としたものは土器・土製品・石製品・骨・木製品で、出土地点が不明なもの、グリッド記載に誤記があると判断したものは除外した。総点数は514点となる。出土地点が「北半」「中央畦」「南半」となっているものについては、「中央畦」はW23・X23に跨る地点に設けたため案分し当該グリッドに含め、「北半」は中央畦を含む北のグリッドに案分し、「南半」は同様に南のグリッドに案分した。「W·X22」についてはW22・X22にそれぞれ案分している。出土した



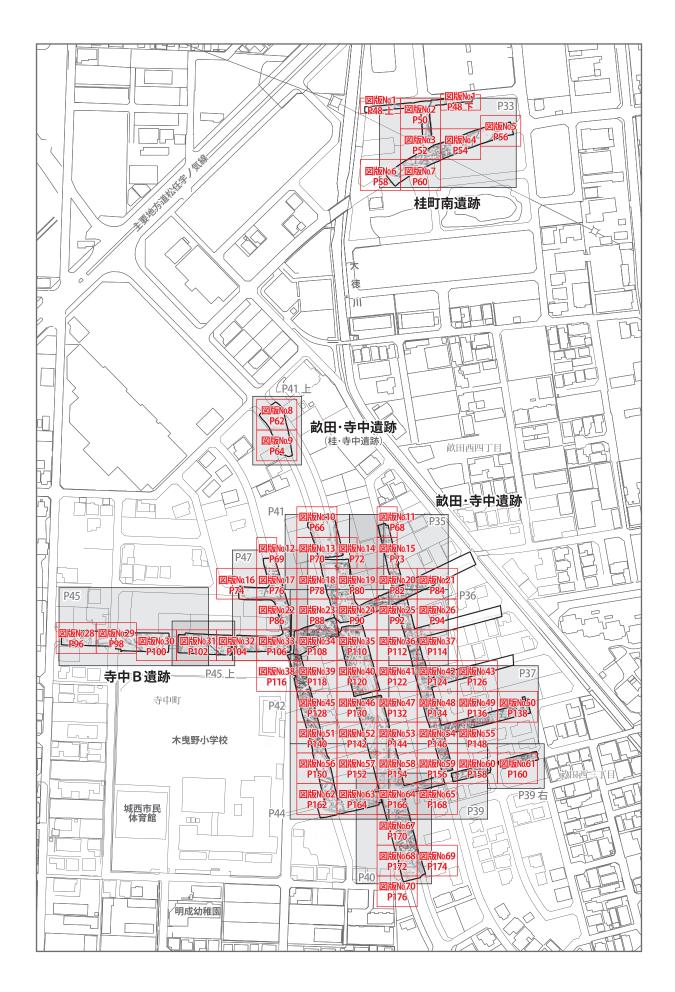
第43図 遺物の出土傾向

全遺物を対象にしているわけではなく、10mグリッドという精度からも正確な傾向を示すものではないが、概ねの傾向は把握できると考えた。

遺物の集中がみられるのはW25~W23の範囲で、W23が最も多い。次いでW24・W25の順となるが、大河跡の西岸となるV25・V24からの出土は少ない。また、W22とX22の比較では、やはり西岸からの出土は少ない傾向にある。これは発掘調査担当者の当時の見解とも一致するようである。大河跡出土遺物の大半は古墳時代前期の範疇に収まっており、調査区周辺でこの時期の遺構が確認されているのは大河跡の南西わずか15mに位置する寺中B遺跡 5区(木曳野遺跡群II 既報)であるが、大河跡の出土傾向と併せみると関連性が薄いように感じられる。4区大河跡出土遺物の中心を占める古墳時代前期に該当する集落は、未調査となっている4区東側に所在する可能性が考えられよう。

SD210からは11世紀~12世紀代の土師器・陶磁器が出土している。これは既報の主幹線2区SD240、主幹線3区SD222と同一の溝で、前時代の主幹線4区大河跡、既報の主幹線2区SD303・SD240・SD244、主幹線3区SD201と重複して北上する。第7図の大河跡断面図が示すように、大河跡が機能を失った後の再整備が明確である。調査前の主幹線の位置には灌漑用の主要用水が存在しており(木曳野遺跡群 I第3図参照)、時代を変えても同地に流路を配置する、当該地の土地利用の一端を示す遺構といえよう。

※次ページに『木曳野遺跡群 I』に掲載した1/100および $1/250 \cdot 1/300$ の航空測量図版図葉割を示した。当該書では座標が混乱しているため、『木曳遺跡群 II』から本書に至るまで、報告対象とする遺構が遺跡の中でどこに位置するかが判別しづらいと思われるため、本書第2図と併せてご活用いただければと思う。



第 44 図 『木曳野遺跡群 I 』 図葉割



調査区全景(北から撮影:手前から4区・3区・2区)



大河跡土層断面(北東から)



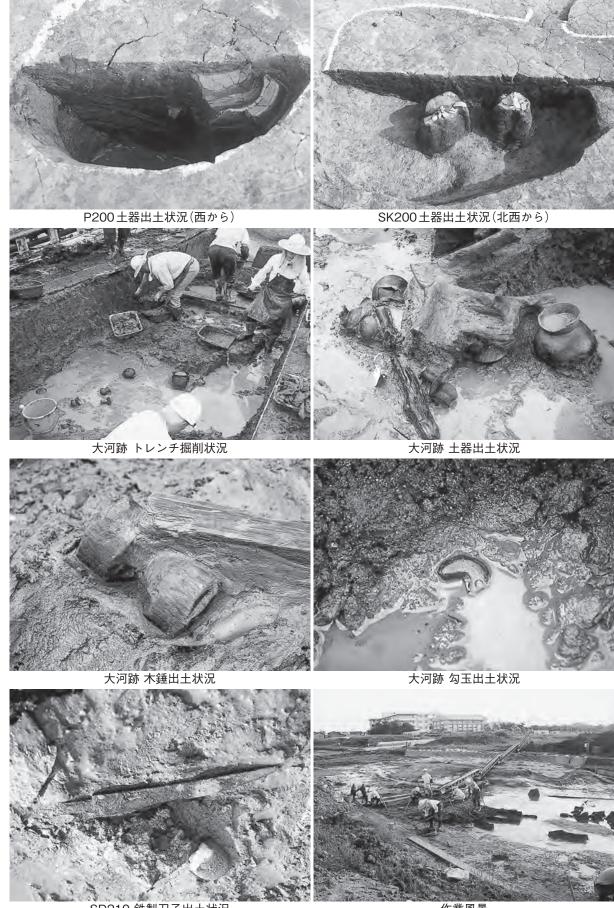
SD210土層断面(北から)



SD200

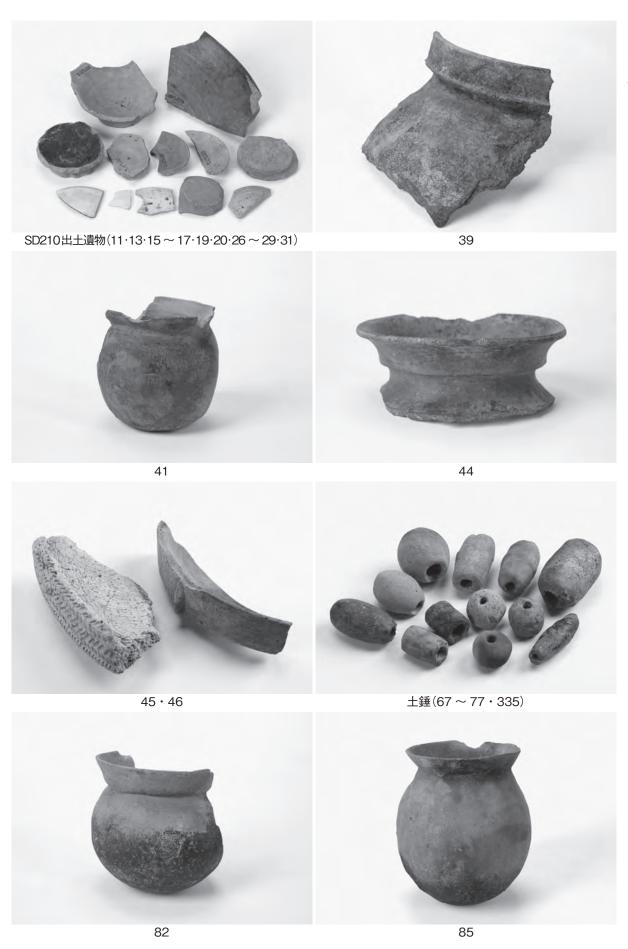


SK201 土層断面(西から)



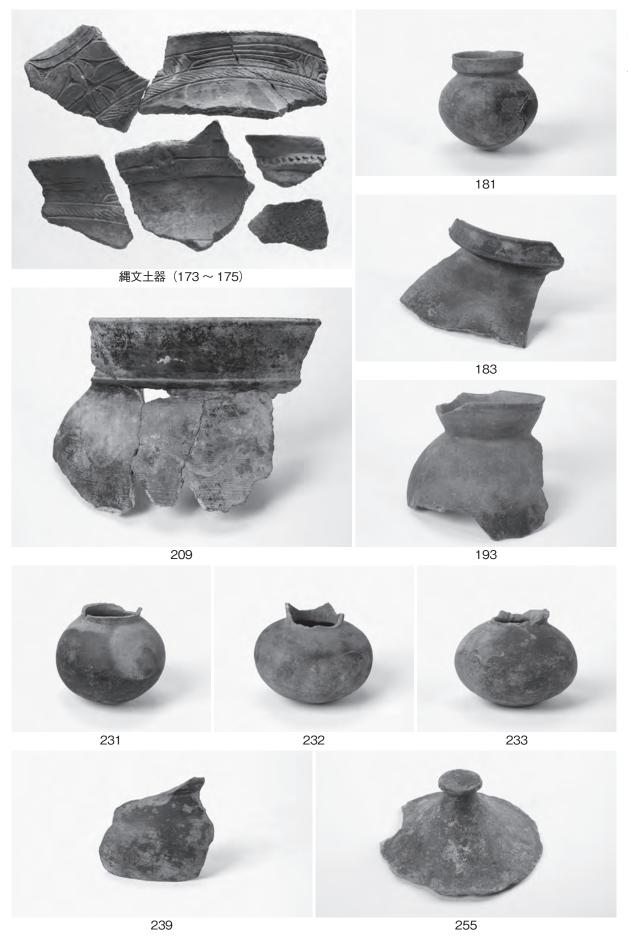
SD210 鉄製刀子出土状況

作業風景





155 157 · 156









瓦塔(399)



結歯式竪櫛(465)



元豊通寶・皇宋通寶(636・637)



石器類(417・419・411・424)



玉類(431 ~ 437・586・594 ~ 597)



鞍(570・571)



骨(445~448)



鉄製刀子・銅鏃・鉄鏃(438・439・441・634)



柄付刀子(591)



多又鍬(709)

## 【引用・参考文献】

上原真人編 1993 『木器集成図録 近畿原始編』 奈良国立文化財研究所

内堀信雄 1989 「須恵器甕にみられる叩き目文について」『北陸の古代土器研究の現状と課題(報告編)』 北陸古代土器研究会

小野正敏 1982 「15~16世紀の染付碗、皿の分類と年代」『貿易陶磁研究No.2』 日本貿易陶磁研究会

田嶋明人 1986 「漆町遺跡出土土器の編年的考察」『漆町遺跡 I 』 石川県立埋蔵文化財センター

田嶋明人 1988 「古代土器編年軸の設定」『北陸の古代土器研究の現状と課題』 北陸古代土器研究会

田辺昭三 1981 『須恵器大成』 平凡社

向井裕知 2005 「消費遺跡での土器・陶器の組合せおよび貿易陶磁の編年 北陸」『中世窯業の諸相 資料集』 「中世窯業の諸相〜生産技術の展開と編年〜」実行委員会

吉岡康暢 1994 『中世須恵器の研究』 吉川弘文館

石川考古学研究会 1996 『石川県考古資料調査・集成事業報告書 武器・武具・馬具 I』

石川考古学研究会 1999 『石川県考古資料調査・集成事業報告書 農耕具』

石川県立埋蔵文化財センター 1986 『漆町遺跡 I』

石川県教育委員会 2005 『金沢市畝田西遺跡群Ⅱ』

石川県教育委員会 2006 『金沢市畝田西遺跡群Ⅲ』

石川県教育委員会 2006 『金沢市畝田西遺跡群IV』

石川県教育委員会 2006 『金沢市畝田東遺跡群Ⅲ』

石川県教育委員会 2012 『小松市千代・能美遺跡』

(財)鳥取研教育文化財団 2001 『青谷上寺地遺跡Ⅲ』

金沢市教育委員会 1993 『上荒屋遺跡(二)』

金沢市 2003 『大桑ジョウデン遺跡 I』

金沢市 2004 『大桑ジョウデン遺跡Ⅱ』

金沢市 2006 『寺中B遺跡Ⅵ 桂町南遺跡Ⅰ 畝田・寺中遺跡Ⅲ -木曳野遺跡群Ⅰ-』

金沢市 2007 『寺中B遺跡W・畝田・寺中遺跡W -木曳野遺跡群Ⅱ-』

金沢市 2008 『桂町南遺跡Ⅱ 畝田・寺中遺跡V -木曳野遺跡群Ⅲ-』

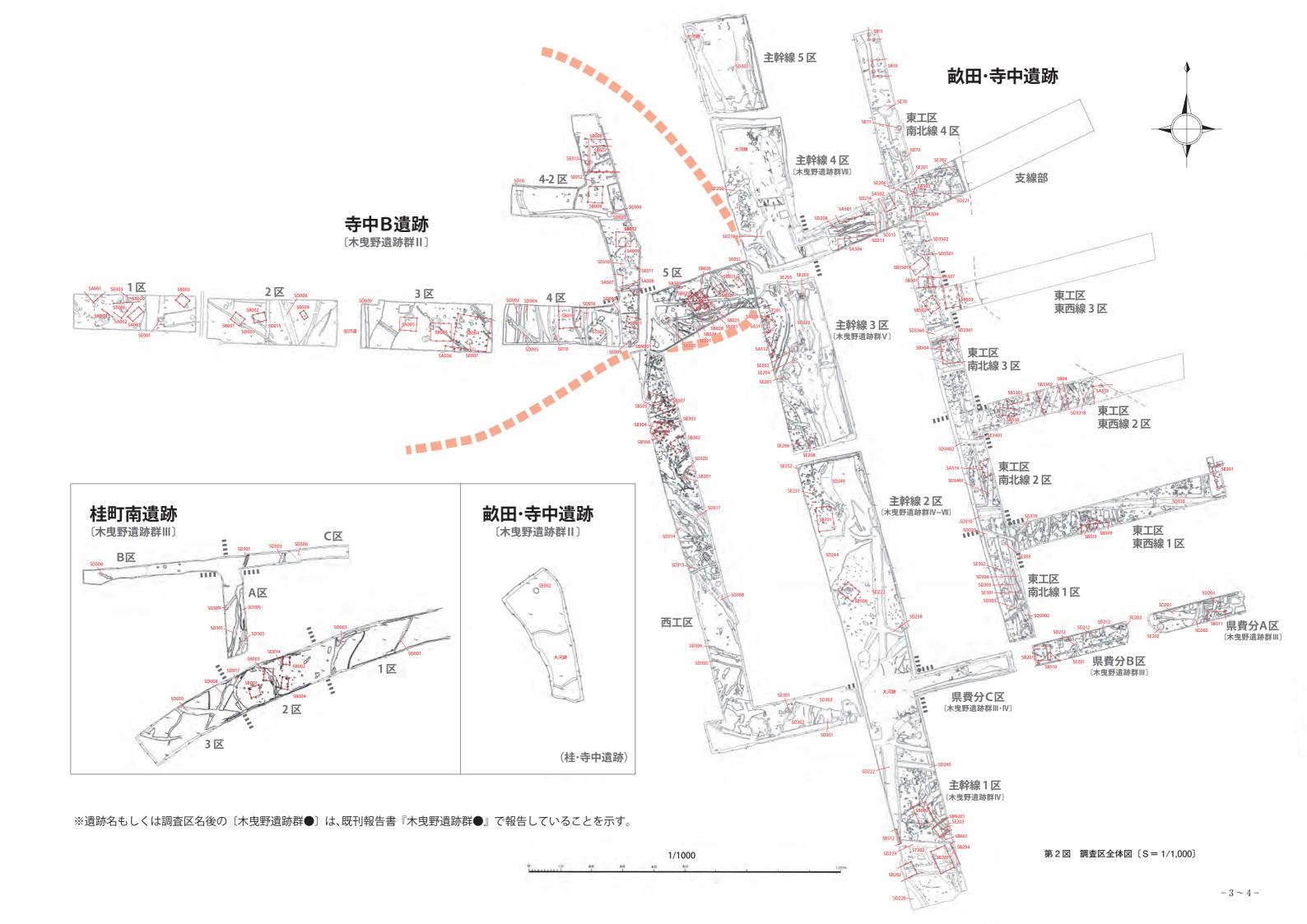
金沢市 2010 『畝田·寺中遺跡Ⅵ -木曳野遺跡群Ⅳ-』

金沢市 2010 『中屋サワ遺跡 V -縄文時代編-』

金沢市 2012 『畝田・寺中遺跡 Ⅵ -木曳野遺跡群 V-』

金沢市 2013 『畝田·寺中遺跡™ -木曳野遺跡群Ⅵ-』

太宰府市教育委員会 2000 『太宰府条坊跡XV-陶磁器分類編-』



## 報告書抄録

ふりがな	いしかわけんかなざわし うねだ・じちゅういせき9										
書 名	石川県金沢市 畝田・寺中遺跡 IX										
副 書 名	- 木曳野遺跡群 -										
巻 次	VII										
シリーズ名	金沢市文化財紀要										
シリーズ番号	293										
編著者名	景山和也										
編集機関	金沢市(金沢市埋蔵文化財センター)										
所 在 地	〒 920-0374 石川県金沢市上安原町南 60番地 TEL (076) 269-2451										
発行年月日	月日 西暦2014年3月28日										
ふりがな	\$ D 7	_		- ド	北緯		X 調本期期		細木高柱		調査原因
所収遺跡名	所 在	地	市町村	遺跡番号	0 / //	0 /		調査期間	調査面積		神宜原囚
ja だ じちゅう 畝田・寺中 ぃ せき 遺跡	いしかわけん 石川県 かなぎれ市 金沢市 きゃっまち 中 町、 うねだ 4 5 4 畝田 4 丁	うめ	172014	県 01499 市 029	36° 36′ 33″	136 42 33	2′	20020715 ~ 20020920 20030602 ~ 20031128 20040502 ~ 20041029	約 13,760㎡		区画整理
所収遺跡名	種別	主	な時代	主な遺構			主な遺物		特記事項		
畝田・寺中 遺跡	集落跡	l	が生・古墳・ 建物、井戸、 土坑、溝、川			陶	土師器・須恵器、 陶磁器、石製品、 木製品、金属製品		川跡から古墳時代 の土器・木器が多 数出土		
要 約	報告を行	うった。		区は古墳	寺代前期			代の河川跡の河川跡が中心			

石川県 金沢市

## 畝田・寺中遺跡IX

- 木曳野遺跡群 W -

(『金沢市文化財紀要』293)

発 行 日 平成26(2014)年3月28日

発 行 者 金沢市(金沢市埋蔵文化財センター)

〒920-0374 石川県金沢市上安原南60

TEL (076) 269-2451

印 刷 株式会社 栄光プリント